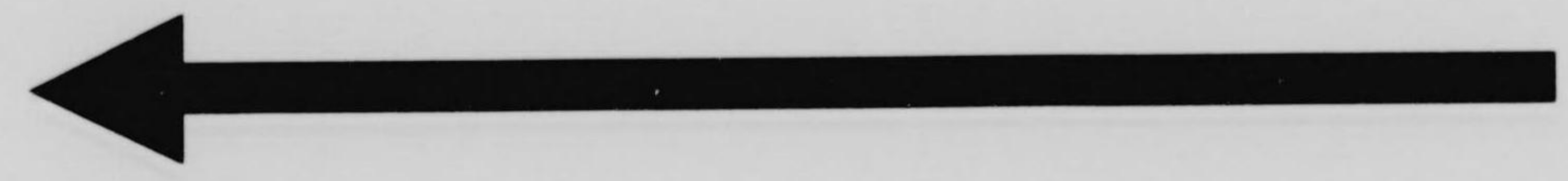


359
47

8 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10^{18m} 1 2 3 4 5

始



帝國酒類
油業與信託

符號表

帝國酒油新報社與信託所

●造石高符號

△酒類
▲調味油
□茶味油

| | |
|---|-------|
| イ | 五拾石以内 |
| ロ | 百石以内 |
| ハ | 貳百石以内 |
| ニ | 參百石以内 |
| ホ | 四拾石以内 |
| ヘ | 五百石以内 |
| ト | 千石以内 |
| チ | 貳千石以内 |
| リ | 參千石以内 |
| ヌ | 四千石以内 |
| ル | 五千石以内 |
| ワ | 六千石以内 |
| カ | 七千石以内 |
| ク | 八千石以内 |
| コ | 九千石以内 |
| サ | 壹萬石以内 |
| シ | 貳萬石以内 |
| ソ | 參萬石以内 |
| ツ | 肆萬石以内 |
| ナ | 伍萬石以上 |

●稅納年額符號

○營業稅
×所得稅

| | |
|---|--------|
| イ | 拾圓以内 |
| ロ | 拾五圓以内 |
| ハ | 貳拾圓以内 |
| ニ | 貳拾五圓以内 |
| ホ | 參拾圓以内 |
| ヘ | 參拾五圓以内 |
| ト | 四拾圓以内 |
| チ | 四拾五圓以内 |
| リ | 五拾圓以内 |
| ヌ | 五拾五圓以内 |
| ル | 六拾圓以内 |
| ワ | 六拾五圓以内 |
| カ | 七拾圓以内 |
| ク | 七拾五圓以内 |
| コ | 八拾圓以内 |
| サ | 八拾五圓以上 |
| シ | 壹萬圓以内 |
| ソ | 壹萬圓以上 |
| ツ | 貳萬圓以内 |
| ナ | 貳萬圓以上 |
| ム | 參萬圓以上 |

359-47

前農商務大臣松岡康毅閣下題字



帝國酒類醬油業興信錄

帝國酒醬油新報社編

大正
6. 8. 10
内交

為此春酒
以介眉壽

印

何陋光漁康發



報新油酒國帝

孝親大典
奉本領吉

孝親大典
奉本領吉

孝親大典
奉本領吉

孝親大典
奉本領吉

本報は兩業有間の福利を増進し、商業の隆盛を謀るを以て目的とし、本報東京北新川、電話東京三〇三六番、郵便東京三〇八四番

下閣 毅 康 岡 松 臣大務商農前 師 恩
員議院族貴

一文木々佐 士議代前 士護 問願律法 二 徹 木 青 士博學法 士護 問願律法

吉 鑑 本 塚 長 社

自序

今や歐洲の天地は、硝煙彈雨の修羅場と化し、各國殆ど國命を賭して輸贏を争ふと雖も、他日平和克復の曉に至らば、劍戟は牙籌と化し、戰略は商策に變じて、其影響する所蓋し甚大なるものあらむ。

夫れ商工は活社會の先驅者にして又國家人文の保護者たり、後援者たり、即ち商工業の消長は直ちに國家盛衰の岐る、所以にして、國家の興亡は一つに繋つて實業家の双肩にあると謂ふも不可なし。然り而して方今物質文明進展の著しき、俄かに端倪すべからざるものありと雖も、熟ら是を我が邦商工業の現狀に觀るに、尙未だ云ふ可きの餘地少なからず其經營上新たに施設すべきもの、改良を加ふべきもの、多々ありて存す。殊に我が業界の如き、未だ嘗て全國に渉る、何等綜合的の機關を存せざるは、夙に識者の遺憾とする所なり。

見よ、今や我國運の發展は、實に眼覺しきものあり、一等國の威名は優に四海を壓するに至る、詢に勅聖文武なる、今上陛下の御稜威の然らしむる所、此の光榮ある國民にして此の御鴻恩に浴しながら、誰か一片報國の念を有せざるものあらむや。是れ本社が、昨秋御即位の御大禮を舉げさせ給ふに方り、曠古の盛典を長しへに紀念し奉らんと、微力をも不顧、全力を傾注して、茲に「帝國酒類醬油業興信錄」を刊行し、些か國家產業界の啓發に資し、以て聖恩に應へ奉る所以なり。即

ち本書は、全國に於ける酒醬油及之に關聯せる一切の營業者に就き、各地方別に人名を録し、其現狀を簡叙して商取引上の根本たる、信用の程度を相互に了解せしめ、座ながら業界の消長を窺知し得べく、又附録たる商賣繁昌策に至つては、實際上日常必要な事項を悉く網羅したり。依つて以て業務發展の資料となり、業界に裨益する所、蓋し甚大なる可きを信ず、雖然、素當業者には、絶えず盛衰あり、從て其住所の如きも常に移動あるを免れず、之が完璧を期することは、誠に容易の業にあらず。本社は昨夏之が編纂に着手以來、既に一星霜を閲し、此間幾多の辛酸を嘗め、絶大な努力の下に、漸く帝國の一半たる關東方面の調査編纂を遂げ、茲に發刊することを得たり。尙現在にては部分的のものなりと雖も、近く關西方面を増補刊行し、順次改版を重ね、不斷の努力によつて漸次完成を期せむと欲す、乞ふ江湖の諸賢、幸ひに此の意の存する所を諒せられよ。

大正五年七月十日

編者識す

凡例

- 一、本書は全國に於ける、酒類、醬油、味噌、清酢等の醸造家、並に販賣業者及び之に關係を有する營業者を網羅して、其住所姓名、電話、電信略號、振替番號、營業稅、所得稅及造石數等、彼我の交渉に資するものは、細大洩さず採録したるが故に、左の諸點に於て活用することを得べし。
 - イ、營業狀態及信用程度の一斑を窺知することを得べし。
 - ロ、全國同業者の電話及び振替番號簿となり、且又電信略號簿ともなる。
 - ハ、電話番号簿に掲載されざる電話番号を知得して通信上の便を得る事多大なり。
 - ニ、新聞雜誌と異りて永久的の商業用機關と爲すことを得べし。
 - ホ、依つて事業發展の計畫等を爲すに方り、其目標を撰定すること容易なり。
 - 例へば何縣下又は何町内に幾何の稅額を納むる商店は、幾軒あるや等を知らんとせば一目の下に瞭然たるものあるべし。
 - ヘ、紹介又は依頼する場合には、其途を容易に需むる事を得べし。
 - ト、斯業に關する統計若しくは、或る種の推論、結論に對する有力なる參考材料を提供す。
- 二、編纂の順序は、前項の營業者を各府縣に區分し、
東京市は其大部分が販賣業者なるに依り問屋一覽、販賣業、讓造業及び酒醬油に關係の諸營業者の順序となし就中販賣業は特に十五區に分ち之を「いろは順」に排列したり。
- 東京府下及び他の府縣は之を郡に分ち、郡名を標示し、郡は更に之を町村に分ち、而して著名なる町村及び同業者の多數なる町村を初めに掲げ、順次少數の町村に及ぼし、同町村内にありては醸造業を先きとし、其次に販賣業を掲げたり。
- 三、前項の最小區分は總て之を「いろは」順に排列したれども、掲載方依頼者の希望を容れ欄數に大小を生じたるを以て、往々「いろは」順に依る能はざりし箇所あるは亦已むを得ざる所なり。

四、「いろは」順に依りて排列すべき營業者の名稱は、屋號を採りたるものあり、人名を採りたるものありて、一定せずと雖ども、これ世上に知れ渡りたる方を採るの便なるを認めればなり。

五、東京市以外の縣に於ける、醸造用器械器具商、空樽空壘商の類は醸造業並に販賣業者と區別し、縣の終りに掲げたるは、是等の營業と區別を明かにし索引に便ならしめんが爲めなり。

六、醸造石數並に納税額を秘密に附する當業者あり、依て本書は醸造業者には造石高を、販賣業者には所得税及營業税額を符號にて掲げ符號表は別紙「カード」となし、本書所有者に限り其數額を知るの便に供したり。

七、各府縣の末尾に餘白を存したるは、新規開業者を記入するの用に供せんが爲めなり。

八、附録の商賣繁昌策なる一篇は斯界の日常必要なる事項を網羅するが故に、之を反覆熟讀せば、蓋し陶朱綺頓の富を爲す亦難きにあらざる可し。

九、本書の編纂に際し諸官衙、各組合、其の他を煩はしたること尠なからず、茲に謹んで之を謝す。

編者識

帝國酒類
醬油業
興信錄下卷目次

| | |
|---------|---------|
| 大 阪 市 | 一—二二 |
| 堺市并郡部 | 二二—二四 |
| 大阪府郡部 | 二五—二七 |
| 和 歌 山 縣 | 二八—三一 |
| 兵 庫 縣 | 三二—六四 |
| 廣 島 縣 | 六五—八一 |
| 香 川 縣 | 八二—八六 |
| 京 都 府 | 八七—一〇〇 |
| 愛 知 縣 | 一〇一—一二六 |
| 三 重 縣 | 一二七—一三三 |
| 目 次 終 | |

府大阪 大阪市 釀造及販賣業 (いろは順)

●清酒釀造業

Table listing various sake breweries and their products. The table is organized in columns and rows, with names of breweries (e.g., Iwano, Iijima, Kuniyoshi) and their locations. It also includes a section for '味噌醸造業' (Soy Sauce Breweries) and '石橋本店' (Ishibashi Main Store) information.

大阪府 大阪市 釀造業

標商錄登
印
味噌 醤油

製造元 益田信三郎

支店
南區道頓堀二丁目井戸町
電話南 九六一

標商錄登
赤
印カアルマ
味噌 醤油

釀造元 貴田治兵衛

支店
西區新町南通五丁目
電話西 一七五五
電話西 一七五五
電話西 一七五五

味噌醸造
米忠味噌本店
西區江戸堀上ノノ電土佐堀一三三六

味噌製造
江原金兵衛
東區本町一ノ七五
電話本 二五九八

味噌製造
青木商店
南區難波橋川四ノ一四〇四
電話南 四二〇三

味噌製造
櫻井彌商店
北區天神橋三ノ電東二五五
電話北 一三三三

味噌製造
北秋藤兵衛
北區天神橋筋八六
電話東 一三三三

味噌製造
伊藤源次郎
北區新喜多香外二九
電話東 五二一九

味噌製造
伊藤佐助
南區久左衛門町二二三
電話南 三三三六

味噌製造
井上源治郎
南區難波一丁目
電話南 三三三六

味噌製造
中村平兵衛
東區内本町橋詰一五八
電話東 五二一九

清酢醸造業

釀造元 大阪造酢名合會社
大阪府堺市宿屋町
電話西 二一

發賣元 大阪造酢名合會社支社
大阪市西區阿波瀬通一丁目
電話西 四六〇八
電話南 一三三三
電話東 一三三三

標商錄登
清 玉廼井
白 生
梅 成

標商錄登
商標軍艦印ソース

於各博覽會
各共進會
名譽賞牌受領

衛生 無害



領受牌賞會覽博大各於
標商錄登
純良日本食酢
いづ馬號

釀造元 氏原馬三郎

支店
北區船場
電話北 四三三六
電話東 一六五二
電話南 一五八七

酒類販賣業

東區
錦酒「琴正宗」釀造販賣
並二和洋酒類販賣
今村出店
東區船場六丁目
電話東 一五八七
電話南 一五八七
電話西 一五八七

帝國醫科大學
模範藥局御採用

醇良
清酒
澤之鶴

本店 石崎合資會社

酒造場
大阪南支店
同島ノ内支店
同西支店
同京都支店
同東京第一支店

同同同同同同同同
第二支店
第三支店
第四支店
第五支店
第六支店
第七支店
第八支店
第九支店

酒商
石田市藏
東區南久太郎町三ノ電東二〇七三

酒商
石田千太郎
東區南久太郎町三ノ電東二〇七三

酒商
乾松
東區上本町九ノ一六八電南二五七三

酒商
池田商會
東區東區町一ノ一九二電南三三〇二

酒商
播平本店
東區谷町四ノ四四電東二一九七

酒商
西尾權之助
東區備後町一ノ一三電本局一四八六

酒商
西川福太郎
東區備後町一ノ一三電本局一四八六

酒商
石田千太郎
東區南久太郎町三ノ電東二〇七三

酒商
石田千太郎
東區南久太郎町三ノ電東二〇七三

酒商
石田千太郎
東區南久太郎町三ノ電東二〇七三

酒商
石田千太郎
東區南久太郎町三ノ電東二〇七三

酒商
石田千太郎
東區南久太郎町三ノ電東二〇七三

酒問屋
長田梅三郎
東區高麗橋三ノ電南二七三三

酒問屋
大塚大阪支店
東區高麗橋一ノ三三電本局六六一

酒問屋
大塚船場出張店
東區高麗橋一ノ三三電本局二一八〇

酒問屋
大塚葡萄酒商會
東區高麗橋一ノ三三電本局二七九五

酒問屋
大塚葡萄酒商會
東區高麗橋一ノ三三電本局二七九五

酒問屋
大塚葡萄酒商會
東區高麗橋一ノ三三電本局二七九五

酒問屋
大塚葡萄酒商會
東區高麗橋一ノ三三電本局二七九五

酒問屋
大塚葡萄酒商會
東區高麗橋一ノ三三電本局二七九五

酒商
嘉納白鶴小賣部
東區高麗橋三ノ電南二七三三

酒商
嘉納酒類店
東區高麗橋三ノ一八電本局三三三三

酒商
加輪佐商店
東區高麗橋三ノ一八電本局三三三三

酒商
加輪佐商店
東區高麗橋三ノ一八電本局三三三三

酒商
加輪佐商店
東區高麗橋三ノ一八電本局三三三三

酒商
加輪佐商店
東區高麗橋三ノ一八電本局三三三三

酒商
加輪佐商店
東區高麗橋三ノ一八電本局三三三三

酒商
加輪佐商店
東區高麗橋三ノ一八電本局三三三三

酒商
加輪佐商店
東區高麗橋三ノ一八電本局三三三三

酒商
加輪佐商店
東區高麗橋三ノ一八電本局三三三三

酒商
加輪佐商店
東區高麗橋三ノ一八電本局三三三三

味噌商 大忠商店
東區備後町二ノ五四電本局二六八
醬油問屋 高田傳次郎
東區東平野町七ノ二五六電本局七七一
酢商 谷村伊太郎
東區平野町五ノ六電本局三三三
洋酒商 タマル商會
東區高麗橋詰四三電本局八二五

清別 天地發賣元
みの源
酒類商 瀧内源藏
東區安土町三丁目
電話本局二七七七

津 國平吉
味噌商 恒川源右衛門
東區北久太郎町一ノ二六電本局三三三
酒商 中堀與三三
東區空堀町一ノ九〇電本局三三三
清酢商 中村平三郎
東區京橋二ノ四七電本局九九九
酒商 中村清兵衛
東區農人町二ノ四一電本局九三三

味噌商 小林三玉堂
東區淡路町一ノ五電本局七七七
同 荒木道文
東區平野町一ノ九電本局三三三
酒商 淺田定吉
東區平野町一ノ九電本局三三三
清君の壽 印發賣元
清酒類小賣
阿波野德藏
東區瓦町三丁目電本局二六四六
電話大坂三〇九四電本局アトク

清酒 白辰 印發賣元
酒類販賣 商號中政
中村豊太郎
東區唐物町一丁目
電話東三三八七

酒商 村田菊治郎
東區南久太郎町一ノ二七電本局二九八
醬油商 上田清太郎
東區京橋町三ノ四六電本局六一四
酒商 氏原良太郎
東區伏見町二ノ四四電本局一四四五
酒問屋 野田小三
東區伏見町二ノ四四電本局一四四五
同 窪田嘉藏
東區北久太郎町三ノ三電本局九三三
同 久下吉松
東區東平野町七ノ二四七電本局五三三五
同 八ツ星酒店
東區唐物町三ノ一七電本局四七四

柳本定次郎
分發 印生引溜發賣元
醬油問屋
東區高麗橋五ノ五八
電話本局 一八一
山元千代
東區大川町三八電本局二一五四

醬油商 酒井熊吉
東區北濱町三ノ二電本局三三三
洋酒問屋 祭原伊太郎
東區安土町一ノ三電本局三三三
同 東區安土町一ノ三電本局三三三

酒問屋 山田甚太夫
東區谷町五ノ二電本局五五五
同 山下與三郎
東區内本町橋詰五〇電本局二八八九
醬油商 山元作兵衛
東區北濱町五ノ二〇電本局二一五四
同 山本又三郎
東區南濱町三電本局九九八
味噌商 安田種松
東區道修町魚柳角電本局〇七
酒商 的場捷三郎
東區博勞町二ノ三〇電本局三〇九一

白鶴 登御影一
醸造元 嘉納治兵衛
攝津御影町

酒問屋 商號小倉山
增位安兵衛
東區平野町一ノ一三
電話南 六四四

酒商 佐伯久兵衛
東區岡山町三電本局一七六
醬油商 岸本卯三郎
東區谷町九ノ二電本局五五九
同 みの源酒店
東區安土町三ノ二電本局二七七七
同 下里常次
東區東平野町一ノ三電本局三三三
洋酒商 繁田熊太郎
東區備後町一ノ一電本局二六九九
味噌商 島直治郎
東區道修町一ノ一電本局二六九九
酒商 鹽田忠兵衛
東區瓦町四ノ七電本局三三三
同 芝中喜三郎
東區石町二ノ一四電本局二二八

洋酒商 松下善四郎
東區高麗橋一ノ六電本局六六六
醬油商 松田久富
東區釣鐘町二ノ三三電本局三三三八
登標 印醬油發賣元

圓尾醬油合名會社
大阪支店
東區大川町六九
電話本局一七八九
電話大坂七九〇

ハクザン印醬油發賣元
醬油問屋 加勢屋
後田計良
東區南農人町二
電話東一八六九
電話南 一八六九

洋酒商 二葉屋商店
東區橋本二ノ五三電本局二九二四
酒商 藤井竹支店
東區今橋四ノ二〇電本局一四六八
洋酒商 小段忠藏
東區東雲町三ノ二五八電本局二九四四
洋酒問屋 小西商店洋酒部
東區道修町二ノ六電本局二二〇

洋酒問屋 小林三玉堂
東區淡路町一ノ五電本局七七七
同 荒木道文
東區平野町一ノ九電本局三三三
酒商 淺田定吉
東區平野町一ノ九電本局三三三
清君の壽 印發賣元
清酒類小賣
阿波野德藏
東區瓦町三丁目電本局二六四六
電話大坂三〇九四電本局アトク

マタイ印醬油一手販賣
醬油清酢卸小賣
安司寅藏
東區豐後町八
電話東四三七九
電話略號 ア
山城國産大酒類詰

洋酒商 安藤留和
東區北久寶寺一ノ二電本局四四四
酒商 櫻井徳太郎
東區北久寶寺一ノ二電本局四四四
同 酒井松太郎
東區備後町二ノ二二電本局三三八

洋酒商 安藤留和
東區北久寶寺一ノ二電本局四四四
酒商 櫻井徳太郎
東區北久寶寺一ノ二電本局四四四
同 酒井松太郎
東區備後町二ノ二二電本局三三八

當世娘 喜壽正宗發賣元
笹機嫌
和洋酒類卸小賣
喜多楯藏
東區農人橋一丁目
電話東四〇〇九

各國醬油問屋 商號仲藤
菊田藤七
東區高麗橋五ノ四八
電話本局 三三〇六
電話大坂 三三〇六
分店 大阪市外天下茶屋本通

洋酒商 佐伯久兵衛
東區岡山町三電本局一七六
醬油商 岸本卯三郎
東區谷町九ノ二電本局五五九
同 みの源酒店
東區安土町三ノ二電本局二七七七
同 下里常次
東區東平野町一ノ三電本局三三三
洋酒商 繁田熊太郎
東區備後町一ノ一電本局二六九九
味噌商 島直治郎
東區道修町一ノ一電本局二六九九
酒商 鹽田忠兵衛
東區瓦町四ノ七電本局三三三
同 芝中喜三郎
東區石町二ノ一四電本局二二八

西區 兼清酢販賣 商號山儀
位田榮次郎商店
支店 西區九條中通四丁目

酒商 井上又三郎
西區南堀江二番四〇電本局二九四〇
味噌商 井上丈吉
西區九條七九三電本局四二二二
酒商 井上甚兵衛
西區北堀江中通三ノ二電本局三三三
同 井上和三郎
西區新町南三ノ四電本局三三三

酒商 井上甚兵衛
西區北堀江中通三ノ二電本局三三三
同 井上和三郎
西區新町南三ノ四電本局三三三

井筒屋 支店
主任國方勝次
西區西道頓堀通五丁目
電話西三三六二
本店香川縣大川郡引田町 佐野新平

酒商 井上又三郎
西區南堀江二番四〇電本局二九四〇
味噌商 井上丈吉
西區九條七九三電本局四二二二
酒商 井上甚兵衛
西區北堀江中通三ノ二電本局三三三
同 井上和三郎
西區新町南三ノ四電本局三三三

酒商 井上甚兵衛
西區北堀江中通三ノ二電本局三三三
同 井上和三郎
西區新町南三ノ四電本局三三三

酒問屋 播又合資會社
○ノ西區南堀江三番町○電話二九四〇
醬油商 播房酒醬油店
西區京町堀上四ノ二電土佐堀八八二
同 播房酒醬油店
西區北堀江一ノ一〇電西二五三二

醬油商 はまきや號
濱本悅次商店
西區阿波座中通一丁目
電話西三三八四七

浪花酢發賣元
各國醬油問屋
新納利兵衛
西區西道頓堀二丁目
電話西三三九六二

酒商 本嘉納商店小賣部
西區中道一ノ七電土佐堀二四八一
菊正宗發賣元 本嘉納商店販賣部
西區中道一ノ八電土佐堀四八一
醬酒商 法橋善作
西區薩摩堀三ノ八電西一五三一

酒商 千代村 藤次郎
西區京町堀五ノ六〇電土佐堀七八二
同 大野 駒藏
西區北堀江上二ノ一電西三八五七

醬油商 大原商店
西區江戶堀南通四丁目
電話土佐堀一六七九

酒商 田村儀三郎
西區北堀江三ノ三二電九九九二

〔酒清〕 菊御代 發賣元
笹贅六
河野支店

酒問屋 田中秀三郎
西區京町堀上通三丁目
電話土佐堀九一四一
總發大阪六九八九

大日本優等清酒

登商錄 結露

發賣元 田淵松太郎
大阪市西區立賣堀通五丁目
電話西二二五五

酒商 高橋光三
西區江戶堀北二ノ九電土佐堀九四九
同 高松善太郎
○ハ×ハ 西區新町北一ノ三電西三三三
醬油商 合名會社高崎商店
西區南堀江三番町二五電西九五〇

大阪府 大阪府 販賣業 西區 (た)

醬油清酢卸小賣
醬油問屋
允小野九一郎商店
西區北堀江御池通六丁目

酒商 小川末吉
西區四寶島二六八電土佐堀一九〇一
同 奧村梶三郎
西區南堀江上二ノ二電西三六一七
醬油商 奧田作藏
西區北堀江通二ノ九電西二六四二
同 岡坂政五郎
西區南堀江三番丁三電西三二八九

酒問屋 和田伊之助
○ワ×ワ 西區南堀江下三ノ四電西三三三
菊正宗發賣元 嘉納菊正宗本嘉納商店
西區中道一ノ八電土佐堀四八一
加富登麥酒株式會社大阪支店
西區立賣堀北一ノ三四電西三三三
加富登麥酒株式會社大阪支店
西區立賣堀北一ノ三四電西三三三

醬油鹽味卸小賣
醬油溜問屋
倉橋屋
川口重兵衛
西區京町堀上通五ノ一六
電話土佐堀二四九六
電話一四一カウ六

酒商 丹金商店
西區中道三ノ二七電土佐堀一七三二
同 坪田久太郎支店
西區北堀江町三番町三三三
同 津田武兵衛
○リ×ハ 西區新町北一ノ二電西二二二
酒販賣商 辻本仙造
○チ×ニ 西區南堀江一ノ二電西三三三

醬油商 丹金商店
西區中道三ノ二七電土佐堀一七三二

酒問屋 津田武兵衛
○リ×ハ 西區新町北一ノ二電西二二二

酒問屋 辻本仙造
○チ×ニ 西區南堀江一ノ二電西三三三

登商錄 花咲春 發賣元
清酒卸商 商號平八
中川八兵衛
西區江戶堀上通一丁目
電話土佐堀六四四
總發大阪一五七五六
電話ナカハ

酒商 中川伊兵衛
○チ×ロ 西區北堀江上ノ三電西三三三
同 中川辰治郎
西區九條北二ノ六九四電西一〇五四
酒問屋 中西龜吉
○チ×ロ 西區九條中一ノ三電西三三三
同 長澤彦治郎
西區南堀江下二ノ七電西三三八二

酒商 中川伊兵衛
○チ×ロ 西區北堀江上ノ三電西三三三
同 中川辰治郎
西區九條北二ノ六九四電西一〇五四
酒問屋 中西龜吉
○チ×ロ 西區九條中一ノ三電西三三三
同 長澤彦治郎
西區南堀江下二ノ七電西三三八二

於各博覽會
各共進會
各品評會
金銀賞牌受領

標商錄登 味淋耐燒
司白菊 菊盛菊
銀水 日東盛
元造釀

會社 吉岡商店
西區幸町通三丁目
電話西一〇〇七七
電話大阪二五九六七
電話一四九六シ

大阪府下西成郡傳法町
吉岡釀造場
電話土佐堀一四九五

醬油商 梅木熊次郎
西區江戶堀南通一丁目
電話土佐堀一九三二
總發大阪 三四七六

銘酒〔梅盛〕發賣元
清酒問屋 梅卯
梅木熊次郎
西區江戶堀南通一丁目
電話土佐堀一九三二
總發大阪 三四七六

〔酒酪〕 近江富士 釀造販賣
千代世界 酒問屋
宇野大阪支店
西區九條中通二丁目
電話西一〇七一
酒問屋 宇野本店

酒問屋 宇野本店
西區九條中通二丁目
電話西一〇七一

酒商 上田喜之助
○(X) 西區新町南通五ノ三電話四九三
同 西區南堀江三番町一七電話四〇三七
同 西區江戶堀下ノ七電話土佐堀三五七



酒清等優
清酒「山星」印發賣元
山星 鈴木商店
西區新町南通一丁目
電話西 二五三一
接替大阪 才三四三
電話大阪 才三四三

酒商 山泉盛田合資會社大阪支店
西區北堀江一ノ三電話三九〇三
同 山下市太郎
○(X) 西區河津中ノ三電話西二
醬油醸造販賣 山下市太郎
西區南堀江町三ノ二五電話一〇二四
酒商 山口文次郎
西區川岸町九電土佐堀二五〇六
櫻正宗發賣元 山邑大阪支店
西區北堀江上一ノ七電話西四〇
酒商 山田友三郎
○(X) 西區江戶堀下ノ六電土佐堀三五七
醬油問屋 山崎善助
○(X) 西區京町堀通四丁目

商標 印醬油
西區立賣堀北一ノ三電話西四九〇六
西區土佐堀四ノ一電土佐堀二四七
○(X) 西區中通三ノ三電話西七三
洋酒商 小山西南店
西區花園町一〇電話西二四九
酒問屋 小寺久吉
○(X) 西區本町三ノ三電話西三三
長發賣元 西區北一ノ三電土佐堀三五七
味增商 肥塚庄左衛門
○(X) 西區南堀江一ノ三電土佐堀三五七
洋酒商 越後屋商店
西區新町四ノ一〇八電話西三九
同 阿波野庄平
○(X) 西區京町堀上ノ六電土佐堀三五七
同 赤松充作
西區南堀江町六ノ三四電話西三六六

商標 東印醬油
特約一手賣捌
各國醬油問屋

商標 彌谷佐兵衛商店
醬油商
商號みのさ

調味專用味淋發賣元
佐治末次郎
西區立賣堀北通五丁目
電話西 一一一四
接替大阪 二四四一
酒商 佐藤佐太郎
西區九條町二ノ六五五電話西三五二
同 酒井善助
○(X) 西區新町南ノ六電話西四〇六
同 阪本郁太郎
西區南堀江下四ノ三六電話西三三〇四
洋酒商 櫻屋商店
西區新町二ノ八電話西三〇六

酒類商 彌谷佐一郎
西區立賣堀北通二丁目
電話西土佐堀一四二七
醬油商 八尾喜太郎
西區立賣堀上通一ノ七〇電土佐堀一九四四
同 八尾幸治郎
○(X) 西區立賣堀上通一ノ三電土佐堀九三三
同 松井富三郎
西區京町堀上二ノ三電土佐堀九二三
酒問屋 松島藤夫
西區薩摩堀東ノ町八電話一七一八

松屋
松谷彌平治商店
西區立賣堀北通一ノ六
(龜橋北詰西入)
電話西 一一二〇三
接替大阪 二五三九一
醸造場 播州龍野

清酒 丸勘商店
西區京町堀通四丁目
電話土佐堀二四七八
接替大阪 二二〇三

北橋秀松
菊井奈良藏
西區櫻島町五電土佐堀一八三
岸田民助販賣部
西區北通二ノ六電土佐堀二四〇五
同 岸本為次郎
○(X) 西區梅本町三電土佐堀二九五

酒商 三吉大阪支店
西區北堀江御池通四ノ六電話西二四八
同 三谷新左衛門
○(X) 西區南堀江一ノ三電西三三九
酒問屋 三浦庸之助
○(X) 西區江戶堀南ノ三電土佐堀八二
同 三浦久吉
西區新町四ノ二四電話西四九七二
同 光島恒次郎
西區河津下二ノ二電西一九九五
同 菅浦米吉
西區三軒家上ノ丁
同 下田房次郎
西區九條南二ノ六一七電話西四四二
同 鹽釜平七
西區本町三ノ一五二四
○(X) 西區本町三ノ一五二四
同 鹽見傳治郎
西區京町堀三ノ五八電土佐堀一九八九

醬油商 丸二小山醬油店
西區京町堀三ノ三〇電土佐堀一〇三九
醬油問屋 圓尾大阪南支店
西區南堀江上一ノ六五電話西一九七三

成清號
成藤田伊兵衛
西區京町堀通三ノ一三
電話西土佐堀九八二二
接替大阪 九八二二

酒問屋 藤井竹次郎本店
西區南堀江通四ノ三六
電話西土佐堀一五二九
接替大阪 一九八
支店 京都市東區今橋四丁目
神戸市元町五丁目

鳥村又平
柴田德太郎
西區幸町五ノ二〇一電話西五〇三〇
○(X) 西區西道頓堀一ノ三電話西三三
酒清 愉快發賣元
櫻井屋
西區江戶堀下通三丁目
電話土佐堀 一九〇四

於各博覽會
各共進會
各品評會
名譽賞牌受領
銘譽 菊
喜げん顔 醸造販賣
平松正宗
平松繁十郎本店
販賣部
西區西九條驛前
電話土佐堀八七
○(X) 西區西九條驛前
兵庫縣灘御影町
平松繁十郎支店醸造部
醸造場 平松繁十郎支店醸造部
溜醬油味增商
盛田合資會社
本店 西區北堀江通一ノ六〇
電話西 九九〇三
接替大阪 九九〇三
尾張通多郡小治谷村

酒商 福井榮吉
西區立賣堀北一ノ三電話西四九〇六
洋酒商 福尾商會
西區土佐堀四ノ一電土佐堀二四七
醬油商 古谷金次郎
○(X) 西區中通三ノ三電話西七三
洋酒商 小山西南店
西區花園町一〇電話西二四九
酒問屋 小寺久吉
○(X) 西區本町三ノ三電話西三三
長發賣元 西區北一ノ三電土佐堀三五七
味增商 肥塚庄左衛門
○(X) 西區南堀江一ノ三電土佐堀三五七
洋酒商 越後屋商店
西區新町四ノ一〇八電話西三九
同 阿波野庄平
○(X) 西區京町堀上ノ六電土佐堀三五七
同 赤松充作
西區南堀江町六ノ三四電話西三六六

龜甲富醬油株式會社
大阪支店
西區南堀江通四丁目
電話西 二〇六九
龜甲萬醬油大阪荷捌所
西區江戶堀北一ノ三電土佐堀二〇三三
同 木村竹治郎
西區立賣堀南六ノ一五電話西二六五五

酒商 三吉大阪支店
西區北堀江御池通四ノ六電話西二四八
同 三谷新左衛門
○(X) 西區南堀江一ノ三電西三三九
酒問屋 三浦庸之助
○(X) 西區江戶堀南ノ三電土佐堀八二
同 三浦久吉
西區新町四ノ二四電話西四九七二
同 光島恒次郎
西區河津下二ノ二電西一九九五
同 菅浦米吉
西區三軒家上ノ丁
同 下田房次郎
西區九條南二ノ六一七電話西四四二
同 鹽釜平七
西區本町三ノ一五二四
○(X) 西區本町三ノ一五二四
同 鹽見傳治郎
西區京町堀三ノ五八電土佐堀一九八九

盛田合資會社
本店 西區北堀江通一ノ六〇
電話西 九九〇三
接替大阪 九九〇三
尾張通多郡小治谷村

平野酒造部大阪販賣店
西區江戶堀北一ノ電土佐堀一〇〇五
酒商 森利酒造店
西區本町三ノ三〇九電南三六七

酒問屋

山海里

森政七本店

西區北堀江東通一ノ五八
電話南一四八七
電傳大阪一七九七

森下榮助
西區北堀江上三ノ一六四電南二二一

砂原彌一郎
西區北堀江下二ノ二六電南三三八〇

菅原與二郎
〇×× 西區新町南一ノ八電南三三三〇

南區

井上源次郎
南區豐町一ノ二電南三三三六

石井市松
南區難波新川一ノ二電南五九三六

石川食品店
南區難波新地二電南五〇三三

石崎合資會社島之内支店
南區竹屋町三六六電南四一五

甘強 味淋大發賣元
相生 味淋大發賣元
清酒味淋燒酎問屋

石田徳次郎商店

南區北炭屋町御池橋南入
電話南一四一八〇
電傳大阪二九五七四

味淋 釀造元
本直酒耐淋
大勲 池島勘治郎
南區南炭屋町
電話南九一五八
電傳大阪一七〇五

浪花娘 發賣元
井上兵次郎
南區難波波御川町
電話南一八三九〇
電傳大阪一三六〇四

小田大阪支店
南區安堂寺橋四ノ三三電南五〇八五
加賀正商店
南區西區町一四電南二七五六
川尻金造
〇×× 南區問屋町四電南六一一六
神田清酒部
南區難波櫻川町二ノ二六電南六六三

服部商店
南區高津三番丁(末廣橋東詰)
電話南三〇一五電傳大阪一〇九四五

花木富久娘販賣所
南區橫堀七ノ七四電南三九五

西川萬司
〇×× 南區木津助町一丁目電南四三三

西川定義
〇×× 南區五屋三番町電南四四四

西川定義
〇×× 南區難波波御川町一六電南一九五一

細井幸之祐
南區大寶寺町東ノ町
電話南二四三三
電傳大阪一七〇五

法覺小兵衛
〇×× 南區難波波御川町電南一六二二

德岡市兵衛
〇×× 南區難波波御川町電南一六二二

鳥山多三郎
南區玉屋町四六電南三〇六一

越智唯
南區難波波御川町四電南六二〇八

御宮地政次郎
南區谷町七ノ一九電南五〇九九

岡本重治
〇×× 南區難波波御川町一丁目電南五〇九九

別世界 發賣元
佳絶
清酒問屋 岡本商店
南區末吉橋東詰南入
電話南一七六七
電傳大阪一七八一〇

大前善右衛門
南區三ツ寺町筋
佐野屋町西入
電話南一四八七

日本鶴 發賣元
さつき正宗 發賣元
美徳
大彌號 奧村彌兵衛
南區難波波御川町一丁目
電話南一三三四
電傳大阪二四四八

富久男印 發賣元
櫻の友印
酒類卸小賣
竹岡新之助
南區高津町八番丁一八九
電話南三五七八

田中清吉
〇×× 南區天王寺大道一丁目電南三五七九

棚橋俊次郎
南區上本町二ノ三電南五七〇二

辻本辰三郎
〇×× 南區五屋町五番町電南八二二

辻本寅治郎
〇×× 南區高津四番町四九電南一五二

村田重兵衛
南區高津四番町四九電南一五二

村田重兵衛
南區高津四番町四九電南一五二

植田政太郎
南區天王寺大道一ノ三三電南二四四

銘嫁盛發賣元

酒問屋

播徳號奥山彌三郎

南區御藏跡町一
沖田橋西詰西(八入)
電話南三三六一

酒問屋 奥谷貞三
南區久左工門町電南四五七

醬油商 奥本孫三郎
〇×× 南區難波谷仲ノ町電南三七九二

醬油問屋

こい善

桂善助

南區豐町通三丁目
電話南一〇五〇
電傳大阪八四九〇

神露販賣元 小田大阪支店
南區安堂寺橋四ノ三三電南五〇八五

加賀正商店
南區西區町一四電南二七五六

川尻金造
〇×× 南區問屋町四電南六一一六

神田清酒部
南區難波櫻川町二ノ二六電南六六三

紅葉屋 吉川伊作
紅葉正宗發賣元
南區高津四番町五九
電話南四六四

吉川伊作
〇×× 南區高津四番町五九
電話南四六四

播伊達伊一
〇×× 南區瓦屋町四番丁二三
電話南一五〇六

多田慶治
南區下寺町四ノ四六電南五五五七

大彌酒造
南區順慶町一ノ三三電南三三四

大彌酒造
南區順慶町一ノ三三電南三三四

谷上兵太郎
南區木津川町一ノ八電南一七七

民谷房次郎
〇×× 南區天王寺六萬屋(三)電南三三三

高橋宗助
〇×× 南區大寶寺町東之丁三三電南三三三

竹島吉松
南區高津四番町四五電南五〇四六

田中清吉
〇×× 南區天王寺大道一丁目電南三五七九

棚橋俊次郎
南區上本町二ノ三電南五七〇二

辻本辰三郎
〇×× 南區五屋町五番町電南八二二

辻本寅治郎
〇×× 南區高津四番町四九電南一五二

村田重兵衛
南區高津四番町四九電南一五二

村田重兵衛
南區高津四番町四九電南一五二

植田政太郎
南區天王寺大道一ノ三三電南二四四

梅崎樽太郎
〇×× 南區大寶寺町四ノ丁一電南六六六

薄井儀一郎
〇×× 南區末吉橋四ノ八二電南一四九四

入木松太郎
〇×× 南區阪町四〇電南五二一七

安井りゑ
〇×× 南區日本橋筋東一丁目

安井りゑ
〇×× 南區日本橋筋東一丁目

安井りゑ
〇×× 南區日本橋筋東一丁目

安井りゑ
〇×× 南區日本橋筋東一丁目

標商錄登
最上 醬油 發賣元

醬油問屋
商號 播岸

山口岸松

南區御藏跡町一
電話 南三六五八

醬油商 山政醬油店
南區東關谷七七〇 電話 南五六八〇

酒商 山本勘藏
南區難波新川一ノ七二四 電話 南五二七九

同 山本榮治郎
南區難波新地五番丁二 電話 南一四九六

同 山下南支店
南區難波元町四ノ三〇 電話 南五四三六

〔酒銘〕 鶴龜 發賣元

酒類商

商大五

安井五郎兵衛

南區高津一番町七〇
電話 南二五一

銘辨天娘 發賣元

酒問屋

前川竹次郎

南區下寺町三丁目
電話 南三三八二

酒類問屋 松村金治郎
南區難波元町三三九〇 電話 南一三三九

純良溜醬油 登録

品一下天

丸豐合資社 大阪代理店
主任 小林福造
南區南岸屋町二四
電話 南五〇七四

愛知縣知多郡牛田港
九豐合資會社

釀造元

酒商 伊藤辰治郎
北區北梅田四五二
電話 北一三三八

白鶴專賣 井上伊助
北區北區會根崎上一ノ五 電話 北八二八

酒商 井上治兵衛
北區古川町四七 電話 西四六七二

清酒 一見正宗 發賣元
和洋酒卸商 井上大作
北區南森町
電話 東二七四八
北區東區六九七四

銘壽賀印發賣元
清酒卸小賣商 泉善
南區東清水町
電話 南三七〇

菅森善五郎
南區 電話 南三三〇
攝大 南三〇九三

北區

酒商 伊藤辰治郎
北區北梅田四五二
電話 北一三三八

酒商 井上伊助
北區北區會根崎上一ノ五 電話 北八二八

酒商 井上治兵衛
北區古川町四七 電話 西四六七二

清酒 一見正宗 發賣元
和洋酒卸商 井上大作
北區南森町
電話 東二七四八
北區東區六九七四

銘壽賀印發賣元
清酒卸小賣商 泉善
南區東清水町
電話 南三七〇

菅森善五郎
南區 電話 南三三〇
攝大 南三〇九三

北區

酒商 伊藤辰治郎
北區北梅田四五二
電話 北一三三八

酒商 井上伊助
北區北區會根崎上一ノ五 電話 北八二八

酒商 井上治兵衛
北區古川町四七 電話 西四六七二

清酒 一見正宗 發賣元
和洋酒卸商 井上大作
北區南森町
電話 東二七四八
北區東區六九七四

銘壽賀印發賣元
清酒卸小賣商 泉善
南區東清水町
電話 南三七〇

菅森善五郎
南區 電話 南三三〇
攝大 南三〇九三

北區

酒商 伊藤辰治郎
北區北梅田四五二
電話 北一三三八

酒商 井上伊助
北區北區會根崎上一ノ五 電話 北八二八

酒商 井上治兵衛
北區古川町四七 電話 西四六七二

醬油問屋 松本儀郎
南區西清水町三三 電話 南六八〇

酒類商 九政商店
南區谷町七ノ一九 電話 南五四九九

酒商 益田信三郎
南區五屋五番丁三六 電話 南九六一

同 益山酒店
南區谷町七ノ一九 電話 南五四九九

同 增田久三郎
南區生玉前二七 電話 南八八〇

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

同 萬代岩吉
南區千代前一六 電話 南四一四三

優等清酒 元賣發

伊丹治

佐々木本店

南區順慶町一丁目
電話 南一八三四

水無瀬 安次郎
南區松屋町三二 電話 南二四〇

水無瀬 安次郎
南區松屋町三二 電話 南二四〇

水野清三郎
南區松屋町四四 電話 南二四〇

水野清三郎
南區松屋町四四 電話 南二四〇

三宅合名會社支店
南區難波元町二ノ二 電話 南一七九四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

南區難波元町四ノ二 電話 南五四四四

彌生味淋カギ大焼酎發賣元
味淋焼酎清酒卸小賣
大橋商店
北區西堀川町七
電話東六三二

酒商
酒商
北區天神橋西二ノ一七七電東五〇一八
味喃商
北區天神橋西四電東一五九
酒問屋
北區木幡町二八電東六七三
酒商
北區天神橋四ノ六九電東四八七八
酒商
北區中之島四ノ五電土佐堀三三

酒商
北區天神橋西二ノ一七七電東五〇一八
味喃商
北區天神橋西四電東一五九
酒問屋
北區木幡町二八電東六七三
酒商
北區天神橋四ノ六九電東四八七八
酒商
北區中之島四ノ五電土佐堀三三

酒銘
德川正宗
寶德
發賣元

酒問屋
原德

酒商
北區老松町三ノ五〇電北一三八九

酒商
北區天神橋筋六丁目
電話東七九六

酒商
北區老松町三ノ五〇電北一三八九

酒商
北區堂島中一ノ四二
電話北一三五二

酒商
北區天神橋六ノ八三電東一〇三〇
同
北區堂島中一ノ八電北一〇六六
酒商
北區北ノ茶屋三〇二電東一七六九
酒問屋
北區會根崎上四丁目
片山藤吉

酒商
北區會根崎中一ノ〇〇電北五八九
酒商
北區上福島中一ノ二三電土佐堀八三二

酒銘
白雪
黃金櫻
松鹿
武德
發賣元

酒問屋
鹿島為次郎

酒商
北區伊勢町
電話東二〇四三
電話大阪二四九三
電話東二〇四三
電話大阪二四九三

標商錄登
印醬油發賣元
各國醬油問屋
錢屋

酒商
北區西堀川
電話東三三〇〇
電話東三三〇〇

酒商
北區西堀川
電話東三三〇〇
電話東三三〇〇

酒商
北區西堀川
電話東三三〇〇
電話東三三〇〇

酒商
北區西堀川
電話東三三〇〇
電話東三三〇〇

酒商
北區西堀川
電話東三三〇〇
電話東三三〇〇

酒商
北區西堀川
電話東三三〇〇
電話東三三〇〇

酒商
北區西堀川
電話東三三〇〇
電話東三三〇〇

高等味噌製造問屋

酒商
北區天神橋東一ノ三三電東一三三六
吉川惠造

酒商
北區天神橋東一ノ五二電東二八三一
吉田與十郎

酒商
北區會根崎上ノ一電東九九九
米田馬太郎

酒商
北區會根崎上ノ二電東九九九
四方太三郎

酒商
北區會根崎上ノ三電東九九九
高橋福太郎

酒商
北區伊勢町二五電東五〇七七
高野賢治

酒商
北區紅梅町三三電東三九一八
高野菊松

酒商
北區會根崎新地三ノ甲電北一三六二
田中平助

酒商
北區下福島町二ノ六電土佐堀一八九三
谷口彌一郎

酒商
北區上福島二ノ九電土佐堀二五〇八
民谷文五郎

酒商
北區會根崎上ノ一電東九九九
中村清太郎

酒商
北區北野芝田町一七二電東三八六四
中島松太郎

酒商
北區宗是町一五電土佐堀一三〇八
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ二電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ三電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ四電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ五電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ六電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ七電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ八電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ九電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ一〇電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ一一電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ一二電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ一三電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ一四電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ一五電東九九九
室谷文藏

酒商
北區會根崎上ノ一六電東九九九
室谷文藏

醬油清酢卸小賣

酒商
北區天神橋筋四丁目
(夫婦橋北詰西側)
電話東二八六三
電話〇二二ウイ

酒商
北區天神橋筋四丁目
(夫婦橋北詰西側)
電話東二八六三
電話〇二二ウイ

酒商
北區天神橋三ノ一六八電東三九四八
山口金三郎

酒商
北區堂島馬場三ノ七電八二三
山路忠兵衛

酒商
北區堂島馬場四ノ八電土佐堀五三九
山城屋本店

酒商
北區安治川上電土佐堀九七二
安田順三

酒商
北區安治川上電土佐堀九七二
安田順三

酒商
北區安治川上電土佐堀九七二
安田順三

酒商
北區安治川上電土佐堀九七二
安田順三

酒商
北區野田町一八電東三九一四
增田乙次郎

酒商
北區旅籠町九五電東三二四二
憲法屋酒店

酒商
北區北野牛丸町六電東一三六三
松本成次郎

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區岩井町一ノ一電東五二二五
松本壽賀

酒商
北區會根崎新地二ノ八電北七七八
佐々木榮吉

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

酒商
北區西梅ヶ枝町六ノ一電北九五一
阪野常太郎

大阪府 大阪市 醸造用 機械器具藥品并空場空樽類商

種 類
醸造用器具
醸造用器具
販賣用酒道具

各國産砂糖、白下、糖蜜
氷蜜、甘草、甘茶類商
大黒天印 甘味エキス製造販賣
石井商店
西區南堀江下通一丁目
（堀江橋筋西入北側）
電話 〇一〇一
醸造用品商
播田房吉
西區西九條上ノ宮電土佐堀一八五二
樽栓呑口商
西區西長堀南二ノ九電西二九六

呑口製造
樽口製造
醸造用販賣
伊中伊太郎
南區空堀町四
電話大阪二六八四六
工場 南區谷町七丁目
鑄造金物商
大川梅藏
南區大寶寺町

品問屋 尾崎出張店
西區江戶堀北通四ノ七一
電話土佐堀一六六八 電話大阪一三三
專賣特許
醸造用壓搾機械
並諸機械製造業
翁河原國藏
西區南堀江上通五丁目
電話西四一六八
電話大阪八四一〇

清酒防腐液 NECTARINE 發賣元
大藏省醸造試驗所御用達
酒袋。醬油袋。柿澁。
醬油着色エキス。甘草。
醬油カビ止め。モヤシ。
大釜。麴蓋。硝子瓶。
樽栓。呑口。溫度計。
コロッブ。書籍。藥品。
樽張瓶張レツテル。
其他醸造用器一式
縫目ナシ丸織袋

乾清造店商
西區立賣堀南通二丁目
電話西二二三
電話大阪二二三
電話イ・イヌイ

酒類醬油道具商
商記 丹喜
半岡本喜兵衛
南區四ツ橋東北詰
電話南二三二六
電話大阪二二七
電話タシキヲ
醸造機械
小澤克己大阪支店
西區阿波座上一ノ五二電西七七

壓搾機械製造 角田鐵工所
南區高津三番町電南三八四六
醸造用品 吉田商會
西區南堀江四ノ四二電西四三六六
醸造用品問屋
秋田屋
辻村榮助
西區土佐堀通四ノ九
電話西一七四二 電話〇五

取次販賣品種目
東京澱粉製精株式會社製
醬油カラメル
醬油甘味飴
前川一手販賣
植木醬油もやし
並ニ醸造用品各種

酒醬油搾袋
諸木綿
丸織袋製造
卸問屋
深江屋
植村治三郎
南區長堀橋筋一丁目
電話南四六三
電話大阪五八〇七

於各博覽會賞牌受領
清酒釀造用麴種もやし
大和屋
上田伊之助
南區板屋橋筋周防町
電話南六七八
電話大阪一五一六

清酒釀造用種麴もやし
大和屋
上田伊兵衛
東區北久太郎町四丁目
電話東三六〇三
電話大阪六五〇三
電話ウ
種麴製造 野口福松
西區北堀江下二ノ一電西一八二三
醬油種麴 前川彦十郎
南區長堀橋筋一丁目電南二二八



新麴菌發賣元
醸造用品問屋
今野商店
今野謙吉
第一銀行大阪支店
大阪市高麗橋五丁目
電話西本局三八六
電話大阪七六二〇
電話コンノコ

酒醬油搾袋製造
醸造用品問屋
五貫屋
松尾彌左衛門
南區難波元町二ノ四
電話大阪二二六〇
大阪難波局私書函受號
呑口樽口木存製造 藤田庄兵衛
西區南堀江下通四ノ七六
醸造用品種商 郡 卯之松
東區瓦町三ノ三電本局二七七三



標商錄登
釀造用品一式製造販賣

〔部賣販〕
大阪天王寺西門前
佐々木商店
電話南三六八三
振替大阪一七六〇一

〔場造製〕
大阪天王寺東門東
佐々木芳太郎
電話南三〇二七

〔目種業營〕
吉野産桶木
酒器一式藥品
酒油用種紙
醬油色附キス
酒油用種紙
醬油用種紙

標商
歸一社

西區中道通三丁目
電話土佐堀九四八
振替大阪七三二九
電話キ一

酒造用種麴
味噌用種麴
醬油用種麴

種麴専門製造所

樋口松之助

東區北久太郎町四丁目
電話東四二四〇
振替大阪五四九
電信略號ヒ

酒醬油用具商

箕面崎龜太郎

大阪天満市之側
天神橋北詰西入
電話東二一〇六
振替大阪九〇〇七
製造場 大阪南區鹽町

酒醬油用具箕面崎治二郎
各種箕面崎
製存口卸
南區鹽町三丁目
三休橋筋北入
振替大阪一四五二四
西區立賣堀北五ノ七四電西二二五

新
空樽商

空樽問屋
商號樽徳
清酢問屋 久溜間敬一郎
北區川口國津橋東詰電話西三八〇三

空樽問屋

樽仙

大谷市松商店

北區岩井町一丁目鳥居筋南へ入
電話東三八〇八六
振替大阪三〇二六二
電話略タルセン

空樽問屋

樽福本店

山本福松

北區金屋町一ノ三六
電話東一二九三
振替大阪二八〇八七

空樽問屋

榊田永吉

南區難波新川町一ノ七〇六

各醬油並ニ空樽商

樽卯

佐竹卯市

南區難波元町一ノ七五一

空樽問屋

三三榮社

西區南堀江三番町
電話西三三二八
振替大阪一七五二六

空樽問屋

樽芳商店

廣田福松

西區幸町二丁目
電話西四三三三

支店 大阪西區阿波堀五丁目

樽商 庄司己之助

西區新町南三ノ一三四電西一五〇〇

空樽商 杉原幸助

西區幸町五ノ六四電西一三八六

新
空壇並
コルク商

樽類製造 徳永硝子製造所

北區與力町二丁目電東四一三三

北區南森町一三電東一九二〇

大阪府 大阪市

空樽問屋コルク商

目科業營
コルク紙
塚洗コルク打
獅々印錫紙
地球印コシ綿
並附屬品各種

コルク錫紙直輸入商

岩崎合名會社

東區道修町一ノ一七
電話本局一六八七
振替大阪一四五二六
電信略一四一六

塚冠コルク、ラムネ瓶製造
ラムネ、サイダー器械製造
各種香料及ゴム直輸入
並ニ空壇問屋

富永商店

工場
西區北堀江三番町六八
電話西一七二四
振替大阪一九二五八
大阪市西區北堀江通六ノ一六
電話西二〇〇八

和洋コルク

製造卸問屋

奥井商店

東區平野町三ノ四四五
電話本局二〇二七六
振替大阪一〇二七六

和洋コルク製作用品一式
化學用品一式
塚詰用品一式

渡邊友次郎

コルク製造 龜田商店
東區伴見町一丁目電本二四七六

コロッツ商

土橋貞介商店
東區平野町三丁目三休橋筋南入
電話本局一三五九二
振替大阪一〇九〇六

コルク製造卸
錫紙金蓋輸入
コルク原料
塚アラシ
瓶詰用附屬品
コルク細工物一式

丸三商會

大阪市東區高麗橋一丁目
電話本局八四三
振替大阪一三八六七

酒醬油瓶

其他藥用瓶

各種製造

四ッ谷硝子製造所

北區同心町一ノ三八一
電話東四五八四

クラウンコルク會社樽類支店
北區中ノ島五ノ五八電土佐堀二七六八
空壇問屋 山中良太郎
北區橋ノ上町五〇
電話東二二九四

空樽商 足立源太郎
北區橫堀四ノ一電本局三〇三六

赤松コルク製作所

コルク
錫紙金蓋
濾過綿
ラムネ口護謄

大阪市北區空心中二丁目

赤松商店

電話東一〇六三 振替大阪八一五

コルク直輸出入商

永柳商店 大阪支店

東區高麗橋一ノ一七
電話本局 二四四六

本店 東京日本橋區久松町

阪神商 南山 濱 吉
北區伊勢町八電東二四七五

和洋コロップ製造卸
濾過綿錫紙金蓋
瓶口機械石ワラシ
塚詰用附屬品一式

久安商店

東區道修町二丁目浪花橋筋北
電話本局 一七七八
振替大阪一九二八八

看板製作所

美術諸額看板製作

西岡松龜堂

東區南久太郎町并池北へ入

藤繪彫刻看板専門

大塚春盛堂

東區南久太郎町并池西へ入

御諸額
藤繪看板
彫刻看板
眞鍮看板
製作

常田看板店

東區淡路町三角
電話本局 二四一

酒醬油諸看板調製所

湊美成堂

大阪新町橋東詰東入

諸看板
製作
西區京町堀上通二丁目
電話土佐堀五八九振替大阪二九九四二

看板製作

木村東洋館
東區南本町三丁目

焼印製造所

酒醬油醸造家用

焼印製造元

利進堂

川上利吉

南區三休橋停留所前
(心齋橋東長堀橋西)
電話大阪一九九六三

諸機械用焼印一式調製所

瀧野盛進堂

南區内安堂寺町一丁目
電話大阪一五五九八

諸焼印製造
山下榮玉堂
西區新町橋西詰

酒醬油
化粧箱用
菰押用

焼印一式

焼印

大阪日本橋北詰

三浦盛廣堂

電話南三四二一
振替大阪二二八四一

陸海軍御用

焼印

酒醬油醸造家用
菰押焼印
眞鍮肉押印
化粧箱押焼印
製造専門

久保商店

西區薩摩堀東之町一四
(新町橋電車停留所二丁南)
電話大阪 二五六三八

雑業

封緘
レツテル印刷所
印入袋物煙草入
マーク摺込
喇猪口類

實用新案 封緘製造販賣



大阪市東區横堀三丁目

林商店 鋸部

電話本局 八四四



酒醬油
レツテル
専門

大阪西區上宮橋北通三丁目

カニキ堂



酒醬油

商標印入賣入
其他袋物一式
製造販賣

楠山商店

大阪淀屋橋南詰南入
電話本局 一四五七

五かぎや五兵衛

東區淀屋橋南詰
電話本局 二二七六



レツテル印刷 上村曉雲堂
西區江戸堀南一ノ一四
電話土佐堀 九七八

●信用を重んずる御方は見落
す勿れ

金製製樽木函打
封緘かすがひ

但し各會社各店の商標印彫刻入り御好
みに應候候細の値段書は定價表有之
候へば御一報次第直接差出し可申候
新案特許製造發賣元

久保田庄兵衛

大阪市東區北久寶寺町四ノ一〇

天 下 之 霸 酒

發賣元

東京酒問屋

鹿 嶋

本 店

東京市北新川

電話東京
一三三三
一三三三
一三三三
一三三三

元 祖
稷 紋 正 宗



釀造元

攝州灘西宮

辰 馬

悅 藏

大阪府 堺市並郡部

二四

標商録登



河 又 醬 油

河 又 本 店

〔店支〕

大 阪 和 歌 山 吳
新 舞 鶴 大 連

河 盛 又 三 郎
大 阪 府 堺 市
電 話 堺 一 七 〇
六 七 〇
電 報 東 京 八 五 二 四
大 阪 四 五 三 五
電 報 カ ワ マ タ

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----------------------|------|----------------------------|------|--------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------------|------|----------------|------|--|------|---------------------|------|----------------------|------|-------------------|------|---------------------|------|----------------|------|----------------------|------|-----------------|-----|--------------------|-----|------------------|-----|------------------------|-----|----------------------|-----|--------------------------|-----|--------------------|-----|----------------------|-----|-----------------------|-----|---------------------|-----|-------------------|-----|-------------------------|-----|------------------------|-----|---------------------------|-----|----------------------------|-----|----------------------|-----|-----------------------|-----|-------------------------|-----|-------------------|-----|---------------------|------|---------------------------------------|------|-----------------|------|--|------|----------------------------|------|-------------------|------|-------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------|
| 醬油製造 | 米澤竹松 戎之町東二ノ一〇八電七二二 | 醬油製造 | 山田醬油店 堺市熊野町東二丁 電話八二二 | 醬油製造 | 松六醬油合資會社 寺地町西ノ三 | 醬油製造 | 合名會社雨風商店 少林寺町電四六 | 醬油製造 | 指吸富之助 寺地町西ノ一電三三六 | 醬油製造 | 堺醬油製造合資會社 甲斐町東四ノ四七電一七一 | 醬油製造 | 新谷甚兵衛 北旅籠町二 | 醬油製造 | 柴谷延雄商店 堺市村木町東一丁一五九 電話堺三三四五 電報大坂九八五七 | 醬油製造 | 守 新治郎 向井町中筋 電六四〇 | 醬油製造 | 泉谷 與藏 市之町東六ノ二九電九六 | 醬油製造 | 林原榮三郎 南旅籠町電六二九 | 醬油製造 | 西脇藤三郎 甲斐町東四丁電一三四 | 醬油製造 | 大澤 徳平 大町東三丁 | 醬油製造 | 和 田 楠 松 宿屋町三七電五〇九 | 醬油製造 | 河井作次郎 海ノ町東一丁 | 洋酒商 | 竹内長五郎 甲斐町一五電二四二 | 洋酒商 | 種野榮太郎 少林寺町東一丁 | 洋酒商 | 根 來 駒 吉 南旅籠町東二丁電五五三 | 洋酒商 | 上 田 房 五 郎 少林寺町電八七 | 洋酒商 | 栗 本 利 一 郎 戎之町西ノ一三〇電七二 | 洋酒商 | 山 梶 治 三 郎 南 半 町 | 洋酒商 | 山 本 萬 次 郎 南半町電四三〇 | 洋酒商 | 松 本 角 治 郎 南旅籠町電三九一 | 洋酒商 | 松 本 啓 造 寺地町九電六〇七 | 洋酒商 | 松 谷 萬 藏 榮橋通東一丁 | 洋酒商 | 益 山 常 兵 衛 中ノ町西一丁電二一九 | 洋酒商 | 福 地 眞 治 郎 南半町三一電七四七 | 洋酒商 | 江 那 七 太 郎 新在家西二ノ二八電三八九 | 洋酒商 | 淡 海 安 太 郎 南旅籠町西五ノ六五電八二一 | 洋酒商 | 三 木 元 吉 並松町九〇電六三三 | 洋酒商 | 茂 見 利 之 助 北半町六電六一三 | 洋酒商 | 森 下 文 造 熊野町西二ノ三〇電五七四 | 洋酒商 | 末 吉 新 藏 橋屋町東三丁 | 洋酒商 | 末 吉 平 兵 衛 市ノ町東四丁 | 酒樽製造 | 樽木間屋並酒樽製造業 今 西 定 吉 酒樽製造 〇××× | 酒樽製造 | 眞正吉野産 桶木樽丸問屋 | 酒樽製造 | 分橋本龜三郎 堺町戎町西二丁 電話堺一四二六八 電報大坂一四一六八 | 酒樽製造 | 尾洲半田港 橋本半田支店 電 報 八 十 | 酒樽製造 | 西 園 好 松 甲斐町西一丁 | 酒樽製造 | 大 川 龜 松 熊野町東二丁 | 酒樽製造 | 河 内 谷 福 松 甲斐町東三丁 | 酒樽製造 | 塚 原 常 次 郎 南半町東一丁 | 酒樽製造 | 木 田 平 次 郎 橋屋町西一丁 | 酒樽製造 | 柴 辻 源 次 郎 宿屋町西一丁 | 酒樽製造 | 柴 辻 徳 三 郎 戎ノ町西二丁 | 酒樽製造 | 平 井 千 次 郎 車ノ町西一丁 | 酒樽製造 | 森 田 松 次 郎 神明町西一丁 |
|------|-----------------------|------|----------------------------|------|--------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------------|------|----------------|------|--|------|---------------------|------|----------------------|------|-------------------|------|---------------------|------|----------------|------|----------------------|------|-----------------|-----|--------------------|-----|------------------|-----|------------------------|-----|----------------------|-----|--------------------------|-----|--------------------|-----|----------------------|-----|-----------------------|-----|---------------------|-----|-------------------|-----|-------------------------|-----|------------------------|-----|---------------------------|-----|----------------------------|-----|----------------------|-----|-----------------------|-----|-------------------------|-----|-------------------|-----|---------------------|------|---------------------------------------|------|-----------------|------|--|------|----------------------------|------|-------------------|------|-------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------|------|---------------------|

| | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|
| 東成郡 酒商 天王寺村天下茶屋電二三 醬油商 天王寺村與吉々芝電南二三 同 細田 潤一 同 熊谷 市治 同 今宮村花園電一〇七 同 今宮村吉田電南一三四 | | 西成郡 味淋燒酎白酒醸造 萬歲味淋醸造元 井上彌兵衛 酒類醸造 佐々木 仁兵衛 傳法町北二丁目電土佐堀二四九七 同 味淋醸造合資會社 傳法町北四丁目 同 岸田 民助 傳法町北四ノ一二八電土佐堀一五九 同 大矢巳之助 同 今宮村花園電一〇七 同 今宮村吉田電南一三四 | | 三島郡 清酒醸造 多賀谷義嗣 長原村寺岡電一〇一 同 阿部喜兵衛 湯江村上住吉電一〇三 同 増池駒太郎 同 石井九 同 表木町表木 同 奧田 戸一 同 表木町表木 同 川勝百太郎 同 表木町表木 同 吉田多三郎 同 表木町表木 同 中村新三郎 同 表木町表木 同 中尾定治郎 同 表木町表木 同 北村平三 同 表木町表木 同 石井熊太郎 同 富田村 同 石井健次郎 同 富田村 同 橋本 榮作 同 富田村 同 堀 半七 同 富田村 同 吉田 定助 同 富田村 同 高井幸次郎 同 富田村 同 松島榮太郎 同 富田村 同 大宅 八雄 同 富田村 | | 豊能郡 清酒醸造 中尾 幸人 島村初治郎 同 杉本 初治郎 同 島村初治郎 同 森 誠一 春日村 同 樋口 英太郎 味生村一津屋 同 中川 吉藏 岸部村東 同 寺 西淺吉 岸部村東 同 小林 吉之助 清水村 同 藤吉 十一郎 安威村安威 同 久保 七良磨 豐川村道本 同 高島 佐太郎 玉柳村海真宜西 同 小司 重太郎 玉柳村水尾 同 塚本 鶴吉 五領村萩ノ庄 同 田中文次郎 山田村山田下 同 竹内 直次郎 宮島村島 同 入江 菊次郎 三ノ牧村三島江 同 若江 六兵衛 吹田町電二 同 池田酒造株式會社 池田町 同 西尾庄太郎 池田町 | | 清酒醸造 西田 與吉 池田町 同 西田 庫之助 池田町電二三 同 吉田 辨吉 池田町電六三 同 北村 伊三郎 池田町電七〇 同 北村 儀三郎 池田町電七〇 同 北村 富松 池田町電三一 同 岸上 又吉 池田町電一〇四 同 岸上 善五郎 池田町電一〇一 同 北村 貞藏 池田町電一〇八 同 北村 爲次郎 池田町電一〇四 同 岩崎 爲次郎 池田町電一〇四 同 中島 廣助 池田町四ノ口 同 中島 卯三郎 池田元新町電二四二 同 藤井 松之助 池田南新町電一三八 同 田和 嘉重郎 根根莊村相地 同 福西 喜重郎 根根莊村今西 同 森本 萬彌 根根莊村山邊 同 森村 三郎右衛門 根根莊村水 同 大西 源太郎 田尻村上田尻 同 元古 喜太郎 田尻村下田尻 | |
|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|

大阪府 西成郡 東成郡 三島郡 豊能郡

酒界之權威

菊 花 紋 正 宗



釀造元

西宮酒造會社
 攝州灘西宮

發賣元

東 京 市 北 新 川
 鹿 嶋 本 店

電話 〇三三二
 電掛 八二六
 番 八九三
 番 八九五
 番 三三四二一

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|---|--|---|---|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|---|---|---|--|---|---|--|---|---|--|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--------------------------------------|---|---|--|---|---|--|---|--|--|--|---|--|--|--|--|---|---|---|--|--|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---|--|---|---|---|
| 清酒醸造 △ ^ハ 今村藤三郎 豊野村今宮 | 清酒醸造 △ ^ハ 野木憲三 西郷村宿野 | 清酒醸造 △ ^ハ 寺倉勝太郎 西郷村大里 | 清酒醸造 △ ^ハ 奥鹿之助 歌垣村倉垣 | 清酒醸造 △ ^ハ 子安佐太郎 歌垣村吉野 | 清酒醸造 △ ^ハ 泉松之助 歌垣村吉野 | 清酒醸造 △ ^ハ 谷源次郎 歌垣村倉垣 | 清酒醸造 △ ^ハ 園田角之助 東郷村地蔵 | 清酒醸造 △ ^ハ 大原與實 東郷村野間地 | 清酒醸造 △ ^ハ 森本量義 東能勢村木代 | 清酒醸造 △ ^ハ 宇津呂徳太郎 東能勢村木代 | 清酒醸造 △ ^ハ 上津あい 東能勢村木代 | 清酒醸造 △ ^ハ 室木光治 東能勢村切畑 | 清酒醸造 △ ^ハ 良本太郎兵衛 豊中村岡町 | 清酒醸造 △ ^ハ 良本敬太郎 豊中村岡町 | 清酒醸造 △ ^ハ 永田謙藏 南豊島村原田 | 清酒醸造 △ ^ハ 堺安之助 岸和田町能松町電一四 | 清酒醸造 △ ^ハ 川崎佐右衛門 岸和田町北町電一四三 | 清酒醸造 △ ^ハ 岩井吉藏 細河村木部電一四 | 清酒醸造 △ ^ハ 金納源十郎 岸和田町北町電三三 | 清酒醸造 △ ^ハ 津田平兵衛 岸和田町北町電七七 | 清酒醸造 △ ^ハ 寺田元吉 岸和田町北町電五 | 清酒醸造 △ ^ハ 出口安太郎 岸和田町北町電六一 | 清酒醸造 △ ^ハ 村田竹治郎 岸和田町北町電一六一 | 清酒醸造 △ ^ハ 寺田甚三郎 貝塚町貝塚西電四五 | 清酒醸造 △ ^ハ 和泉醤油株式会社 貝塚町電一九 | 清酒醸造 △ ^ハ 岸野由太郎 貝塚町電一九 | 清酒醸造 △ ^ハ 岡本市治郎 貝塚町貝塚北電七 | 清酒醸造 △ ^ハ 義本一 熊取村小里内 | 清酒醸造 △ ^ハ 阪上石松 熊取村大久保 | 清酒醸造 △ ^ハ 中林泰茂 藤取村藤屋 | 清酒醸造 △ ^ハ 古谷藤兵衛 上之郷村 | 清酒醸造 △ ^ハ 左古石松 上之郷村 | 清酒醸造 △ ^ハ 和泉谷時之助 佐野町 | 清酒醸造 △ ^ハ 龜岡由太郎 西信達村岡田 | 清酒醸造 △ ^ハ 角谷清左衛門 北信達村市場 | 清酒醸造 △ ^ハ 片木政次郎 北信達村市場 | 清酒醸造 △ ^ハ 梶本八重吉 北信達村牧野 | 清酒醸造 △ ^ハ 松井勝太郎 尾崎村 | 清酒醸造 △ ^ハ 成子善太郎 尾崎村 | 清酒醸造 △ ^ハ 成子善太郎 尾崎村 | 清酒醸造 △ ^ハ 杉本源三郎 尾崎村 | 清酒醸造 △ ^ハ 森井龜太郎 西島取村波有手 | 清酒醸造 △ ^ハ 森井長太郎 西島取村波有手 | 清酒醸造 △ ^ハ 角村清作 多奈川村谷川 | 清酒醸造 △ ^ハ 辻十郎 深日村 | 清酒醸造 △ ^ハ 井阪楠太郎 山直上村積葉 | 清酒醸造 △ ^ハ 信貴豊三郎 山直上村積川 | 清酒醸造 △ ^ハ 脇坂清郎 北近義村福清電二 | 清酒醸造 △ ^ハ 信貴覺太郎 木島村三ツ松 | 清酒醸造 △ ^ハ 中谷松次郎 日根野村 | 清酒醸造 △ ^ハ 牧野龜次郎 長瀬村 | 清酒醸造 △ ^ハ 久保覺二郎 田尻村嘉洋寺 | 清酒醸造 △ ^ハ 中谷九之進 新家村 | 清酒醸造 △ ^ハ 福本三治郎 土生村土生 | 清酒醸造 △ ^ハ 谷好三郎 八木村箕土路 | 清酒醸造 △ ^ハ 奥忠吉 南中通村柏井 | 清酒醸造 △ ^ハ 大野文寛 北中通村鶴原 | 清酒醸造 △ ^ハ 根無福松 東島取村島取 | 清酒醸造 △ ^ハ 喜納彌代藏 櫻井村 | 清酒醸造 △ ^ハ 深見作十郎 櫻井村 | 清酒醸造 △ ^ハ 泉北郡 中辻酒造合資会社 久世村伏尾一 | 清酒醸造 △ ^ハ 中辻義晴 久世村伏尾 | 清酒醸造 △ ^ハ 阪尾包三郎 久世村東山一九四 | 清酒醸造 △ ^ハ 辻林包藏 南池田村三林 | 清酒醸造 △ ^ハ 上岡金藏 北池田村伏屋 | 清酒醸造 △ ^ハ 辻田酒造合資会社 北上神村野井 | 清酒醸造 △ ^ハ 谷和八三郎 津村 | 清酒醸造 △ ^ハ 上田信三郎 津村 | 清酒醸造 △ ^ハ 島田義和 深井村深井 | 清酒醸造 △ ^ハ 河野貞五郎 高石村今在家電三一 | 清酒醸造 △ ^ハ 小林勝太郎 北松尾村唐園 | 清酒醸造 △ ^ハ 久保太藏 大津町下條大津 | 清酒醸造 △ ^ハ 山崎石蔵 大津町下條電五 |
|--|---|--|---|--|---|---|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|--|--|---|---|---|--|---|---|--|---|---|--|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--------------------------------------|---|---|--|---|---|--|---|--|--|--|---|--|--|--|--|---|---|---|--|--|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---|--|---|---|---|

南河内郡

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|--|---|--|--|--|--|---|---|---|---|---|--|--|--|--|---|--|--|--|--|---|---|---|---|--|---|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|---|---|---|
| 清酒醸造 △ ^ハ 谷和親藏 向井村中筋 | 清酒醸造 △ ^ハ 守新次郎 向井村中筋 | 清酒醸造 △ ^ハ 中林巳三郎 東陶器村岩室 | 清酒醸造 △ ^ハ 櫻井文之助 清寺町下電三七 | 清酒醸造 △ ^ハ 石田岩太郎 富田林町富田林電一 | 清酒醸造 △ ^ハ 橋本忠兵衛 富田林町富田林電七 | 清酒醸造 △ ^ハ 和田長平 富田林町富田林 | 清酒醸造 △ ^ハ 葛原茂治 富田林町富田林電一五 | 清酒醸造 △ ^ハ 佐藤武治郎 富田林町富田林電八 | 清酒醸造 △ ^ハ 石田紋次郎 富田林町富田林電五 | 清酒醸造 △ ^ハ 道嶺賢治郎 富田林町富田林 | 清酒醸造 △ ^ハ 奥谷伊平治 富田林町富田林電四一 | 清酒醸造 △ ^ハ 吉田好松 中村寛弘寺 | 清酒醸造 △ ^ハ 竹綱熊五郎 石川村大ヶ塚 | 清酒醸造 △ ^ハ 浅尾壽治 石川村山城 | 清酒醸造 △ ^ハ 青谷留次郎 駒ヶ谷村大黒 | 清酒醸造 △ ^ハ 畑中佐兵衛 柏原村市村電五 | 清酒醸造 △ ^ハ 瀬川龜次郎 柏原村柏原 | 清酒醸造 △ ^ハ 杉本杉太郎 柏原村柏原 | 清酒醸造 △ ^ハ 岡田萬太郎 柏原村柏原電一 | 清酒醸造 △ ^ハ 土屋象藏 古市村豊田 | 清酒醸造 △ ^ハ 松倉定次郎 古市村豊田 | 清酒醸造 △ ^ハ 本所又壽郎 西浦村四浦 | 清酒醸造 △ ^ハ 岩根猪五郎 川西村甘山 | 清酒醸造 △ ^ハ 信田勝太郎 黒山村黒山 | 清酒醸造 △ ^ハ 竹口作太郎 黒山村南餘部 | 清酒醸造 △ ^ハ 黒田竹造 高向村高向 | 清酒醸造 △ ^ハ 西條合資会社 長野町長野 | 清酒醸造 △ ^ハ 上堂竹造 長野町長野 | 清酒醸造 △ ^ハ 吉年佐太郎 長野町長野 | 清酒醸造 △ ^ハ 八木新右衛門 三日市村三日市 | 清酒醸造 △ ^ハ 今西卯之吉 埴生村伊賀 | 清酒醸造 △ ^ハ 柳本房次郎 大伴村板持 | 清酒醸造 △ ^ハ 板倉嘉平治 八尾町東郷 | 清酒醸造 △ ^ハ 有馬益次郎 八尾町西郷 | 清酒醸造 △ ^ハ 西田謙三郎 枚岡村額田 | 清酒醸造 △ ^ハ 杉本杉太郎 枚岡村額田 | 清酒醸造 △ ^ハ 辻岡富藏 長吉村川邊 | 清酒醸造 △ ^ハ 小松孫七郎 大戸村芝 | 清酒醸造 △ ^ハ 中尾久吉 龍尾村龍尾 | 清酒醸造 △ ^ハ 池尻音吉 津田村津田 | 清酒醸造 △ ^ハ 山本小次 津田村津田 | 清酒醸造 △ ^ハ 奥村太十郎 交野村倉治 | 清酒醸造 △ ^ハ 大矢周三 交野村私部 | 清酒醸造 △ ^ハ 大門清造 盤船村森 | 清酒醸造 △ ^ハ 米山亥之吉 水室村鶴谷 | 清酒醸造 △ ^ハ 田中吾郎 水室村藤延寺 | 清酒醸造 △ ^ハ 小北醇一 菅原村藤阪 | 清酒醸造 △ ^ハ 高地安次郎 樟葉村楠葉 | 清酒醸造 △ ^ハ 山口伊三郎 樟葉村楠葉 | 清酒醸造 △ ^ハ 岩本喜次郎 四條村寺川 | 清酒醸造 △ ^ハ 河村恒太郎 四條村中垣内 | 清酒醸造 △ ^ハ 池田作藏 長吉村川邊 | 清酒醸造 △ ^ハ 西川由松 八尾町木戸 | 清酒醸造 △ ^ハ 林利一郎 枚方町岡電一九 |
|---|---|---|--|--|--|---|--|--|--|--|---|---|---|---|---|--|--|--|--|---|--|--|--|--|---|---|---|---|--|---|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|---|---|---|

北河内郡

和洋コルク輸入問屋

コルク製品ニ關スル
物品一式
塚栓用附屑品一式
其他飲料水用
豆本式壘蓋製
コルク造
寶冠コルク元

豆本式壘蓋打栓機類

東京市淺草區駒形町五
電話 四下三三九
電話 東京一七四一六
電傳 略 號ツ

二七

和歌山縣

▲和歌山市▼

釀造并販賣業

於各博覽會各共進會
各品評會優等一等賞受領

商) 天喜正宗
印 清酒
釀造元 井關喜一郎

酒造並販賣 河野清
河又出張所
掛下善十郎
吉田榮太郎

登錄商標
銀泉司鶴玉菊
釀造元
正 大正酒造株式會社
和歌山市畑屋敷
電話九六一

於各博覽會共進會品評會
有功效牌受領
大日本優等清酒
大東一、正宗
田端商店
釀造元 田端正二郎
和歌山市東田中町
電話一六一〇

酒造並販賣 高田安助
中川龜三郎
東長町十一丁目

酒造並販賣 高田安助
中川龜三郎
東長町十一丁目

酒造並販賣 高田安助
中川龜三郎
東長町十一丁目

酒造並販賣 高田安助
中川龜三郎
東長町十一丁目

酒造並販賣 高田安助
中川龜三郎
東長町十一丁目

酒造並販賣 山本幸兵衛
山本常太郎
山田光三郎
新雜賀町

登錄商標
福春
福辰
優等清酒
前田辰之助
和歌山市柳町
電話三三八
電話九二五八
電話マエタ

酒造並販賣 前田吉次郎
江川嘉兵衛
坊主町
有本幸之助
新通五丁目
南方茂兵衛
北町

酒造並販賣 前田吉次郎
江川嘉兵衛
坊主町
有本幸之助
新通五丁目
南方茂兵衛
北町

酒造並販賣 前田吉次郎
江川嘉兵衛
坊主町
有本幸之助
新通五丁目
南方茂兵衛
北町

酒造並販賣 前田吉次郎
江川嘉兵衛
坊主町
有本幸之助
新通五丁目
南方茂兵衛
北町

酒造並販賣 前田吉次郎
江川嘉兵衛
坊主町
有本幸之助
新通五丁目
南方茂兵衛
北町

登錄商標
遊春正宗
萬花正宗
月桂一統
世界一統
大砲
雜賀屋
釀造元 南方常楠
和歌山市湊野屋町
電話一四九

釀造場 兵庫縣西宮町
和歌山縣東牟婁郡
南方勝浦支店
朝鮮釜山南濱町
南方釜山支店
同平壤支店
支那大連近江町
南洋行

東京代理店
日本橋區橋本町二丁目
升本喜三郎

●醬油釀造業

| | |
|--------|----------|
| 岩倉龜太郎 | 本町五丁目 |
| 田中安兵衛 | 中ノ店南町 |
| 田中駒楠 | 島崎町 |
| 高松徳右衛門 | 北新九金屋町 |
| 中川富之助 | 橋向町一五 |
| 山中八太郎 | 久保町一 |
| 梁瀬元吉 | 北細工町二〇 |
| 松下虎吉 | 東細屋町一七 |
| 小池恒太郎 | 東田中町一六 |
| 宮崎傳兵衛 | 本町五丁目六二九 |
| 花野吉右衛門 | 元博券町 |
| 奧木孝吉 | 南大工町二 |
| 梅原元之輔 | 西田中町二四 |
| 赤井源四郎 | 廣瀬中之町三 |
| 島秀二郎 | 福町 |

伊都郡

| | |
|----------|--------|
| 池田友楠 | 楠見村 |
| 太田精一郎 | 粟村重根 |
| 木下齊十郎 | 妙寺町中飯 |
| 森田庄兵衛 | 妙寺町丁ノ町 |
| 飯守彌兵衛 | 妙寺町丁ノ町 |
| 赤井文左衛門 | 妙寺町新田 |
| 木下齊十郎 | 妙寺町 |
| 森田文助 | 妙寺町丁ノ町 |
| 草田徳兵衛 | 笠田町等田 |
| 前田半十郎 | 笠田村佐野 |
| 岩橋亦一郎 | 笠田村東 |
| 田村宗一郎 | 笠田村東 |
| 紀陽醸造合名會社 | 橋本町東家 |
| 永井保三郎 | 橋本町東家 |
| 南紀醬油合名會社 | 橋本町東家 |
| 金澤丈之助 | 高野町町名會 |
| 平野豐三郎 | 高野町町名會 |
| 三島熊吉 | 見好村三谷 |

那賀郡

| | |
|-------|---------|
| 堀徳太郎 | 學文路町學文路 |
| 中西廣吉 | 九度山町九度山 |
| 井谷孫三郎 | 岩出町清水 |
| 吉村潤 | 岩出町宮 |
| 伊藤八三郎 | 粉河町粉河 |
| 宇野義男 | 粉河町粉河 |
| 八塚常一郎 | 粉河町粉河 |
| 八塚孝太郎 | 粉河町粉河 |
| 八塚孝太郎 | 粉河町粉河 |
| 金澤治三郎 | 粉河町粉河 |
| 力谷房松 | 粉河町粉河 |
| 植村龜三郎 | 粉河町粉河 |
| 楠文助 | 粉河町粉河 |
| 中尾映 | 東野上村粉河 |
| 谷口眞之助 | 東野上村小知 |
| 岩本長之助 | 東野上村小知 |
| 谷口徹助 | 中野上村粉河 |
| 山本利兵衛 | 中野上村粉河 |

山田總右衛門

| | |
|--------|---------|
| 山田總右衛門 | 中野上村粉河 |
| 因幡正明 | 北野上村原野 |
| 因幡吉 | 北野上村原野 |
| 松下亮三 | 田中村尾崎 |
| 奧喜太郎 | 田中村尾崎 |
| 宇田安太郎 | 田中村 |
| 米田孫右衛門 | 中貴志村西戸 |
| 矢田正三郎 | 西貴志村長山 |
| 米田菊次郎 | 東貴志村井口 |
| 道本賢之助 | 九柄村丸酒 |
| 金田由楠 | 根來村西坂本 |
| 東吉左衛門 | 麻生津北浦 |
| 神保喜市 | 長田村南志野 |
| 西風應之助 | 名手村名手市場 |
| 藤田得一 | 名手村名手市場 |
| 竹中清重郎 | 安樂川村市場 |
| 大西三太郎 | 調月村 |
| 坂内泰造 | 調月村 |
| 坂上邦太郎 | 池田村中之谷 |
| 山本徳之助 | 上岩出村水西 |

有田郡

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|
| 赤桐 善右衛門 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 金野 長太郎 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 金野 純二朗 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 水野 儀助 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 栖原 秋松 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 原松 熊次郎 藤並村下津野 醤油醸造 | 平松 文一 藤並村下津野 醤油醸造 | 武田 善一 田殿村角 醤油醸造 | 上野山 徳次郎 田殿村上中島 醤油醸造 | 片畑 禎藏 鳥屋城村金屋 醤油醸造 | 石谷 由松 鳥屋城村小川 醤油醸造 | 大西市 三郎 鳥屋城村市場 醤油醸造 | 丹生 新右衛門 鳥屋城村小川 醤油醸造 | 山田 吉兵衛 鳥屋城村金屋 醤油醸造 | 酒田 弘 鳥屋城村小川 醤油醸造 | 高恒 伊三郎 鳥屋城村小川 醤油醸造 | 栗山 豊松 南廣村各島 醤油醸造 | 橋本 忠次郎 南廣村各島 醤油醸造 | 戸田 貞吉 南廣村各島 醤油醸造 | 赤桐 善右衛門 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 赤桐 虎吉 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 小津 重善 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 矢船 熊之助 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 久保 瀬七 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 牛居 熊太郎 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 川口 彌兵衛 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 中 又兵衛 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 中島 楠藏 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 田中 政吉 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 鎌田 半助 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 加納 長兵衛 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 數見 佐兵衛 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 太田 久助 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 千川 龜藏 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 戸津 井善吉 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 市場 福松 湯淺町湯淺 醤油醸造 | 原田 寅藏 湯淺町湯淺 醤油醸造 |
| 雁 仁右衛門 廣村廣 醤油醸造 | 竹中 傳之助 廣村廣 醤油醸造 | 上田 勝太郎 廣村廣 醤油醸造 | 玄後 市良兵衛 廣村廣 醤油醸造 | 玄後 市三郎 廣村廣 醤油醸造 | 泰原 松藏 廣村廣 醤油醸造 | 御堂 岩吉 廣村廣 醤油醸造 | 橋本 宇兵衛 箕島町北渡 醤油醸造 | 西田 熊次郎 箕島町箕島 醤油醸造 | 吉野 龜太郎 箕島町箕島 醤油醸造 | 合資會社田増商店 箕島町箕島 醤油醸造 | 御前 利平次 保田村辻堂 醤油醸造 | 杉浦 梅吉 保田村干田 醤油醸造 | 乙井 清次郎 宮原村壺 醤油醸造 | 宮井 豊吉 宮原村東 醤油醸造 | 宮本 和助 宮原村南 醤油醸造 | 伊藤 徳太郎 糸我村中香 醤油醸造 | 兒島 新太郎 糸我村西 醤油醸造 | 的場 量次郎 石垣村吉原 醤油醸造 | 海瀬 小三郎 岩倉村粟生 醤油醸造 | 佐藤 常助 古座町津荷 醤油醸造 | 吉田 與三吉 古座町中渡 醤油醸造 | 住吉 幸助 古座町古座 醤油醸造 | 佐々木 仁市 高池町高池 醤油醸造 | 淺利 三五郎 西向村西向 醤油醸造 | 岩谷 平六郎 大島村大島 醤油醸造 | 岩谷 次郎松 大島村大島 醤油醸造 | 佐藤 常助 古座町津荷 醤油醸造 | 山本 仁 岩倉村粟生 醤油醸造 | 成田 常楠 田淵川村西原 醤油醸造 | | | | | | | |
| 山本 仁 岩倉村粟生 醤油醸造 | 成田 常楠 田淵川村西原 醤油醸造 | 中野 幸三郎 南部町芝 醤油醸造 | 夏見 雄次郎 南部町南部 醤油醸造 | 糸川 七郎 南部町北道 醤油醸造 | 中井 岩吉 南部町南道 醤油醸造 | 中口 辰藏 南部町塚田 醤油醸造 | 長井 松平 南部町北道 醤油醸造 | 南部 佐七 南部町南道 醤油醸造 | 西山 新太郎 印南町印南 醤油醸造 | 西山 長吉 印南町印南 醤油醸造 | 川口 長松 切目村鳥田 醤油醸造 | 森 喜代松 切目村古井 醤油醸造 | 月裏 安次郎 切目村西ノ池 醤油醸造 | 坊 儀藏 彌屋村南彌屋 醤油醸造 | 柏木 寅藏 彌屋村南彌屋 醤油醸造 | 平井 吉太郎 彌屋村南彌屋 醤油醸造 | 山本 仁 岩倉村粟生 醤油醸造 | 成田 常楠 田淵川村西原 醤油醸造 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

東牟婁郡

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|---------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------|-----------------------|---------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|
| 河野 久藏 彌屋村南彌屋 醤油醸造 | 鍋倉 久藏 彌屋村北彌屋 醤油醸造 | 大澤 香吉 川中村佐井 醤油醸造 | 柳瀬 德市 川中村坂ノ川 醤油醸造 | 田淵 善兵衛 御坊町御坊 醤油醸造 | 山中 岩次 御坊町御坊 醤油醸造 | 佐藤 米太郎 御坊町御坊 醤油醸造 | 北野 新八 御坊町御坊 醤油醸造 | 岸野 禮次郎 御坊町御坊 醤油醸造 | 鹽路 彦右衛門 御坊町御坊 醤油醸造 | 田中 宗太郎 御坊町御坊 醤油醸造 | 田淵 與兵衛 御坊町御坊 醤油醸造 | 野村 太兵衛 御坊町御坊 醤油醸造 | 東 辰之助 御坊町御坊 醤油醸造 | 中村 淺之助 名田村野鳥 醤油醸造 | 山崎 拾松 名田村桶井 醤油醸造 | 松下 房吉 名田村上野 醤油醸造 | 湯川 宗十郎 稻原村瀨ノ瀬 醤油醸造 | 林 富右衛門 稻原村明神川 醤油醸造 | 西下 權藏 比井崎村比井 醤油醸造 | 栗本源 三郎 丹生村江川 醤油醸造 | 上野 榮藏 湯川村丸山 醤油醸造 | 小池 孫右衛門 湯川村小松原 醤油醸造 | 龜井 安兵衛 東内原村南木 醤油醸造 | 中山 竹松 藤田村藤井 醤油醸造 | 鹽路 嘉右衛門 藤田村吉田 醤油醸造 | 尾崎 作次郎 新宮町 醤油醸造 | 西 鷹治 新宮町 醤油醸造 | 栗柄 義四郎 三三村伏拜 醤油醸造 | 上松 壽郎 那智村天満 醤油醸造 | 中野 文右衛門 勝浦町 醤油醸造 | 籤内 音之助 太地村太地 醤油醸造 | 畑下 俊夫 下里村浦神 醤油醸造 | 西 與一郎 下里村浦神 醤油醸造 | 佐藤 源兵衛 下里村下里 醤油醸造 | 清水 政市 下里村下里 醤油醸造 | 駿田 良平 下里村下里 醤油醸造 | 大江 甚兵衛 下太田村中里 醤油醸造 | 佐藤 常助 古座町津荷 醤油醸造 | 吉田 與三吉 古座町中渡 醤油醸造 | 住吉 幸助 古座町古座 醤油醸造 | 佐々木 仁市 高池町高池 醤油醸造 | 淺利 三五郎 西向村西向 醤油醸造 | 岩谷 平六郎 大島村大島 醤油醸造 | 岩谷 次郎松 大島村大島 醤油醸造 | 佐藤 常助 古座町津荷 醤油醸造 | 山本 仁 岩倉村粟生 醤油醸造 | 成田 常楠 田淵川村西原 醤油醸造 |
|-------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|---------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------|-----------------------|---------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------|

兵庫縣

武庫郡 灘五郷 清酒釀造業

今津郷

(※入他村ヨリ出醸)

※伊東合資會社 本店尾張國島崎

※日本攝酒株式會社 本店西宮郷

※西宮酒造株式會社 本店西宮郷

西宮酒造合資會社

※紅野太郎 本店西宮

銘日の出 國憲 釀造元

鷲尾 巽

鷲尾 萬介 灘今津郷 電話西宮八〇

※辰馬半右衛門 本店西宮郷

高岡藤兵衛

飛切最優等清酒

東自慢 | 宗正卷鶴 | 宗正一ホ | 遊東道陽

| | | | |
|---|---|--|---|
|  飛切酒造元 東京南茅場町 富士西商店 |  金星營業部 東京南新川 鹿島本店 |  廣岡助五郎 東京北新川 山星營業部 |  鷲尾萬介 東京北新川 山星營業部 |
|  中澤南店 東京北新川 |  富士本商店 東京南茅場町 |  升本幸太郎 東京南茅場町 |  高橋門兵衛 東京南新川 |

△(西宮子合) 兵庫縣灘今津村ノ内今津西谷
 釀造元 本辰酒造株式會社

於各內外博覽會 各品評會

有功賞牌受領



優等 清酒

清酒しら泉釀造元

鷲尾本店

鷲尾善次郎

電話西宮七八

電話西宮七八

電話西宮七八



優良 清酒

銘錄登 酒商標 鬼神 元造釀

鷲尾西店

鷲尾友之助

灘今津郷 電話西宮七八

於全國清酒品評會 優等賞金牌受領

高賞 釀造元

高岡本店

高岡源七

電話今津郷二六

丹波福造

長部文治郎

兵庫縣 武庫郡 釀造業 灘(今津郷) (西宮郷)

於各博覽會 各共進會 各品評會 有功賞牌

天授 大正正宗 希典 福玉正宗 酒清釀吟本日大

釀造元

灘酒造合資會社

灘今津郷

特約一 東京市京橋區南新川 三橋其四郎 電話東京一八六五
東京市京橋區北新川 中井新右門 電話東京四五一八
東京市日本橋區南茅場町 富士西商店 電話東京一九四五
東京市日本橋區南茅場町 富士西商店 電話東京一九四五

(酒清) 扇正宗 笑顏 釀造元

十一屋

野田六左衛門支店

電話今津郷六九
電話西宮六七
電話東京六六
電話東京六六

春日局 釀造元

清水清五郎

電話今津郷七一

電話西宮三二八

電話大阪三二八

電話東京三二八

電話東京三二八

電話東京三二八

電話東京三二八

清酒釀造業

日本酒造株式會社

西宮工場

武庫郡西宮町 電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八

電話西宮五八



標商錄登 酒清等優本日大

△ 釀造元

紅野平左衛門

灘西宮町字三號地 電話西宮 四三三 接替大阪二二五三

兵庫縣武庫郡寶塚 紅野本店出張所

於各博覽會 各共進會 金銀賞牌受領



標商錄登 酒清釀吟本日大

標商錄登 三朝 富貴 酒銘釀精

釀造元 紅野善三郎

灘西宮町 電話西宮 二一八

特約一 手 東京市京橋區南新川 三橋本店 電話京橋 一八六五 東京市京橋區北新川 三福正宗 鹿島本店 電話京橋 一八二八 東京市日本區南茅場町 富貴 升本 幸太郎 電話浪花 二七九八



標商錄登 酒清釀吟

清酒 初我 吾妻菊 初戎正宗 釀造元

號商 憲法屋酒店

伴井嘉右衛門

灘西宮町 電話大阪 五二二六 大阪市北區旅籠町九五 販賣部 憲法屋酒店 電話東 三三四二

於各博覽會 各共進會 有功賞牌受領

標商錄登 國產一 國悅 酒清等優

釀造元

覺心平十郎

灘西宮町字一號地 電話西宮 五三三 電話(カク)



標商錄登 酒清上等

釀造元 辰馬總本家

於各博覽會、共進會、品評會 金銀賞牌受領



標商錄登 酒清上等

辰馬中店 釀造元 辰馬半左衛門

東京市北新川 一手賣捌店 中井新右門 電話東橋 四八五

標商錄登 勤王印 酒清等優

辰鷹印 辰馬半藏商店

灘西宮町 電話西宮 一五七 電話大阪 九六八 電話夕ツ 夕ツハン

標商錄登 都家娘印 酒清醇良

八木豊四郎商店

灘西宮町 電話西宮 三五六



標商錄登 酒清醇良

總裁 司長 富貴冠 銀冠 釀造元

號商 福辰

前田辰之助 灘釀造場

灘西宮町 電話西宮 三〇四 電話マエタ



標商錄登 酒清醇良

灘西宮町 電話西宮 三五六



標商錄登 酒清優等

清酒 百福長 釀造元

木谷市右衛門

灘西宮町 電話西宮 一〇二

於內外國大博覽會名譽大賞
優等金銀賞牌
數個受領

天下霸王酒



ネムサマンモウホ

專賣元
東京北新川
鹿島本店

(星松)
白鷹

專賣元
東京南新堀
說田彦助

最優等酒

(青松)
白鷹

專賣元
東京南茅場町
升本幸太郎



專賣元
東京北新川
中澤南店

最優等酒

白鷹

專賣元
東京南新川
鹿島千代



專賣元
東京南新川
三橋甚四郎

最優等酒

白鷹

專賣元
東京南茅場町
富士本商店

專賣元
東京北新川
中井新右門

安徳

商號
北辰馬
釀造元

辰馬悅藏

兵津津四宮町
電話四四七五
播磨大阪 七三三七

優等清酒

東 東 東 東 東 東 東 東
褒 菊 忠 忠 忠 忠 忠 忠
紋 水 壽 壽 壽 壽 壽 壽
美 忠 正 正 正 正 正 正
王 人 壽 壽 壽 壽 壽 壽
宗 王 宗 宗 宗 宗 宗 宗
梅 花 一 一 一 一 一 一
宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗 宗

釀造元

東辰馬酒造株式會社

兵庫縣武庫郡
西宮町濱之町
電話四一四
電話(ヒタツ)又(ヒタ)

銘酒(長譽)印釀造元

丸石合會社支店
(本店)兵庫縣西宮町
(三河國)

藤田卯三郎
西宮町

藤田喜代松
西宮町

小西新右衛門
伊丹町

小網利兵衛
西宮町

阪口吉藏
西宮二町

南方常楠
和歌山市

東郷
魚崎村魚崎
本庄村深江

〔酒銘〕
桔梗正宗
鳳紋桔梗
鷄鼓釀造元

岸田屋

井上信次郎

伊丹榮助
魚崎村魚崎

西倉合資會社
魚崎村魚崎

※合名會社本嘉納商店
魚崎村魚崎

※小野權四郎
魚崎村魚崎

※大塚合名會社
魚崎村魚崎

岡村種藏
本庄村深江

鍋店合資會社
魚崎村魚崎

※卜部合名會社
魚崎村魚崎

於各博覽會有功賞受領

榮鯛
大御代
目出鯛
釀造元

山路久治郎

兵庫縣武庫郡魚崎町
電話四四三
電話一四マ

於各博覽會
各共進會
各品評會
金銀賞牌受領

最優等清酒
登錄商標



イヅウヨシ

釀造元 永田龜吉

武庫郡本庄村深江
電信略號ナメナカ

東京出張店 永田屋販賣部
電話下谷六〇一

於東京大正博覽會
桑港世界大博覽會
名譽大賞牌受領

登錄商標



宗正ラクサ

優等清酒

宮内省御用達
櫻正宗釀造元

山邑 太左衛門

- 支店
- 電話御影(長) 三七八 振替大阪一三三二
 - 京都市東洞院六角南へ入ル
 - 山邑 京都支店
 - 大阪市西區北堀江上通一丁目 電話中一七二四
 - 山邑 大阪支店
 - 電話西四四〇、西四〇四四
 - 神戸市元町三丁目 電話本局 三三八〇
 - 山邑 神戸支店
 - 朝鮮京城明治町二丁目 電話本局 三三八〇
 - 山邑 京城支店
 - 電話八四九、一四五四
 - 朝鮮釜山幸町二丁目
 - 山邑 釜山支店
 - 電話三〇一
 - 東京市日本橋區吳服町十八
 - 山邑 東京出張所
 - 電話特設本局五一〇番 八七五番

〔清〕
●神龜正宗
●神龜正宗
●鳳紋銀正
●銀正宗
●君が正松元

松尾仁兵衛

電話御影五五四
電話マ・マツ

〔酒〕
銘 褒紋
金銚子
大日本
優等清酒

松村末吉

電話御影三三一

松尾又藏

松村善太郎

※小西新右衛門

※肥塚源次郎

寺田廣吉

寺田定藏

宮内省御用酒

登錄商標

金釜印優等

銀釜印清酒

釀造元

柴田幸三郎

灘釀造部

灘魚崎町ノ内
電話御影三七二

本店 柴田幸三郎

電話(東京)一五六八
電話(同)三〇三二

※平野平兵衛

菅原幸助

於各博覽會名譽賞牌受領

清酒 山星印釀造元

兵庫縣武庫郡魚崎町



鈴木忠右衛門

△×(今津ト合)

大阪市西區新町南通リ一 鈴木忠右衛門大阪支店

中郷 住御影町

伊東合資會社

泉 喜之助

泉 泰治郎

泉 勇之助

石田孫七郎

石腹榮三郎

堀野久造

鳥井三市

銘 尚王 優等清酒

釀造元 乾新兵衛

本店 乾新兵衛

電話御影一三三七

電話(東京)一三三七

電話(同)一三三七

特約店 竹野兵之助

電話(東京)二〇一五

登錄商標
泉 酒清等優

〔酒銘〕
泉正宗
獅子牡丹

釀造元 泉仙介

電話御影四九
電話(大阪)一三三八

電話(大阪)一三三八

電話(大阪)一三三八

電話(大阪)一三三八

電話(大阪)一三三八

於內國勸業博覽會
有功一等賞牌受領



優等
清酒
釀造元
合名 本嘉納商店

社務執行 嘉納治郎右衛門
灘御影町 電話四御影一五〇
接替大阪 一八二二
△ノ(東郷ト合)

銘酒 聖泰
優等
釀造元

三時枝定太郎
灘御影町 電話御影五三六

△ノ(東郷ト合) 本店 小野權四郎
電話一五八
△チ 小野清七

△レ 本店 大塚和三郎
大澤徳平



優等
清酒
釀造元 河東倍二郎 商店
灘御影町 電話御影二三

若林常右衛門

若林丑三郎

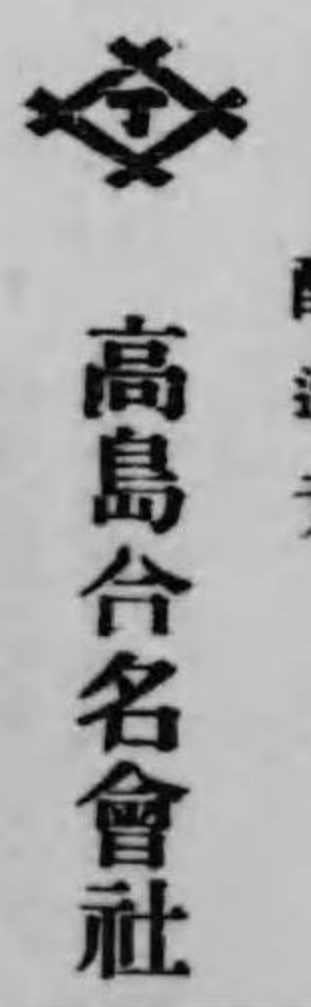
若林茂右衛門

若林英一

嘉納合名會社

高田三郎

神戶市



高島合名會社
灘御影町 東明
電話御影 六六七
接替大阪 八七二五

△ノ 住宅合名會社
△ト 本店 山邑 太左衛門
△レ 本店 魚

於東京大正博覽會
桑港世界大博覽會
名譽大賞牌受領
優等清酒

大黑正宗
梅之樹惣花
書判正宗
大典花嫁

兵庫縣武庫郡御影町
商號西梅之樹

釀造元 安福又四郎
電話四御影 六一番

清酒釀造業
東梅之樹
安福武之助
灘御影町 電話四御影二〇
接替大阪 一八二二

山下孝介

△ノ(東郷ト合) 本店 肥塚源次郎
市

於東京大正博覽會
桑港世界大博覽會
名譽大賞牌受領



釀造元 小網與八郎 本店
灘御影町 電話三宮三〇七
接替大阪 一七五三

支店 大阪西區南小網大阪販賣所
堀東上橋南小網大阪販賣所
京都府小網京都販賣所
路島市小網名古屋販賣所
馬町四丁目小網名古屋販賣所
馬町四丁目小網名古屋販賣所
馬町四丁目小網名古屋販賣所
馬町四丁目小網名古屋販賣所
馬町四丁目小網名古屋販賣所

清酒釀造業
新居嘉右衛門
灘御影町 電話御影八四
神足淺三郎

△ノ(西郷ト合) 安藤安太郎
△レ 神足淺三郎

銘酒 桐正宗
白鳳
畫正
劍菱
有喜
花蝶
北村合名會社
灘御影町 電話御影二四
接替大阪 一七五三

△ノ(西郷ト合) 灘御影町 電話御影一五

清酒釀造業
木原伊兵衛
灘御影町 電話御影一五

△ト 木原熊吉
△レ 木村康四郎
△チ 木村喜平治

有功賞牌受領



銘酒 半褒紋
國貴正
瀧出
世鯉
木村喜兵衛
灘御影町 電話御影 六九

△ノ 號 木木村

△ノ 特約一
手捌
瀧鯉 鹿島本店
東京市北新川 電話東橋 二八二八
東京市京橋北新川 電話東橋 二六三五

△ノ 國貴正 東京出張店
電話東橋 三三五九

各博覽會
各共進會
各品評會
有功賞牌受領



大日本銘酒
名聲絕四海
宗正龜

釀造元 上念新兵衛
灘御影町 電話御影 二〇八
電話 〇 〇 〇
接替東京 一三三五二

| | |
|----|------------|
| △ト | 喜多川篤藏 |
| △チ | 共立合資會社 |
| △ト | 柴谷合名會社 |
| △ト | 平松繁十郎 |
| △チ | 菅井角之介 |
| △レ | 西郷 |
| △リ | 石崎合資會社 |
| △ト | 泉 |
| △ト | 花水兼松 |
| △チ | 大倉恒吉 |
| △ワ | 若井源左衛門 |
| △メ | 若井卯三郎 |
| △ト | 片岡治七郎 |
| △チ | 中山治助 |
| △ト | 江井ヶ島酒造株式會社 |
| △リ | 牧野榮介 |
| △ト | 安藤安太郎 |
| △ト | 北村合名會社 |

於各博覽會
各品共進會
有功一等賞牌受領



釀造元 花水本店
花水三二一郎

支店
大阪市横堀七丁目
花水大阪支店
電話(南九三)四五
電話(南三)四五

支店
神戸市榮町五丁目
花水神戸支店
電話(本局)一五七



酒類仲買業
都賀儀兵衛
兵庫縣灘大石
兵庫縣西灘
增井久太郎

宮内省御買上品
海軍御用酒
有功金牌受領



銘酒 和合益天壽
和合益鶴龜正宗

釀造元 丸岡茂吉
灘西郡町大石
電話(長御影)六
電話(略)〇七

北村熊太郎



標商錄登 丹頂
優等 清酒
攝津灘新在家
釀造元 柴田長右衛門
電話(御影)五〇四

銘酒 富貴鷹
於各博覽會有功賞受領
酒 富貴鷹
酒 富貴鷹

平岡種吉

釀造元
灘新在家
電話(御影)六二三
電話(略)七々

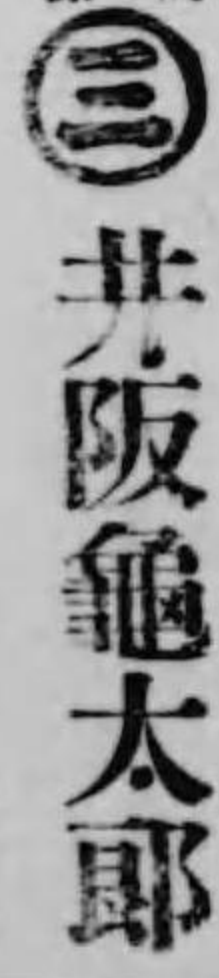
菅野安次郎
電話(御影)三七二

武庫郡 酒類醬油釀造
並販賣業
釀造用品商

今津村味林燒酎釀造業

於第五回全國酒類品評會
其他博覽會品評會受領
有功賞牌受領

味淋初梅印釀造元
粕取燒酎製造
奈良漬粕園販賣



酒樽製造業
正真吉野産
酒樽專業

丹羽卯七
於全國製產品共進會
銀牌受領

酒類仲買業

銘酒「しら泉」愛國「特約販賣」
酒類、酒粕仲買業

野田寅造
灘今津郡
電話(西宮)三二二

西宮町 醬油味噌釀造業

優等醬油釀造
紅野善三郎
醬油部
電話(西宮)二一九
電話(西宮)二二八

本店(清酒)
紅野善三郎
電話(西宮)二二八

醬油釀造
和洋酒類卸小賣
太田商店
電話(西宮)二二八
電話(西宮)二二八

覺心平十郎
電話(西宮)二二八

標商錄登 元祖 優良



赤味噌

醸造元 登録 商號 阿波屋

攝津國西宮町 電話西宮三三四二五 接替大阪一三三七五

酒類仲買業 並ニ醸造家用レッテル印刷所 中島 禎 西宮町久保町電二六

酒類、酒粕、奈良漬用固粕 仲買業

△ 松岡 浪 西宮町濱石方町 電話西宮一

清酒高賞發賣元 櫻麥酒特約店

酒類仲買業 丹仙

△ 田中仙太郎 西宮町與古道町 電話西宮一八六

酒類、酒造糖、酒粕 仲買業 宮本 福 西宮町一

▽ 伊商店

各種商標紙印刷業

△ 藤本九十九堂 攝津國西宮町 電話西宮一八三四 接替大阪三三三九

醸造家用商標 石版印刷 其他各種

惠美壽印刷所 西宮町 電話西宮一四

●魚崎村 醬油醸造業 松尾仁兵衛 魚崎村魚崎

酒類仲買業 燒酎醸造、米穀、石炭、輪竹 製造、荳類、酒造道具販賣

酒類仲買業

◎辰井卯三郎 瀬魚崎町 電話西宮五〇五 電話西宮五〇五

酒類仲買商

△ 山本市之介 瀬魚崎町 電話西宮一三三三 接替大阪一六八四 一三三五

○本庄村 酒類清酢醸造業

世界長スリキユワイル 世界長ウ井ストワイル 世界長ウ井スキ 世界長味焼 淋耐

醸造元

朝日酒類醸造會社 本庄村ノ内青木 電話西宮六六五 電話西宮(アサ)

清酢醸造 合資會社笹田商店 瀬青木電報一六四 ○御影町

酒類味噌醸造業

白味淋、燒酎醸造 奈良漬本舖踏込粕

標商錄登 印 高島平介 海御影町ノ内東明 電話御影一〇一〇 接替大阪三六〇六

赤、白味噌醸造 寺井勝次郎 御影町仲ノ町

酒類仲買業 並酒醬油商

酒類仲買商

坊垣長藏 海御影町 電話御影七七

酒類、米穀 酒造糖 仲買業

司 吉岡倍次郎 海御影町 電話御影三三三 電話西宮三三三

酒類仲買業

△ 田浦房吉商店 海御影町 電話御影一五九 電話西宮一五九

酒類仲買商

龍野爲吉 海御影町

營業種目 酒類、米穀 酒造糖、酒粕

酒類仲買業

◎佃商店 號商 黑田榮太郎 海御影町 電話御影三三三 電話西宮三三三

酒類仲買業

津田清吉商店 海御影町 電話西宮三〇九

酒類仲買商 商號播庄

内海庄太郎 御影町濱東

酒類仲買業

八木秀治郎 海御影町 電話御影一八三四 電話西宮一八三四 電話西宮一八三四

酒類仲買業 酒類酸味取水販賣

赤尾修平 御影町ノ内石屋 電話御影一六七

酒類仲買及販賣業

△ 山田梅太郎 海御影町 電話西宮一〇五 支店 神戸市荒田町一丁目

酒類仲買業

◎ 山田藤太郎 海御影町 電話御影五〇

酒類仲買業

△ 前田喜代松 御影町仲ノ町 電話御影七二〇 電話西宮ママイダ

酒粕・酒造赤(白)糠、濁酒澆綿特約販賣 大阪橋口松之助種麴販賣 京都田中久右衛門 酒類仲買業 商號山中

松田種松 電話御影二二一 電話路號マ

酒類仲買業

島田松藏商店 電話御影一四七 電話路號シ

酒類仲買業

商號鹽清

鹽見清次郎 電話御影三八

酒類仲買商 商號北鹽清

鹽見吉太郎 電話御影四一

醬油問屋

網野長四郎 御影町

酒商

廣瀬米治郎 御影町石屋

和洋酒類卸商

森田七五郎 電話御影二七五

六甲 醬油醸造業

林道太郎 六甲村八幡

都賀 酒類商

新酸漿正宗 發賣元 商號上茂

上田茂三郎 海部實濱村大石 電話御影二二六

西川貫一郎 下山手通五ノ一七電本三三八三 西川酒類店

同 北長狹通八ノ一六電本二九九二 西村棧藏

同 多田通七ノ一〇電本一六〇三 西村松之助

同 堀田四電本四〇〇五 堀田直正

同 西出町五八五電本三三四五 本田スミ

同 北仲町一三電本二九五八 戸田寅之助

同 友澤末吉 東出町二電本三八〇三

同 茶谷とめ 榮町二ノ二七電本二〇五七

同 銘酒「正行」醸造元 酒問屋 本辰巳屋

小野權四郎 神戸市相生町 電話本局(四七) 電話〇タツ・ヲノ

同 小栗醬油部 相生町五ノ一〇電本三三六四五

同 小倉政左衛門 三宮町一ノ二八電本三三六五一

同 大西佐太郎 笠松通二ノ一電本一八三九九

同 大西さく 山本通四ノ四電本三三三九

同 大谷醬油部 元町二丁目電本三三〇三

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

酒類仲立業 合松谷常七 電話御影二六四

酒類仲買業 燒酎製造業 鹽谷光三 灘西郷町

酒類醸造業

神戶市

酒類醸造業

味淋醸造 森本元助 元町一ノ一四電本二七〇

味噌醸造 今井作次郎 西宮内町九六ノ二電本一七七六

味噌醸造 板谷覺藏 板谷町三丁目

同 春田兼末 和田宮通二丁目

醬油醸造 昌 藤原三丁目 鍋加甚七 東川崎町三丁目 楠田五郎吉 森合町 松野喜兵衛 山本通三丁目 北田徳太郎 生田町四丁目

酒類醬油販賣業 井上市松 永澤町三ノ九三電本三九四七 井上宇八 上橋通四電本二九九七

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

快男 子 金盃 正宗(酒清) 金兩味淋 生白燒酎 乙白燒酎 白馬濁酒 元賣發造釀

酒問屋 本高田屋

高田三郎店本

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同

同 同 同 同 同



清酒富久娘醸造發賣元 花木神戸支店 電話本局一五七

味噌商 北長狹通二ノ三三電本三三三九 濱田彦五郎 下山手通四ノ三七電本一九一七

兵庫縣 神戸市 (販賣業)

優等清酒 登錄商標 登錄商標



登錄商標 登錄商標



最上等醬油

本店

尾張國龜崎 電話二〇三番八番

伊東合資會社

釀造場

尾州龜崎 攝州今津

兵庫縣 神戶市 (販賣業)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------------------|--------------------------------------|--|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|--|-------------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--|------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--|------------------------------|------------------------------|
| 酒商 高田屋支店 羽坂通三ノ九六電本一七〇六 | 酒商 高田菊松 切戸町電本二〇七二 | 酒商 高谷縫治郎 磯ノ町三三電本二四八三 | 酒商 辰巳六十治 福原町一三四電本二五〇二 | 酒商 竹林政吉 榮町六ノ一六五電本二八〇八 | 酒商 竹中喜之助 下山手通七ノ二三電本三〇三八 | 酒商 竹中醬油舖 切戸町五三四電本二七三三 | 酒商 武田駒吉 相生町三ノ二電本二五八八 | 酒商 丹波助次郎 東川崎町四ノ二電本二二六六 | 酒商 檀上直次郎 元町七ノ四〇電本三七九七 | 酒商 鶴谷商店 元町一ノ二電本三二四七 | 酒商 鍋加支店 上澤通六ノ一〇七電本四二二七 | 酒商 中井彦太郎 小物屋町電本二五二〇 | 酒商 中西捨吉 元町二ノ五四電本四〇九 | 酒商 中田酒店 相生町四丁目 | 酒商 中谷保二 戸場町四〇電本八〇一 | 酒商 中村謙藏 永澤町一ノ一電本三三四四 | 酒商 中山孝太郎 出在家町香外電本四五四 | 酒商 村上幸太郎 上澤通二ノ二〇電本三三一九 | 酒商 内田銀二 塚本通六ノ九七電本二五三二 | |
| 酒商 久留作藏 西宮内町二五八電本一六三三 | 酒商 野間まさ 下山手通電三宮一三三九 | 酒商 上西豊明 北長狭通電本三一六三 | 酒商 中山治助商店 神戶市兵庫出在家町 電話本局一〇八五 電話略號ナ | 酒商 中山孝太郎 神戶市兵庫出在家町 | 酒商 久留作藏 西宮内町二五八電本一六三三 | 酒商 野間まさ 下山手通電三宮一三三九 | 酒商 上西豊明 北長狭通電本三一六三 | 酒商 中山治助商店 神戶市兵庫出在家町 電話本局一〇八五 電話略號ナ | 酒商 中山孝太郎 神戶市兵庫出在家町 | 酒商 久留作藏 西宮内町二五八電本一六三三 | 酒商 野間まさ 下山手通電三宮一三三九 | 酒商 上西豊明 北長狭通電本三一六三 | 酒商 中山治助商店 神戶市兵庫出在家町 電話本局一〇八五 電話略號ナ | 酒商 中山孝太郎 神戶市兵庫出在家町 | 酒商 久留作藏 西宮内町二五八電本一六三三 | 酒商 野間まさ 下山手通電三宮一三三九 | 酒商 上西豊明 北長狭通電本三一六三 | 酒商 中山治助商店 神戶市兵庫出在家町 電話本局一〇八五 電話略號ナ | 酒商 中山孝太郎 神戶市兵庫出在家町 | |
| 酒商 丸山商店 神戶市島上町 電話本局一〇六五九 電話大阪一〇四七五 | 酒商 丸松商店 浦町一ノ一三〇電本三七四七 | 酒商 松岡吉之助 神戶上橋通二ノ九八 電話本局二九八五 | 酒商 牧野榮介 淡町一電本八五二 | 酒商 牧野直一 水木通四ノ二電本三五四四 | 酒商 增田佐太郎 多開通六電本二二三一 | 酒商 福岡萬次郎 中山手通一ノ三二電本三八八五 | 酒商 福島傳兵衛 多開通一ノ三一電本三二七七 | 酒商 藤原力松 三石通三ノ四〇電本三三六二 | 酒商 小西三四郎支店 元町六電本二七四八 | 酒商 胡谷基吉 上澤通六ノ六電本三五九二 | 酒商 後藤富藏 元町五電本一九三九 | 酒商 淡路屋商店 下山手通九電本七六三 | 酒商 阿波安藏 兵庫川崎町二五 | 酒商 荒木富藏 淡町四ノ一四八電本三二七四 | 酒商 安藤安太支店 相生町五ノ六電本二六二一 | 酒商 酒井商店 新町五電本二五五三 | 酒商 定森省三 小野柄通五ノ七二電本三三三 | 酒商 木谷吉之助 中山手通七ノ二四電本五九三 | 酒商 木下源吉 三川口町三ノ五九電本二七五八 | |
| 酒商 山邑神戶支店 元町三ノ二六九電本三六八〇 | 酒商 山下鹿造 元町五ノ一〇四電本四一七 | 酒商 山本勝太郎 東柳原町一六七電本三三二九 | 酒商 敷内美之藏 下山手通三ノ七〇電本四五六三 | 酒商 安田大藏 和田町一ノ三三電本四五六三 | 酒商 丸中本店 南本町六ノ二電本三三〇一四七六 | 酒商 山邑神戶支店 元町三ノ二六九電本三六八〇 | 酒商 山下鹿造 元町五ノ一〇四電本四一七 | 酒商 山本勝太郎 東柳原町一六七電本三三二九 | 酒商 敷内美之藏 下山手通三ノ七〇電本四五六三 | 酒商 安田大藏 和田町一ノ三三電本四五六三 | 酒商 丸中本店 南本町六ノ二電本三三〇一四七六 | 酒商 山邑神戶支店 元町三ノ二六九電本三六八〇 | 酒商 山下鹿造 元町五ノ一〇四電本四一七 | 酒商 山本勝太郎 東柳原町一六七電本三三二九 | 酒商 敷内美之藏 下山手通三ノ七〇電本四五六三 | 酒商 安田大藏 和田町一ノ三三電本四五六三 | 酒商 丸中本店 南本町六ノ二電本三三〇一四七六 | 酒商 山邑神戶支店 元町三ノ二六九電本三六八〇 | 酒商 山下鹿造 元町五ノ一〇四電本四一七 | 酒商 山本勝太郎 東柳原町一六七電本三三二九 |
| 酒商 增井醬油店 神戶市元町通四丁目 電話本局一三三〇三 | 酒商 福岡萬次郎 中山手通一ノ三二電本三八八五 | 酒商 福島傳兵衛 多開通一ノ三一電本三二七七 | 酒商 藤原力松 三石通三ノ四〇電本三三六二 | 酒商 小西三四郎支店 元町六電本二七四八 | 酒商 胡谷基吉 上澤通六ノ六電本三五九二 | 酒商 後藤富藏 元町五電本一九三九 | 酒商 淡路屋商店 下山手通九電本七六三 | 酒商 阿波安藏 兵庫川崎町二五 | 酒商 荒木富藏 淡町四ノ一四八電本三二七四 | 酒商 安藤安太支店 相生町五ノ六電本二六二一 | 酒商 酒井商店 新町五電本二五五三 | 酒商 定森省三 小野柄通五ノ七二電本三三三 | 酒商 木谷吉之助 中山手通七ノ二四電本五九三 | 酒商 木下源吉 三川口町三ノ五九電本二七五八 | 酒商 增井醬油店 神戶市元町通四丁目 電話本局一三三〇三 | 酒商 福岡萬次郎 中山手通一ノ三二電本三八八五 | 酒商 福島傳兵衛 多開通一ノ三一電本三二七七 | 酒商 藤原力松 三石通三ノ四〇電本三三六二 | 酒商 小西三四郎支店 元町六電本二七四八 | 酒商 胡谷基吉 上澤通六ノ六電本三五九二 |

命用御酒神御所賢
 酒用御田齋紀悠祭嘗大
 會覽博大國萬港素
 領受 牌金



優等清酒

元造釀
 社會名合瀨廣

(番三海鳴話電國) 鄉寺笠團張尾倉本
 (番四話電國) 町谷刈國河三倉出

所賣販屋古名

目丁二町樂神區東
 番五五三二話電國

山陽一印 最上 醬油
 釀造販賣
 山陽一神戶支店
 神戶市相生町四丁目
 電話本局一七九〇
 電傳局號サ一七九〇

釀造元 山陽醬油株式會社
 姫路市姫路駅前

醬油商 木元金藏 新町五〇電本三一九三
 洋酒商 明治屋神戶支店 元町二〇〇電五八九
 味淋燒酎商 明角淺吉 雲井通四ノ六四電三〇六
 洋酒商 美濃屋商會 元町三ノ四三七電本三五八六
 和洋酒商 三原覺一 〇ル×ロ元町三ノ三三電本一〇七三
 酒商 三宅甚七 〇ル×チ 東柳原町四電本一七八一
 醬油商 南原清吉 坂本通六ノ四二電本三六八七
 酒商 宮本德藏 〇へ×イ新在家町三二電本三五五六
 洋酒商 水新洋酒店 橋通三ノ一四電本三〇二二
 酒商 柴田太三 西出町二七三電本二〇九一

酒商 柴田德松 島上町八三電本三九八一
 酒商 鹽谷秀三 上橋通三ノ一一電本一七七八
 酒商 白川商會 〇×ニ元町二ノ七二電本二九〇九
 同 下川惣三郎 山本通三ノ五二電本四二二五
 洋酒商 日ノ丸商店 三宮町三ノ三三電本四四二二
 酒商 廣岡新治 下山手通八ノ一四六電本四三三七
 同 平田平吉 須佐野通三ノ六電本四三三三
 醬油商 森田重野 北長狹通七ノ九電本六一八



優等清酒
 菅野元店
 菅野憲一
 清酒問屋
 神戶市兵庫川崎町
 電話本局四八二

酒銘 朝正宗 發賣元
 壽海
 花蝶正宗
 清酒問屋
 菅野北店
 菅野吾一
 神戶市兵庫西出町
 電話本局二八四〇八
 電傳局號ス

酒商 森田廣藏 古湊通二ノ八八電本六六二
 酒商 藻川治郎 荻通一ノ二五電本二九七四
 酒商 蟬川吾郎 荒町一ノ五八〇電本三二七六
 同 杉本伊太郎 島上町八四電本三九一六
 同 鈴木豐吉 〇ト×ロ福原町三五五電本三七五六
 空樽商 空樽並空樽商
 井上政吉 南仲町九九電本二四四三
 和田伊輔 布引通四ノ九二電本三六六三

空樽商 安友會十郎 御幸通八ノ一五電本二二三九
 同 網盛徳次郎 坂本通四ノ二九電本四三三〇
 同 篠原富藏 北長狹通三ノ三三電本四六一

銘酒 突貫正宗 釀造元
 今井直次郎
 於各博覽會
 金牌受領
 電話本局三三三九
 電傳局號イマサ

銘酒 千羽鶴 釀造元
 今井直次郎
 於各博覽會
 金牌受領
 電話本局三三三九
 電傳局號イマサ
 酒商 鎌谷林三郎 中村
 同 鎌谷為次郎 中村
 同 山本瀧太郎 龍野町二丁目
 同 橋本美助 吉田町
 同 大原喜作 國府寺村
 同 筑木新太郎 福中村
 同 植田房太郎 南町

兵庫縣 神戶市 姫路市

醸造元

山陽一印醬油株式會社

姫路市(姫路驛前)
電話 九六九〇
振替大阪 九四二〇七
電信 九四二〇七 (サシ)

神戸市相生町四丁目

山陽一神戸支店
電話本局 一七九〇

味噌漬物製造 小松 九平
上片町電四五七

醬油製造 佐野 九平次
河内町

酒醬油類商 森本 清一郎
市ノ郷村

富久姫、白鶴、
旭正宗、南玉、
三矢サイダ、
酒類商 山崎 仙次郎
姫路市西三軒町
電話 四三三八
振替大阪 九四三九

尼ヶ崎市

醬油製造 井澤 忠平
尼ヶ崎市尼ヶ崎電二〇

醬油製造 高岡利右衛門 本店
電話 尼ヶ崎 三三四八
振替東京 一三四八

醬油製造 長尾 喜平
電話 尼ヶ崎 二二一

醬油製造 藤井 庄介
電話 尼ヶ崎 二二一

醬油製造 寺岡 五郎平
電話 尼ヶ崎 一七〇三
振替大阪 一七〇三

醬油製造 庄司 新吾
電話 尼ヶ崎市尼ヶ崎町 一五八

醬油製造 三浦市三郎
電話 尼ヶ崎 二〇八

白井 庄九郎
電話 尼ヶ崎 二〇八

田中 七平
電話 尼ヶ崎市 風呂辻町 二四三
振替大阪 一四二四

樽製造販賣
樽詰呑口材木
酒造用品商
松見熊吉
電話 尼ヶ崎市 西一丁目 三〇四二
振替大阪 三〇四二
電話 マ・マツ

醬油製造 大塚 萬次郎
電話 尼ヶ崎市 一六三四
振替大阪 一六三四

醬油製造 尼ヶ崎醬油製造株式會社
電話 尼ヶ崎 一七〇三
振替大阪 一七〇三

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|----------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|------|--------|--------|------|------|------|-------|-----|-----|
| 川邊郡 | 池上茂兵衛 | 伊丹酒造株式會社 | 岡村茂之介 | 岡村正造 | 岡村重太郎 | 鹿島爲二郎 | 武内佐次郎 | 武内利右衛門 | 谷垣長藏 | 田中徳松 | 村岡文之介 | 山本太市 | 小西新右衛門 | 平井長作 | 上田與兵衛 | 三輪谷藤兵衛 | 老松元造 | | | | | |
| 今中利兵衛 | 西尾庄右衛門 | 西尾庄七 | 松原市松 | 柴谷市三郎 | 下岡龜一 | 中村要蔵 | 肥瓜廣吉 | 平尾幸次郎 | 田中竹太郎 | 朝田治兵衛 | 坂上田岩松 | 井元清吉 | 泉三三郎 | 小西雅之 | 岡島合名會社 | 有馬郡 | 有馬郡 | | | | | |
| 奧平萬次郎 | 中西善兵衛 | 安井萬藏 | 森本治五右衛門 | 今井善吉 | 泉政藏 | 泉政藏 | 覺心平十郎 | 小路直吉 | 三谷合名會社 | 杉本時輔 | 當阪福三郎 | 田中吉之助 | 土谷清太郎 | 岡村榮吉 | 岡村龍太郎 | 伴市太郎 | 木村福松 | 梶村清一 | 梶村清一 | 島中彌太郎 | | |
| 稻角忠五郎 | 尾崎甚之助 | 石丸善次郎 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 | 明石郡 |

Table listing names and titles for the '加西郡' (Kasai-gun) section, including names like 大熊, 森本, 大熊, 白井, 伊藤, 服部, etc., with associated family names and titles.

多可郡

Table listing names and titles for the '多可郡' (Taka-gun) section, including names like 富永, 立脇, 丸山, 干石, 瀬戸, 杉本, 池田, 松本, etc., with associated family names and titles.

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|----------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------|
| 醬油醸造 三好大次 荒井村小松原 | 清酒醸造 西谷惣太郎 米田村米田 | 清酒醸造 長濱小一郎 大濱村 | 清酒醸造 岸岡直吉 東志方村大澤 | 清酒醸造 本源藏 志方村四坂坂 | 清酒醸造 石見卷治 余部村西 | 清酒醸造 井上爲一 余部村西 | 清酒醸造 鍛田武作 余部村西 | 清酒醸造 飯塚小太郎 八幡村浦田 | 清酒醸造 松本字吉 八幡村浦田 | 清酒醸造 吉田善兵衛 廣村廣 | 清酒醸造 田中武雄 廣村廣 | 清酒醸造 大谷治良 廣村廣 | 清酒醸造 阿二善吉 廣村廣 | 清酒醸造 小松利吉 荒川村玉手 | 清酒醸造 菅野善太郎 荒川村玉手 | 清酒醸造 菅谷彌吉郎 高濱村阿成 | 清酒醸造 濱田源治 高濱村阿成 | 清酒醸造 島谷次吉 高濱村阿成 | 清酒醸造 淺田貞治 谷外村庄村 | 清酒醸造 淺田健次 谷外村庄村 | 清酒醸造 瀬渡幸三郎 安室村御立村 | 清酒醸造 山中藤吉 會左村書寫 | 清酒醸造 岩崎精一郎 津田村今在家 | 清酒醸造 平野龜之助 津田村今在家 | 清酒醸造 小田吉太郎 津田村今在家 | 清酒醸造 川石酒造治 手柄村栗山 | 清酒醸造 井内吉三 御國野村御看 | 清酒醸造 櫻井仙吉 御國野村深志野 | 清酒醸造 山陽醬油株式會社 高岡町上手野 | 清酒醸造 福居福太郎 高岡町下手野 | 清酒醸造 安積敬次 高岡町下手野 | 清酒醸造 田中鐵次 城北村山野井 | 清酒醸造 前川五良吉 美賀保村美賀 | 清酒醸造 大西己之助 飾磨町龜山町 | 清酒醸造 大西宗七 飾磨町龜山町 | 清酒醸造 下里千代三 飾磨町田町 | 清酒醸造 田中源十郎 飾磨町田町 | 清酒醸造 橘才三郎 下中島村 | 清酒醸造 水野委太郎 四郡村見野 | 清酒醸造 名倉林次 置鹽村置本 | 清酒醸造 小坂松藏 豐富村御蔭 | 清酒醸造 的野仲太郎 豐富村御蔭 | 清酒醸造 白井卯吉 八千種村八千種 | 清酒醸造 藤原瀧藏 八千種村大買 | 清酒醸造 城谷巽 八千種村八千種 | 清酒醸造 鈴木正三郎 木原村三之助 | 清酒醸造 鈴木三之助 木原村三之助 | 清酒醸造 難波信幹 栗原村中村 | 清酒醸造 鶴野金平 栗原村福本 | 清酒醸造 前田茂一 栗原村 | 清酒醸造 堀吉太郎 堀居村深村 | 清酒醸造 龍野醬油株式會社 龍野町川東 電話五七 | 清酒醸造 圓尾醬油合名會社 龍野町 電話二 | 清酒醸造 淺見治兵衛 龍野町 電話二 |
|------------------------|------------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|----------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------------|-----------------------|---|-----------------------|---|---------------------------|--|--------------------------|--|--------------|---|--|
| 醬油醸造 堀のぶ 堀居村深 | 清酒醸造 岡本伊藏 船津村 | 清酒醸造 岡庭巖 船津村 | 清酒醸造 尾田眼龍 船津村 | 清酒醸造 平石文治 船津村 | 清酒醸造 船田周吉 大山村大山 | 清酒醸造 西岡佐太郎 瀬加村上瀬加 | 清酒醸造 多田新十郎 川邊村四川邊 | 清酒醸造 内藤醬油製造合資會社 川邊村四川邊 | 清酒醸造 前田音松 中寺村土師 | 清酒醸造 龍野町 | 清酒醸造 井口宗左衛門 龍野町 | 清酒醸造 原田宗兵衛 龍野町 | 清酒醸造 日本丸天醬油株式會社 龍野町 | 清酒醸造 マルサン印最上醬油醸造元 龍野町 | 清酒醸造 岡村龍野醬油醸造所 龍野町 | 清酒醸造 横山敬三 龍野町 | 兵庫縣 掛保郡 (龍野) | | |
| <p>掛保郡</p> <p>酒類並醬油醸造業</p> <p>龍野町</p> | | | | | | | | | | <p>精撰 醬油醸造業</p> <p>一吉印 吉田力太郎</p> <p>龍野町</p> | | <p>標商錄登</p> <p>菊一印 最上 菊一醬油造合資會社</p> <p>龍野町 電話 龍野 二〇七</p> <p>龍野町 電話 龍野 二〇七</p> <p>龍野町 電話 龍野 二〇七</p> <p>龍野町 電話 龍野 二〇七</p> | | <p>標商錄登</p> <p>薄口印 醬油</p> <p>小寺慶之助</p> <p>龍野町 電話 龍野 八</p> <p>龍野町 電話 龍野 二六六</p> | | <p>標商錄登</p> <p>龍野印 醬油</p> <p>酒類醬油醸造業</p> <p>飾磨津屋本店</p> <p>三木合名會社</p> <p>龍野町 電話 龍野 二二</p> <p>龍野町 電話 龍野 二二</p> <p>龍野町 電話 龍野 二二</p> <p>龍野町 電話 龍野 二二</p> | | <p>標商錄登</p> <p>田中清治商店</p> <p>龍野町 電話 龍野 二二</p> <p>龍野町 電話 龍野 二二</p> <p>龍野町 電話 龍野 二二</p> <p>龍野町 電話 龍野 二二</p> | |

Table listing names and titles for various locations in the region, including 美方郡 (Mifukun), 氷上郡 (Hirakun), and 多紀郡 (Taki). Names include 小林良三郎, 井上誠, 山本龜造, etc.

Table listing names and titles for various locations in the region, including 津名郡 (Tsunanakun) and 西灘酒造合名會社 (Seinaka Sake Brewery Co.). Names include 藤岡順三郎, 小松藤藏, 岩井茂市, etc.

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------------|--|-------------------------|-----------------------------|-----------------|---------------|------------------|---------------|-------------------|------------------------|-----------------|--------------------|----------------------------|-----------------|--------------|--------|
| 醬油問屋 藤田秀治郎 本町一丁目電一〇〇九 | 洋酒商 森象太郎 堺町一丁目電四四 | 釀造用具商 兒玉達介 天神町六電七四四 | 酒類醱釀造業 石橋喜助 和庄町泉場 | 醬油醱造業 合資會社堀川清酒醱造場 今西町 | 片岡勝次郎 河原町 | 高橋 春日町電五〇一 | 遠藤右衛門 和庄町電四三七 | 佐藤萬藏 和庄町 | 宮崎俊太郎 長ノ木町電三六九 | 三宅清兵衛 和庄町電二八四 | 平岡盛登 和庄町電七三 | 富士米酢 印標上別製酒酢醱造元 | 醬油出張店 和中清次郎 和市中町電三〇二 | 於大正博覽會 名譽狀受領 | | |
| 釀造 鎌田耕造 下中丁 | 島田理一 吳西本通 | 於第七回全國特產品博覽會 有功賞受領 商標「吳の梅」印米酢醱造元 | 岩城團次郎 二川町長濱町 | 林浦之助 和庄町本通三丁目 | 德山德三郎 宮原村北清田 | 川手仙吉 和庄町寺町 | 金川仲藏 莊山村 | 高橋岩太郎 二川町 | 中富龜太郎 二川町 | 中川謙太郎 宮原村中神原 | 向井藤三郎 二川町西港町 | 熊谷喜三郎 和庄町吾妻町 | 熊橋健一 莊山村瓜城 | | | |
| 醬油醱造 山崎大吉 莊山村 | 遠藤源吉 和庄町五七八 | 荒川はる 莊山村 | 行友伊一 長川通 | 宮原一磨 莊山村 | 平土幸吉 五番町三丁目 | 尾道市 尾道市 | 吉田市太郎 土堂町 | 土屋清三郎 十四日町 | 鳥居酒造合名會社 土堂町 | 醬油生醱釀造業 中司とく 四所町 | 阿蘇しんて 十四日町 | 三藤彌三郎 三原町三原 | 宮地知友一 中庄村 | 島田庄次郎 吉和村 | 樋口和助 向島西村 | 迫三原町三原 |



八房清
室乃梅
長春酢
元造

尾道市長江町(鐵橋北側)
戎帶屋
稻田邦次郎

電話四六六番
振替大阪二八七三番
電器一ナタ・イ

米製清酢釀造業

西灰屋



橋本陽三郎

支店
尾道市土堂町
電話二一七
廣島市細工町



梅花春
月之瀨

製清酢釀造

灰屋

橋本太吉

尾道市久保町
電話特四一七八
振替大阪二六〇〇

於各博覽會、品評會
金銀賞牌受領

清酢釀造



住屋號
高垣商店
尾道市土堂町
電話二八〇六
振替大阪一八四六
電器〇スミ

味清酢釀造業
並ニ醬油販賣



阿蘇商店
尾道市長江町

清梅乃露
釀造元



三益商會
尾道市長江町一丁目
電話特四一九七
振替大阪七六四六
電器三五六七

玉製米酢釀造元
別製米酢釀造元
瀧の井



岡田酢店
尾道市十四日町
尾道市東八四三八

於各博覽會、各共進會各品評會
名譽賞牌受領

酒類醬油販賣業

清酒「原泉」
並ニ味淋焼酎發賣元
原田敏顯
尾道市土堂町本町
三一九ノ一

橋本陽三郎
間和四郎
吉田源右衛門
吉田源右衛門
吉田源右衛門
竹田幸次郎
長江町三丁目

稻吉印
米酢
釀造元 一手賣捌
米田吉兵衛
尾道市魚市場前
電話三五五六

吉宗酒場支店
尾道市十四日町
備後國世羅郡東村

吉宗酒場本店
尾道市久保町
電話ムムカ

吉田源右衛門
尾道市土堂町
電話二八七電

津治出店
尾道市波場
柏原虎五郎

土屋清三郎
十四日町
中本治郎
土堂町

中西酒店
尾道市松平
尾道市藥師堂町

向井泰市
尾道市久保町
電話ムムカ

寺西岩助
尾道市海濱通
電話大東二七二八
電話大東二七二八

和洋酒卸問屋
清酒仲買並仲次商
寺西兵衛
尾道市魚市場前
電話一八七

宮地清一
土堂町

島居酒造合名會社
土堂町

三上曉太郎
十四日町電一〇八

砂田榮太郎
久保町

御調郡
砂原國太郎
久保町

山根政吉
三原町三三
山根英三
三原町
定森 進
三原町
定森 俊二
三原町
奈良原半兵衛
三原町

山内友助
御調郡三原町
吉永榮吉
三原町三原
村上多平
三原町三原
山名助次郎
三原町三原
内海真太郎
西野村
山根政吉
西野村
石井準一
西野村
村上勝太郎
三庄村
伊賀龜太郎
三庄村
藤木保吉
八幡村
佐伯信平
八幡村
田頭茂平
中庄村

中庄共同酒造場
中庄村
小林種吉
中庄村
吉田源右衛門
三浦村
桑原林三郎
三浦村外ノ浦
青木孫一
市村
安原鼎三
市村
吉本勝太郎
立花村
土生彦次郎
美ノ郷村
内海宇一郎
美ノ郷村
久井酒造合資會社
久井村

三好忠夫
吉和村
金田平兵衛
宇津戸村
天野彦三
栗原村
杉田與次兵衛
栗原村
船岡民藏
栗原村
岡部倉治
田熊村
土生重一
美郷村
村上利平
河内村
林向島村
和泉小市
向島西村

木曾貞右衛門
向島西村
木曾精一
向島西村
小田原常五郎
向島東村
濱岡義一
土生村
中郷龜四郎
土生村
大出來吉
重井町
中島一人
岩子島村
檜原善吉
大濱村

賀茂郡
池田寅吉
竹原町
西村勘次郎
竹原町
川本常次
竹原町
米倉重吉
竹原町
竹原酒造株式會社
竹原町新町

塚本信吉
竹原町
中川善七
竹原町
中尾儀三郎
竹原町
永田才次
竹原町
前田光一
竹原町
松井啓次
竹原町
増谷豐吉
竹原町

藤井善七
加茂郡竹原町
電話二一九
龍勢
藤正宗 釀造元
藤寶壽
大藏省所管東京釀造試驗所内
大日本全國清酒品評會に於て
最優等金牌受領

於全國清酒品評會
 連年一等賞名譽金牌受領

銘
 岩の井
 ちとせ
 酒明鏡

釀造元

進藤兵一

賀茂郡 竹原町
 電話 四二五
 支店 大阪 二〇二九
 電話 シ・シン

於各博覽會、共進會
 有功賞牌受領

銘
 萬國一天
 祐壽正宗
 喜蝶品一

釀造元

水戸幾七

加茂郡 竹原町
 電話 四二七

北山 福松
 北山 徳松
 城原 磯次郎
 森原 瀧七

酒銘
 花菖の春
 吟醸發賣元
 清酒仲次問屋業
 山路春太郎
 賀茂郡 竹原町

標商錄登
 賀茂鶴
 酒清等優

釀造元

木村靜彦
 賀茂郡 四條町
 電話 四二
 支店 東京 二五八九
 大阪 四六八九
 電話 キ・キシ

清酒
 陽龜 齡
 釀造元

石井峰吉
 賀茂郡 四條町
 電話 三八八五
 支店 大阪 三八八五

標商錄登
 白牡丹
 純良
 清酒

釀造元

島博三
 賀茂郡 四條町
 電話 四一四
 支店 大阪 二七三三

| | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 小野 萬吉 竹原町 | 池田 峯吉 竹原町 | 小田 吉助 竹原町 | 桶本 房吉 竹原町 | 吉本 清吉 竹原町 | 田中 端造 竹原町 | 立川 直助 竹原町 | 中尾 虎吉 竹原町 | 増森 松次郎 竹原町 | 手島 榮之助 竹原町 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|

| | | | | | |
|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 伊野本市 松 | 武田 信一 四條町 | 前垣 壽一 西條町 | 藤原 省三 西條町 | 井藤 磯平 西條町 | 東間 善作 西條町 |
|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|------------------------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|------------------|------------------------|------------------|--------------------|------------------|----------------|----------------|
| 米 今 勇二 三津町 | 柄 松 太郎 三津町 | 小 田 京 藏 三津町 | 草 香 倉 平 三津町 | 今 田 時 助 三津町 | 西 山 謙 三 郎 三津町 | 河 野 酒 造 合 資 會 社 川尻村 | 稻 田 好 太 郎 川尻村 | 渡 邊 敬 直 川尻村 | 稻 田 藤 吉 川尻村 | 河 野 若 松 川尻村 | 中 野 若 松 川尻村 | 山 本 善 之 助 内海町 | 岡 田 道 次 郎 内海町 | 内 海 酒 造 合 資 會 社 内海町 | 宮 本 若 太 郎 内海町 | 幸 野 理 右 衛 門 内海町 | 白 井 龜 太 郎 内海町 | 盛 川 謙 造 野路村 | 森 下 德 助 野路村 |
|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------------|------------------------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|------------------|------------------------|------------------|--------------------|------------------|----------------|----------------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|----------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|---------------|
| 金子 吉之助 仁方町 | 山中 甚右衛門 仁方町 | 相原 恒三郎 仁方町 | 相原 格 仁方町 | 相原 恒三郎 仁方町 | 濱本 悅太郎 仁方町 | 堀田 重次郎 仁方町 | 本原 光太郎 仁方町 | 土井 種次 仁方町 | 梶山 伊三吉 仁方町 | 玉理 久松 仁方町 | 辰本 信次郎 仁方町 | 竹内 吉次郎 仁方町 | 山下 禎次郎 仁方町 | 白井 昇 仁方町 | 久保 兼松 仁方町 | 志和 住平 仁方町 | 西原 澤太郎 仁方町 | 住吉 慶助 仁方町 | 池庄 司禎藏 仁方町 |
| 濱本 繁松 廣村 | 西村 孝三郎 廣村 | 織田 平助 廣村 | 大石 菊次郎 廣村 | 神垣 四市 廣村 | 神垣 早吉 廣村 | 谷庄 松 廣村 | 村尾 國助 廣村 | 木阪 嘉市 廣村 | 平岡 喜作 廣村 | 檜垣 鶴吉 廣村 | 白井 健三 廣村 | 內藤 久次郎 廣村 | 柄 福 松 三津町 | 三浦 忠造 三津町 | 堀 恒 三津町 | 荒谷 超松 三津町 | 重田 時平 三津町 | 原田 實二 三津町 | 今田 良一 三津町 |

優等清酒

登錄商標

大熱



白乃出



愛知縣知事 愛知縣知事 愛知縣知事
 大田合資會社
 電話四五番

於內外各國博覽會、共進會品評會、金銀賞牌數拾個受領

宮內省御買上品

登錄商標

 本家

十六味地黃保命酒
 味淋、燒酎、白酒 釀造元

輛保命酒合資會社

主任 岡本龜太郎

備後國新町
 電話四四一五
 接替 東京一九二九
 大阪一三八一
 電話〇ヲカ、ヲカ

於各博覽會、共進會、品評會各種賞牌受領

御大典式獻上品

登錄商標

 本家

十六味地黃保命酒
 味淋、白酒、燒酎 釀造元

森田商會本店

主任 森田貞

備後國新町
 電話四四一四
 接替 東京一六〇二
 大阪一四〇九五
 電話モリタ、〇ヒ
 同新町坂ノ下
 小賣販賣部

醬油釀造

早崎文助

▲、▲、新町新電二九

同 林半助

▲、▲、新町新

同 岡本武次郎

▲、▲、新町新電二六

同 沖浦勝之助

▲、▲、新町後地

同 片岡常藏

▲、▲、新町後地

同 三谷彌三郎

於各博覽會、共進會、品評會、名譽賞牌受領

登錄商標

 印
 米花乃譽
 酢酒長命酢

釀造元

上村清酢釀造所
 店主 上村房藏

備後國新町
 電話特四七
 接替大阪八四二〇

於東京大正博覽會

銀牌受領

其他各博覽會、共進會、品評會
 各種有功賞牌受領

登錄商標

 印
 花の浪
 花の浪
 花の浪

釀造元
 酒井作治郎

備後國新町
 電話一
 接替 東京四〇八二
 大阪四七〇二
 電話サカイ

| | | | | | | | |
|------|-------|------|----------|------|-------|------|--------|
| 清酒醸造 | 村上三代吉 | 醬油醸造 | 門田作太郎 | 醬油醸造 | 大原富三郎 | 清酒醸造 | 住吉信藏 |
| 清酒醸造 | 岡崎龜太郎 | 清酒醸造 | 内林多市 | 清酒醸造 | 北村森之助 | 清酒醸造 | 住岡八百藏 |
| 清酒醸造 | 佐藤甚吉 | 清酒醸造 | 村上喜太郎 | 清酒醸造 | 柿原又四郎 | 清酒醸造 | 中下七兵衛 |
| 清酒醸造 | 三好鹿太郎 | 清酒醸造 | 今津村七兵衛 | 清酒醸造 | 來山卯吉 | 清酒醸造 | 西村傳太郎 |
| 清酒醸造 | 門田清吉 | 清酒醸造 | 今津村桂藏 | 清酒醸造 | 石井佐太郎 | 清酒醸造 | 風呂井光太郎 |
| 清酒醸造 | 門田秀吉 | 清酒醸造 | 今津村兼吉 | 清酒醸造 | 齋藤順太郎 | 清酒醸造 | 加島榮十 |
| 清酒醸造 | 間田三郎 | 清酒醸造 | 金江村兼江 | 清酒醸造 | 赤松國治郎 | 清酒醸造 | 松葉健松 |
| 清酒醸造 | 門田利三郎 | 清酒醸造 | 金江村兼江 | 清酒醸造 | 天野巳之助 | 清酒醸造 | 小島萬次郎 |
| 清酒醸造 | 千上三代吉 | 清酒醸造 | 大正酒造株式會社 | 清酒醸造 | 井上定吉 | 清酒醸造 | 新井龜次 |
| 清酒醸造 | 岡崎龜太郎 | 清酒醸造 | 花谷梅太郎 | 清酒醸造 | 寺岡伍一 | 清酒醸造 | 峰崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 高田次郎 | 清酒醸造 | 高橋今次郎 | 清酒醸造 | 佐藏末一 | 清酒醸造 | 平野清助 |
| 清酒醸造 | 福田吉兵衛 | 清酒醸造 | 桑田基三郎 | 清酒醸造 | 小泉來兵衛 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 今井達三郎 | 清酒醸造 | 宮澤順太郎 | 清酒醸造 | 倉本保吉 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 杉之原周吉 | 清酒醸造 | 山崎中山平 | 清酒醸造 | 潮來三郎 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 神原益治郎 | 清酒醸造 | 小島九平 | 清酒醸造 | 望月英一 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 檀浦村 | 清酒醸造 | 九十九巴之吉 | 清酒醸造 | 田淵咲芳 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 岡本敏夫 | 清酒醸造 | 高橋彌助 | 清酒醸造 | 田熊孫次郎 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 倉本慶一 | 清酒醸造 | 佐藤武夫 | 清酒醸造 | 津川光之進 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 渡邊卷助 | 清酒醸造 | 三木屋本店 | 清酒醸造 | 佐伯郡 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 杉原源之助 | 清酒醸造 | 三木屋本店 | 清酒醸造 | 佐伯郡 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 佐々木五一 | 清酒醸造 | 三木屋本店 | 清酒醸造 | 佐伯郡 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |

| | | | | | | | |
|------|--------|------|--------|------|----------|------|--------|
| 清酒醸造 | 勝谷孫七 | 醬油醸造 | 田淵靜一 | 醬油醸造 | 伊木熊二 | 清酒醸造 | 住吉信藏 |
| 清酒醸造 | 吉岡増一 | 醬油醸造 | 岡田五七郎 | 醬油醸造 | 西尾雅一郎 | 清酒醸造 | 住岡八百藏 |
| 清酒醸造 | 相良九市 | 醬油醸造 | 加藤健一 | 醬油醸造 | 八田耕造 | 清酒醸造 | 中下七兵衛 |
| 清酒醸造 | 木戸祖吉 | 醬油醸造 | 藤高健一 | 醬油醸造 | 八田德三郎 | 清酒醸造 | 西村傳太郎 |
| 清酒醸造 | 川金直太郎 | 醬油醸造 | 藤高健一 | 醬油醸造 | 津田酒造合資會社 | 清酒醸造 | 風呂井光太郎 |
| 清酒醸造 | 沖井吉次 | 醬油醸造 | 加納鶴次 | 醬油醸造 | 河本祿一 | 清酒醸造 | 加島榮十 |
| 清酒醸造 | 岡田岩吉 | 醬油醸造 | 丸龜小六 | 醬油醸造 | 早田寅雄 | 清酒醸造 | 松葉健松 |
| 清酒醸造 | 川地真平 | 醬油醸造 | 東勢國太郎 | 醬油醸造 | 水戸和一郎 | 清酒醸造 | 小島萬次郎 |
| 清酒醸造 | 青山由井次 | 醬油醸造 | 岡田七兵衛 | 醬油醸造 | 保井謙太郎 | 清酒醸造 | 新井龜次 |
| 清酒醸造 | 青山増吉 | 醬油醸造 | 岡田七兵衛 | 醬油醸造 | 西橋百太郎 | 清酒醸造 | 峰崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 世良田三次郎 | 醬油醸造 | 上田次郎 | 醬油醸造 | 千崎才吉 | 清酒醸造 | 平野清助 |
| 清酒醸造 | 今田六郎 | 醬油醸造 | 小方忠松 | 醬油醸造 | 福永慶造 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 津田次郎 | 醬油醸造 | 乘石初次 | 醬油醸造 | 田村榮之輔 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 中上勤三郎 | 醬油醸造 | 濱田君太郎 | 醬油醸造 | 宮内村 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 津川恵助 | 醬油醸造 | 兒玉準一 | 醬油醸造 | 和田甚太郎 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 相良梧次 | 醬油醸造 | 池田源左衛門 | 醬油醸造 | 小方忠松 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 佐崎徳太郎 | 醬油醸造 | 柳橋秀吉 | 醬油醸造 | 宮内村 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 伊藤幾三郎 | 醬油醸造 | 山西三郎 | 醬油醸造 | 田村五平 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 伊藤幾三郎 | 醬油醸造 | 山西三郎 | 醬油醸造 | 田村五平 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |
| 清酒醸造 | 豐田新之丞 | 醬油醸造 | 會根彌太郎 | 醬油醸造 | 加島榮十 | 清酒醸造 | 江崎清太郎 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|----------|-------|----------|---------|-------|-------|----------|--------|----------|--------|-------|--------|------|-------|-------|
| 世羅郡 | 足助二郎 | 田村治 | 竹中照松 | 高田眞之助 | 新延辻松 | 水野政一 | 隨行早太郎 | 井出郁二 | 富原小三郎 | 片山丈夫 | 三田酒造合資會社 | 吉行新太郎 | 森下龜吉 | 中本龜吉 | 池田龍造 | 片山政助 | 篁重勇吉 | 大山龜 | 世羅郡 |
| 豊田郡 | 栗原省三 | 山岡儀平 | 吉宗與吉 | 林武左衛門 | 數名酒造株式會社 | 丹光勇次郎 | 中田嘉良九 | 藤井與一右衛門 | 橋高昌次郎 | 今村鹿次郎 | 長谷川梅太郎 | 河相三郎 | 中山吉太郎 | 桑田信次郎 | 松浦百之助 | 弘保武藏 | | | 深安郡 |
| 豊田郡 | 門田増太郎 | 佐藤仙助 | 松井宇一 | 兒島祐市 | 佐藤郁太 | 柿原和太 | 池田貫一 | 伊藤太助 | 出原福三郎 | 上田光一郎 | 神原常助 | 吉岡與七 | 桑田酒造合資會社 | 水川淵 | 水川虎一 | 甲田恒祐 | | | |
| 豊田郡 | 三木億太郎 | 兒玉作太郎 | 串田光太郎 | 高橋三郎 | 村田儀三郎 | 高橋新次郎 | 池田酒造合資會社 | 德永七右衛門 | 高橋彌六 | 藤井輝太郎 | 藤本鶴三郎 | 神原利右衛門 | 池田重藏 | 神原利右衛門 | 原田九市 | 三下直右衛門 | 小坂孝市 | 藤尾柳太郎 | 小島柳太郎 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|------|-------|-------|-------|----------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-----------|----------|-------|
| 廣島縣 | 大橋茂平 | 細田六郎 | 富岡又一郎 | 川本英雄 | 富岡瀧三郎 | 齋藤早吉 | 二宮章六 | 岡崎眞 | 渡邊初兵衛 | 池田本助 | 岡本幾吉 | 源田春七 | 加計民五郎 | 猪原右衛門 | 菅尾彦兵衛 | 梶野誠 | 小野誠 | 麥生陸郎 | 門上殿村 |
| 豊田郡 | 田原廣藏 | 井口勝二 | 井口禎次郎 | 西山清太郎 | 由里友治 | 竹内秀次郎 | 三雲判左衛門 | 板岡俊太郎 | 板岡彌三郎 | 岡崎八太郎 | 岡山彦右衛門 | 兒野易造 | 日野永若松 | 德永保三郎 | 三上保三郎 | 三上保三郎 | 向井原酒造株式會社 | | |
| 豊田郡 | 奥田有義 | 山根政吉 | 高橋源吉 | 已斐秀一 | 陣崎唯夫 | 谷川太郎市 | 米田元治郎 | 佐々木俊一 | 守田省 | 中村淳二 | 香川甚右衛門 | 織田正城 | 菅野覺 | 三木晴二 | 山田岩右衛門 | 磯山鼎 | 垣松守三 | | |
| 豊田郡 | 福永政五郎 | 天野彦三 | 平野今吉 | 井藤久吉 | 鏡元助吉 | 大崎酒造株式會社 | 下向榮助 | 笹原豊太郎 | 岡本德之助 | 行村勝治 | 小林只之助 | 神本柳之助 | 栗森保太郎 | 大田常太郎 | 菜谷重五郎 | 池田信太郎 | 池田房太郎 | 本郷酒造株式會社 | 澤田基之助 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 同 △ 清酒醸造 蘆田酒造合資會社 出口町 | 同 △ 清酒醸造 金光太郎 出口町 | 同 △ 清酒醸造 高橋源兵衛 府中町 | 同 △ 清酒醸造 平地正一 府中町 | 同 △ 清酒醸造 古府酒造株式會社 府中町 | 同 △ 清酒醸造 安原清三郎 府中町 | 同 △ 清酒醸造 安原和 府中町 | 同 △ 清酒醸造 勝場敬三 府中町 | 同 △ 清酒醸造 橋本得三郎 府中町 | 同 △ 清酒醸造 蘆品郡 川口村新庄 | 同 △ 清酒醸造 山本熊太郎 川口村新庄 | 同 △ 清酒醸造 穂垣壽太郎 木之庄村 | 同 △ 清酒醸造 石岡惣五郎 中津原村 | 同 △ 清酒醸造 桑田宗兵衛 引庄村 | 同 △ 清酒醸造 羽原良二 湯田村 | 同 △ 清酒醸造 河相儀一郎 湯田村 | 同 △ 清酒醸造 河井次郎 引野村 | 同 △ 清酒醸造 佐藤橋市 引野村 | 同 △ 清酒醸造 藤井龜次 市村 | 同 △ 清酒醸造 蘆品郡 神石郡 甲奴郡 |
| 同 △ 清酒醸造 信岡彦太郎 戶手村 | 同 △ 清酒醸造 信岡太郎 戶手村 | 同 △ 清酒醸造 栗島元四郎 服部村 | 同 △ 清酒醸造 濱田孫三郎 服部村 | 同 △ 清酒醸造 大元壽 網引村 | 同 △ 清酒醸造 丹治金一郎 網引村 | 同 △ 清酒醸造 丹治石之助 網引村 | 同 △ 清酒醸造 三島万次郎 市小 | 同 △ 清酒醸造 桑田眞四郎 常金丸村 | 同 △ 清酒醸造 河村市太郎 常金丸村 | 同 △ 清酒醸造 森信とよ 新市町 | 同 △ 清酒醸造 内田文雄 新市町 | 同 △ 清酒醸造 宮原繁治 有磨村 | 同 △ 清酒醸造 河村常八 有磨村 | 同 △ 清酒醸造 合資會社猪原酒場 有磨村 | 同 △ 清酒醸造 桑田榮吉 岩谷村 | 同 △ 清酒醸造 小川新太郎 岩谷村 | 同 △ 清酒醸造 桑田虎吉 岩谷村 | 同 △ 清酒醸造 金光合資會社 出口町 | |
| 同 △ 清酒醸造 三輪清三郎 油木村 | 同 △ 清酒醸造 德田利七 油木村 | 同 △ 清酒醸造 三輪忠雄 油木村 | 同 △ 清酒醸造 村上馬太郎 福永村 | 同 △ 清酒醸造 高橋茂平 福永村 | 同 △ 清酒醸造 藤田恒 福永村 | 同 △ 清酒醸造 神石郡 萬能倉村 | 同 △ 清酒醸造 小川久太郎 萬能倉村 | 同 △ 清酒醸造 門利右衛門 萬能倉村 | 同 △ 清酒醸造 橋高合名會社 岩谷村 | 同 △ 清酒醸造 桑田辰次郎 廣谷村 | 同 △ 清酒醸造 小堀仙一 河佐村 | 同 △ 清酒醸造 門田信太郎 福相村 | 同 △ 清酒醸造 小川定助 宜山村 | 同 △ 清酒醸造 光成重五郎 宜山村 | 同 △ 清酒醸造 門利定右衛門 縣家村 | 同 △ 清酒醸造 卜部讓介 縣家村 | 同 △ 清酒醸造 稻垣關太郎 近田村 | 同 △ 清酒醸造 和恒四郎 近田村 | |
| 同 △ 清酒醸造 谷本喜太郎 田邊村 | 同 △ 清酒醸造 原田作平 上川村 | 同 △ 清酒醸造 平田壽一郎 下領家村 | 同 △ 清酒醸造 原田小八郎 頭家村 | 同 △ 清酒醸造 柳父榮七 上下町 | 同 △ 清酒醸造 重森明 上下町 | 同 △ 清酒醸造 田邊悟郎 上下町 | 同 △ 清酒醸造 川上來太郎 上下町 | 同 △ 清酒醸造 時永九四郎 上下町 | 同 △ 清酒醸造 田邊喜三郎 上下町 | 同 △ 清酒醸造 重森操 上下町 | 同 △ 清酒醸造 甲奴郡 小野村 | 同 △ 清酒醸造 細川一夫 豐松村 | 同 △ 清酒醸造 小坂正夫 木津和村 | 同 △ 清酒醸造 伊達肇 木津和村 | 同 △ 清酒醸造 山内傳三郎 小島村 | 同 △ 清酒醸造 重森操 小島村 | 同 △ 清酒醸造 五富久合資會社 小島村 | 同 △ 清酒醸造 瀨尾吉四郎 油木村 | |

雙三郡

| | | | | | | | |
|------|----------|------|-------|------|----------|------|---------|
| 清酒醸造 | 山崎利平 | 清酒醸造 | 本川歌藏 | 清酒醸造 | 武田武三郎 | 醬油醸造 | 堀江徳三 |
| 清酒醸造 | 山崎總村 | 清酒醸造 | 坂木村 | 清酒醸造 | 東城 | 清酒醸造 | 横山文雄 |
| 清酒醸造 | 水野新太郎 | 清酒醸造 | 井上伊作 | 清酒醸造 | 妹尾勇太郎 | 清酒醸造 | 田邊七十郎 |
| 清酒醸造 | 田總村 | 清酒醸造 | 三良坂村 | 清酒醸造 | 東城 | 清酒醸造 | 伊藤益藏 |
| 清酒醸造 | 山岡範二郎 | 清酒醸造 | 水野新太郎 | 清酒醸造 | 生熊久太郎 | 清酒醸造 | 田庄原町 |
| 清酒醸造 | 甲奴村 | 清酒醸造 | 三良坂村 | 清酒醸造 | 東城 | 清酒醸造 | 伊藤益藏 |
| 清酒醸造 | 高田龍左衛門 | 清酒醸造 | 加藤由太郎 | 清酒醸造 | 高坂ツチヨ | 清酒醸造 | 横山文穂 |
| 清酒醸造 | 稻草村 | 清酒醸造 | 三良坂村 | 清酒醸造 | 東城 | 清酒醸造 | 横山文穂 |
| 清酒醸造 | 三田三郎 | 清酒醸造 | 三上福市 | 清酒醸造 | 北村峰太郎 | 清酒醸造 | 堀江徳三 |
| 清酒醸造 | 三次酒造株式会社 | 清酒醸造 | 小田喜代二 | 清酒醸造 | 北村秀一 | 清酒醸造 | 八谷喜太郎 |
| 清酒醸造 | 三田三郎 | 清酒醸造 | 藤井百逸 | 清酒醸造 | 佐々木伴次郎 | 清酒醸造 | 八谷喜太郎 |
| 清酒醸造 | 世良眞八 | 清酒醸造 | 桑田貞平 | 清酒醸造 | 保澤調作 | 清酒醸造 | 河内佐太郎 |
| 清酒醸造 | 三田三郎 | 清酒醸造 | 濱田龜太郎 | 清酒醸造 | 東城 | 清酒醸造 | 土井吉藏 |
| 清酒醸造 | 片桐繁郎 | 清酒醸造 | 熊已良太郎 | 清酒醸造 | 平松ふさ | 清酒醸造 | 高酒造株式会社 |
| 清酒醸造 | 三田三郎 | 清酒醸造 | 田丸源五郎 | 清酒醸造 | 東城 | 清酒醸造 | 龜山庄兵衛 |
| 清酒醸造 | 金井啓吉 | 清酒醸造 | 中村修一 | 清酒醸造 | 小田寛一 | 清酒醸造 | 木山啓四郎 |
| 清酒醸造 | 吉附正 | 清酒醸造 | 中村喜久市 | 清酒醸造 | 土肥定 | 清酒醸造 | 田邊宗一郎 |
| 清酒醸造 | 吉舍村 | 清酒醸造 | 加藤重次郎 | 清酒醸造 | 秋山九郎 | 清酒醸造 | 梶川甚一 |
| 清酒醸造 | 加藤一 | 清酒醸造 | 神杉村 | 清酒醸造 | 宮内酒造株式会社 | 清酒醸造 | 小田兼助 |
| 清酒醸造 | 福六酒造合資會社 | 清酒醸造 | 堀江壽一 | 清酒醸造 | 近藤重次郎 | 清酒醸造 | 曾田虎市 |
| 清酒醸造 | 吉舍村 | 清酒醸造 | 吉田村 | 清酒醸造 | 世良キクノ | 清酒醸造 | 白根茂助 |
| 清酒醸造 | 豐原助 | 清酒醸造 | 吉田村 | 清酒醸造 | 小池喜一郎 | 清酒醸造 | 森田英郎 |
| 清酒醸造 | 吉舍村 | 清酒醸造 | 吉田村 | 清酒醸造 | 永山其之助 | 清酒醸造 | 吉光房雄 |
| 清酒醸造 | 秋山太郎 | 清酒醸造 | 永山其之助 | 清酒醸造 | 小池喜一郎 | 清酒醸造 | 吉光房雄 |
| 清酒醸造 | 吉舍村 | 清酒醸造 | 永山其之助 | 清酒醸造 | 小池喜一郎 | 清酒醸造 | 吉光房雄 |

比婆郡

香川縣

高松市

| | |
|------|-----------|
| 清酒醸造 | 小林彌太郎 |
| 醬油醸造 | 高松白醬油合名會社 |
| 清酒 | 福宮房二 |
| 同 | 小沙松吉 |
| 同 | 池田伊三郎 |
| 同 | 西岡利太郎 |
| 同 | 田車利吉 |
| 同 | 田村喜平 |
| 同 | 永木清太郎 |
| 同 | 國宗伊太郎 |
| 同 | 岸本藤三郎 |
| 同 | 七星平七 |

丸龜市

| | |
|------|-------|
| 清酒醸造 | 清水小平 |
| 同 | 平尾彦市 |
| 同 | 本津國太郎 |
| 同 | 石岡町 |
| 同 | 河口為吉 |
| 同 | 西川久太郎 |
| 同 | 大石長次郎 |
| 同 | 竹內照雄 |
| 同 | 藤井和市 |
| 同 | 間多増吉 |
| 同 | 永木利吉 |
| 同 | 村上宗右 |
| 同 | 氏家政一 |
| 同 | 藤井宗吉 |
| 同 | 鈴木徳太郎 |

香川郡

| | |
|------|----------|
| 清酒醸造 | 西岡唯次 |
| 同 | 野上綾次 |
| 同 | 栗林上村 |
| 同 | 鬼無酒造合名會社 |
| 同 | 立川重助 |
| 同 | 井上藤吉 |
| 同 | 香川嘉八 |
| 同 | 高島庄七 |
| 同 | 久保鶴千代 |
| 同 | 川田茂市 |
| 同 | 宮武為吉 |
| 同 | 山本源七 |
| 同 | 藤澤彌一郎 |
| 同 | 武下隆太郎 |
| 同 | 鎌田こみつ |
| 同 | 岸本多太郎 |
| 同 | 黒川善太郎 |
| 同 | 國分武吉 |
| 同 | 石橋兵造 |
| 同 | 佐々木守三 |
| 同 | 淺田喜三郎 |

木田郡

| | |
|------|-----------|
| 清酒醸造 | 久本實次 |
| 同 | 山下彌太郎 |
| 同 | 松本彌太郎 |
| 同 | 山地岩吉 |
| 同 | 木村林七 |
| 同 | 柏原新平 |
| 同 | 宅地八百助 |
| 同 | 黒川喜七郎 |
| 同 | 河田勝太郎 |
| 同 | 蟻塚助太郎 |
| 同 | 佐々木酒造合名會社 |
| 同 | 植松千里 |
| 同 | 谷本七郎 |
| 同 | 木村喜平 |
| 同 | 山本伊八 |
| 同 | 宮崎巽 |
| 同 | 吉井彦市 |
| 同 | 森米太郎 |

大川郡

| | |
|------|--------|
| 清酒醸造 | 鈴木茂内 |
| 同 | 坂ノ上村坂元 |
| 同 | 山田榎太郎 |
| 同 | 岡坂政五郎 |
| 同 | 田中留吉 |
| 同 | 植松千里 |
| 同 | 森又三郎 |
| 同 | 平井村平木 |
| 同 | 植松庄太郎 |
| 同 | 河野幸太郎 |
| 同 | 平井まる |
| 同 | 多田宇次郎 |
| 同 | 山本吉次 |
| 同 | 植田豊藏 |
| 同 | 白井市 |
| 同 | 高橋忠次 |
| 同 | 白井榮吉 |
| 同 | 安部宗太郎 |
| 同 | 阿部茂七 |
| 同 | 岡田敏子 |

仲多度郡

| | |
|------|-----------|
| 清酒醸造 | 山本定次郎 |
| 同 | 佐野新平 |
| 同 | 甲引田醬油合資會社 |
| 同 | 橋本新平 |
| 同 | 金地松藏 |
| 同 | 市場藤四郎 |
| 同 | 橋本安兵衛 |
| 同 | 竹内義太郎 |
| 同 | 松本壽平 |
| 同 | 玉木傳治郎 |
| 同 | 間島四郎 |
| 同 | 井上たみ |
| 同 | 河野さだ |
| 同 | 桑島伊之八 |
| 同 | 久保信三 |
| 同 | 玉木九郎平 |
| 同 | 小倉九平 |
| 同 | 對馬謙次郎 |
| 同 | 三好松太郎 |
| 同 | 蓮井馨 |
| 同 | 太田文次郎 |
| 同 | 和田久之壽希 |
| 同 | 栗津允武 |
| 同 | 玉喜太郎 |
| 同 | 大山完一 |
| 同 | 松山辰次 |
| 同 | 中田尚象 |
| 同 | 田村英一 |
| 同 | 四ツ目合名會社 |
| 同 | 合名會社網屋 |
| 同 | 鴨部酒造合名會社 |
| 同 | 富永榮校 |
| 同 | 木村八百吉 |
| 同 | 辻野嘉右衛門 |
| 同 | 辻多平 |
| 同 | 山元治 |

| | |
|------|-------|
| 清酒醸造 | 九尾忠太 |
| 同 | 瀨尾茂吉 |
| 同 | 秋山喜三郎 |
| 同 | 小國美民 |
| 同 | 吉田甚造 |
| 同 | 武田傳次 |
| 同 | 松尾商會 |
| 同 | 丸尾孫一 |
| 同 | 田村安吉 |
| 同 | 丸尾十七太 |
| 同 | 長尾嘉吉 |
| 同 | 尾松為次 |
| 同 | 赤松秀太郎 |
| 同 | 林四義平 |
| 同 | 增田つた |
| 同 | 田中圓造 |
| 同 | 香川金八 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|----------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|----------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|
| 香油醸造 宮田千太郎 | 香油醸造 山内八太郎 | 香油醸造 久保嘉平 | 香油醸造 田中久松 | 香油醸造 山本清則 | 香油醸造 山地壽一 | 香油醸造 村井八十治 | 香油醸造 高田代藏 | 香油醸造 鎌田大三郎 | 香油醸造 津島駒吉 | 香油醸造 中川正一 | 香油醸造 龜井菊次郎 | 香油醸造 綾井之吉 | 香油醸造 木田惣助 | 香油醸造 水尾長太郎 | 香油醸造 須崎角太郎 | 香油醸造 徳山梅太郎 | 香油醸造 石川冬藏 | | |
| 香油醸造 久住正功 | 香油醸造 松永重太郎 | 香油醸造 喜田甚九郎 | 香油醸造 山本清五郎 | 香油醸造 龜井利市 | 香油醸造 赤松さわ | 香油醸造 宮武茂三郎 | 香油醸造 綾野宗藏 | 香油醸造 土岐亦平 | 香油醸造 村山嘉吉 | 香油醸造 岩崎武三郎 | 香油醸造 近藤幸吉 | 香油醸造 肥土秀一 | 香油醸造 佐久間清造 | 香油醸造 藤原嘉左衛門 | 香油醸造 小原新藏 | 香油醸造 石井幾太郎 | 香油醸造 辻彌津次 | 香油醸造 林田造株式會社 | 香油醸造 岡崎次郎 |
| 清酒醸造 寺坂貞吉 | 清酒醸造 寺島文吉 | 清酒醸造 土居茂雄 | 清酒醸造 小島秀三 | 清酒醸造 泉谷雪治 | 清酒醸造 大比賀清五郎 | 清酒醸造 隅田平吉 | 清酒醸造 荒井信次 | 清酒醸造 末包淺市 | 清酒醸造 湯淺祇一 | 清酒醸造 蒲生文造 | 清酒醸造 眞鍋猪平太 | 清酒醸造 前川唯助 | 清酒醸造 三豐郡 | 清酒醸造 今井幸藏 | 清酒醸造 大久保増吉 | 清酒醸造 大野亨平 | 清酒醸造 吉田文太郎 | 清酒醸造 大久保多造 | 清酒醸造 大久保多造 |
| 香油醸造 吉田熊太郎 | 香油醸造 向井辨造 | 香油醸造 藤田修 | 香油醸造 合田隆太 | 香油醸造 合田隆太 | 香油醸造 小山常五郎 | 香油醸造 宮本秋四郎 | 香油醸造 山地武治 | 香油醸造 眞鍋紋治 | 香油醸造 吉田爲吉 | 香油醸造 安藤清助 | 香油醸造 三崎字吉 | 香油醸造 鹽田忠左衛門 | 香油醸造 林角之助 | 香油醸造 横山嘉太郎 | 香油醸造 横山春治郎 | 香油醸造 白川勢太郎 | 香油醸造 大塚甚吉 | 香油醸造 加藤竹男 | 香油醸造 横山爲吉 |

清酒醸造 藤岡榮太郎
建仁寺町五條下三丁目電下二七四九

銘酒 釀造二元
海老屋
老海名專之助
上京區河原町通
竹屋町上大字町一〇
電話四上四五八

| | | | | | | | |
|------|--------------------------|------|-------------------------|------|---------------------------|------|----------------------------|
| 清酒醸造 | 青木伊右衛門 三條白川橋西入電上二二五二 | 清酒醸造 | 三上清水太郎 日暮出水上ル | 清酒醸造 | 關東屋商店 御幸町通東川北入電上二九七四 | 清酒醸造 | 森田文次郎 鞍馬口通寺町東入 |
| 同 | 秋山太三郎 古門前橋手東入二電中一五五〇 | 同 | 鹽田幸太郎 大宮出水上ル電上三九三一 | 同 | 吉川太郎兵衛 三條通大宮西入電上九八一 | 同 | 杉本吉三郎 本町通五條下電下二五九九 |
| 同 | 佐々木次郎吉 日暮橋木町下電上四三三六 | 同 | 平野勘兵衛 富小路高辻上 | 同 | 中西儀兵衛 七條通油小路東入電下二二三三 | 同 | 本郷嘉平 油小路下立賣上ル電上二四〇七 |
| 同 | 佐々木半藏 新鉄屋町孫橋上ル電上二八〇七 | 同 | 森口長七 柳馬場錦小路上ル電中一九六一 | 同 | 延賀喜三兵衛 綾小路通馬場東入電下二七六九 | 同 | 米田秀三郎 油小路木津屋橋上ル電下二二三四 |
| 同 | 佐々木清太郎 七條村四七條西野電下二七〇七 | 同 | 菅本彌一郎 本所町五條下電下二四四四 | 同 | 安本源之助 御幸町四條上ル電中一六〇二 | 同 | 村山忠次郎 三條大橋東入三丁目電上二五九九 |
| 同 | 木村宗兵衛 出町櫛形上ル電上二三四一 | 同 | 同支店 同支店 | 同 | 山中小兵衛 出町通櫛形下ル電上三一八七 | 同 | 安田音三 今出川大宮東入電上三五〇六 |
| 同 | 木村嘉十郎 出町櫛形西入上ル電上二七一 | 同 | 石野彌四郎 油小路通四條下ル | 同 | 安本鶴之助 下立賣通智恵光院西入電上二四四五 | 同 | 佐藤安次郎 高倉四條下電下二七四二 |
| 同 | 木村又兵衛 東洞院七條上ル電下二八九九 | 同 | 石野庄一郎 油小路通四條南入電下六九九九 | 同 | 藤田覺 姉小路油小路西入 | 同 | 井上清次郎 御前通下立賣上ル三丁目電上五五六 |
| 同 | 木村シゲ 大黒町五條上ル電下九三九九 | 同 | 井口猶之助 西院村西院三電中二〇三三 | 同 | 小藤巳代 五辻通智恵光院西入 | 同 | 井上煥次郎 御前通下立賣上ル三丁目電上五五六 |
| 同 | 木村拾治郎 河原町四條下電下二六三三 | 同 | 合資社近新商店 錦薬師通河原町東入 | 同 | 齋藤治郎兵衛 九太町通油小路角電上二八八八 | 同 | 井上久四郎 油小路大和路五條上ル電下五六一 |
| 同 | 同支店 千本松原上ル | 同 | 千葉梅次郎 下立賣通千本東入 | 同 | 澤井秀太郎 中長者町通新町西入電上二七〇二 | 同 | 井上治兵衛 油小路大和路四條上ル電中八五七 |
| 同 | 北川藤兵衛 七條村西入電下二九六六 | 同 | 尾張屋商店 姉小路通寺町西入電上二四二四 | 同 | 澤井儀助 下長者町通智恵光院西入 | 同 | 井内富松 〇×× 鉄屋町錦小路下電中三二六一 |
| 同 | 三上彦次郎 今出川堀川西入電上四三九九 | 同 | 葛西恒之助 寺町通今出川上ル | 同 | 澤井儀助 中長者町通新町西入 | 同 | 井口新助 〇×× 河原町三條下電中五〇八 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 井本捨吉 〇×× 錦薬師河原町東入電中二七八六 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 伊藤龍三郎 油小路下長者町上ル電上二四七 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 猪飼平吉 〇×× 大宮三上ル電下二四九八 |

登録商標 88 醬油

伊藤喜三郎
京都市松原通大和路二丁目
電話下二八五
接替大阪二二八三

清酒 白榮 釀造發賣元

井海桝次
京都市四堀川町三條上ル
電話四上二二〇

| | | | | | |
|----|---------------------------|----|--------------------------|----|------------------------------|
| 酒商 | 廣道松原上ル五丁目電中二二七八 | 酒商 | 橋本伊助 鉄屋町松原上ル電下一四九一 | 酒商 | 細川太三郎 六軒町一條上ル電上一八七二 |
| 同 | 岩國源七 〇×× 東高瀬川五條下電下九七六 | 同 | 橋本平三郎 押小路富本平上三三五 | 同 | 細川つね 古門前大和路東入四丁目電中六二 |
| 同 | 板津米吉 今出川大宮東入電上三三九六 | 同 | 橋本庄七 今出川小川東入電上一四九一 | 同 | 本田茂一郎 室町一條上ル電上一〇 |
| 同 | 今西龜吉 上長者町淨福寺西入電上一六七〇 | 同 | 長谷川米次郎 押小路衣櫛西入電上二五四六 | 同 | 土倉專助 〇×× 東木屋町松原上ル電下二〇 |
| 同 | 今西卯三郎 不明門七條下電下四四六 | 同 | 西川己之助 花屋町櫛形西入電下二七三 | 同 | 富田丑之助 〇×× 一條御前通西入電上二〇九一 |
| 同 | 池村熊吉 御幸町五條上ル電下二八三三 | 同 | 西田嘉助 御幸町表川上ル電上一九七四 | 同 | 富森種治郎 〇×× 大佛南門大和路西入電下三一四〇 |
| 同 | 石原武幸 〇×× 錦薬師室町西入電中一〇八〇 | 同 | 西田幸助 〇×× 大宮七條上ル電下一三六一 | 同 | 友田久次郎 新道彌果園子下電中八六八 |
| 同 | 石田伊三郎 七條新町東入電下一一三三 | 同 | 西田午治郎 五辻六軒町西入電上一六三九 | 同 | 千葉梅治郎 〇×× 千本中立賣下ル電上一五六四 |
| 同 | 石田幸治郎 吉田中通神樂坂角電上三〇一四 | 同 | 西村常吉 三條東洞院西入電上四三三七 | 同 | 小川重次郎 河原町九太町下電上二九一八 |
| 同 | 石田久太郎 下立賣七本松東入電上三九五九 | 同 | 西村保造 寺町夷川上ル電上一四四 | 同 | 小垣源次郎 〇×× 大和路四條上ル電中七三 |
| 同 | 石岡惣太郎 六波羅南通西入電下一六八一 | 同 | 西村梅次郎 〇×× 錦薬師西入電中一五〇八 | 同 | 小田常次郎 古川町三條下ル四丁目電中三二一九 |
| 同 | 石川庄左衛門 東山通松原上ル電中三一九七 | 同 | 堀場寅次郎 丸太町川崎東入電上一七三五 | 同 | 小田省三郎 木屋町三條下電中七四 |
| 同 | 石神友次郎 大黒町松原下三丁目電下五二八 | 同 | 堀尾菊三郎 堀木町小川西入電上四九 | 同 | 小野清三郎 東木屋町四條上ル二丁目電中九五三 |
| 同 | 石京久治郎 高瀬川筋正面上ル電下一〇七六 | 同 | 堀尾菊三郎 先斗町三條下電中四六九 | 同 | 尾川又左衛門 高瀬三條下電中三五三 |
| 同 | 石崎合資會社京都支店 烏丸四條下電下一七一〇 | 同 | 堀井フジ 〇×× 高倉四條下電下一九六三 | 同 | 大橋彌兵衛 姉小路東洞院西入電上三三六 |
| 同 | 石木吉太郎 〇×× 宮川筋三丁目電中二八三六 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 同 | 石部藤吉 建仁寺五條上ル電下五二七 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 同 | 石安次郎 〇×× 宮川筋一丁目電中四四九 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 同 | 石庭長次郎 祇園花見小路電中一八九 | 同 | 同 | 同 | 同 |

銘酒 八星商店
合資會社
京都市室町通三條南入
電話中一三四二

大倉京都發賣所
京都市六角通東洞院東
電話中二〇〇一



各國醬油問屋
最上醬油專賣

大谷吉次郎

京都市河原町三條南
電話中一八四九

支店 丹波國園部町(電話園部七)
○カ×ワ
大塚春之助
三條油小路東入電上九六一
大澤 德平
問屋町五條下三丁目電下三三一
大崎 吉太郎
今出川堀川西入電上八一六
大木 久藏
木屋町三條上電上三三三
大島 貞三郎
笹屋町千本四入電上二六四二
大瀬 惠美
新河原町三條下電上五七二
丸太町堀川東入電上二二八
大瀬 永次郎
高倉押小路下電上二八〇三
大瀬 永次郎
中渡院町聖河原電上三〇九三
大瀬 永次郎
藥湯ノ町新橋下電上二八七九
一條知惠光院西入電上二〇五四
大瀬 永次郎
今出川七本松西入電上二四九八

味贈商
○チ×ハ 大宮三條下電中一三三三
櫻正宗 特約販賣
白雲 儀屋
岡崎 一郎
○カ×ル 京都市押小路通鉄路町西
電話上三三六三

味贈商
○チ×ハ 大宮三條下電中一三三三
櫻正宗 特約販賣
白雲 儀屋
岡崎 一郎
○カ×ル 京都市押小路通鉄路町西
電話上三三六三
味贈商
○カ×イ 六角河原町西入電中二〇〇六
醬油商 ○チ×ヨ 奥田久五郎
大宮寺ノ内上ル四丁目電上二四八九
同 四條油小路西入電中二六二二
同 綾小路猪熊西入上電下二二七三
同 寺町今出川上ル二丁目電上三五九
同 ト×ニ 佛具屋町七條上電下三六
同 ト×リ 武者小路至町西入電上三六六
同 若山芳之助
同 川端 佐市
同 上長者町松屋町西入電上二七九四
同 上長者町小川西入電上二一八三
同 川崎 是る
同 ○カ×ロ 押小路新町西入電上三三三五
清酒 特約販賣
伏見屋
川島 庄松
京都市 小路通町東入
電話上四〇〇一四

味贈商
○チ×ト 大黒町五條上電下二四七三
山口市兵衛商店
電話中四四八
電話大阪一八二七

味贈商
○チ×ト 大黒町五條上電下二四七三
山口市兵衛商店
電話中四四八
電話大阪一八二七
味贈商
○チ×ト 大黒町五條上電下二四七三
山口市兵衛商店
電話中四四八
電話大阪一八二七
味贈商
○チ×ト 大黒町五條上電下二四七三
山口市兵衛商店
電話中四四八
電話大阪一八二七

味贈商
○チ×ト 大黒町五條上電下二四七三
山口市兵衛商店
電話中四四八
電話大阪一八二七
味贈商
○チ×ト 大黒町五條上電下二四七三
山口市兵衛商店
電話中四四八
電話大阪一八二七
味贈商
○チ×ト 大黒町五條上電下二四七三
山口市兵衛商店
電話中四四八
電話大阪一八二七

| | | | | | | | |
|-----|------------------------------|----|----------------------------|----|------------------------------|-----|-----------------------------|
| 洋酒商 | 中川 盛長 車屋町二條上電上三一九七 | 酒商 | 宇野 治三郎 河原石橋師下電上二三八六 | 酒商 | 山田 長左衛門 東洞院御池上電上二五三九 | 酒商 | 山本 與七 衣棚三條上電上二四三八 |
| 酒商 | 中村 藤吉 ○チ×イ 鳥丸二條上電上七一六 | 同 | 上田 庄太郎 ○チ×チ 松原寺町東入電下二二四 | 酒商 | 山田 源次郎 ○チ×ニ 榎木町通堀川西入電上三三三 | 洋酒商 | 山本 源三郎 四條高倉西入電中二七一八 |
| 酒問屋 | 中村 吉三郎 ○チ×カ 堺町萬壽寺上電下三一七 | 同 | 上村 久太郎 ○カ×ヨ 廣道松原上電上二九八四 | 同 | 山田 源之助 ○チ×ニ 榎木町通堀川西入電上三三三 | 酒問屋 | 山本 新次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 醬油商 | 中村 傳右衛門 ○チ×ト 二條柳馬場東入電上二六一 | 酒商 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 山内 與惣吉 ○チ×ニ 榎木町通堀川西入電上三三三 | 酒商 | 安井 徳三郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 中村 平兵衛 東堀川橋木町上電上三三八六 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 孫三郎 三條白千橋東入電上二一三 | 酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 中村 平兵衛 上長者町淨福寺東入電上二四七 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 洋酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 中村 平兵衛 秋屋町三條上電上二〇六四 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 中村 平兵衛 四洞院御池上電上三三三六 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 中村 平兵衛 知惠光院御池上電上三三九四 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 中村 平兵衛 猪熊三條下電中七二四 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 中村 平兵衛 醒ヶ井花屋町上電下二〇九八 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 中村 平兵衛 下立賣猪熊東入電上四〇八六 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 中村 平兵衛 四條小橋東入電中二二六 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 中村 平兵衛 清水四丁目電下二四八 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 酒商 | 中村 徳藏 ○カ×ニ 榎木町小川西入電上二七九 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 酒商 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 醬油商 | 中村 彌太郎 ○カ×ロ 大宮三條下電下二二六 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 同 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 長岡 五兵衛 ○カ×ロ 佛光寺鉄路町東入電下五五五 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 同 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 村上 政吉 西洞院五條下電下二八二 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 同 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 同 | 村上 新太郎 浮福寺元寶願寺上電上三〇七 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 同 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |
| 醬油商 | 村田 徳松 ○カ×ハ 新門前小堀西入電中三三七 | 同 | 上柳 嘉三郎 ○リ×ロ 鉄屋町二條上電上二二四 | 同 | 安田 常次郎 三條白千橋東入電上二一三 | 同 | 安田 常次郎 ○リ×ト 油小路松原下電下二四八八 |

京都もやし元祖
桃もやし
特撰扇印桃もやし
桃屋

近藤吉左衛門
京都市油小路通三條下ル町
電話 大阪一九〇七四

醸造用寒暖計製造元

百木製作所
京都市二條通烏丸西入
電話 四上二二五二
電話 東一七三三一
電話 七三三三

創業 文久二年

林徳治郎
京都市上京区小川通
竹屋町北入
電話 上三三三三

酒油樽製造

京都樽合資會社
京都市疏水七條上ル(京
阪電鐵七條停留場前)
電話 下二五一六
電話 大阪二七二〇〇

口塗
吞口
ウルシ巻



木香樽口吞口
製造販賣元

高田勇次郎
京都市孫橋通
新富小路西入

酒樽商 山村淺次郎
新町一條上ル電上三三五七

▲ペーパー印刷所▼

意匠、商標ノ考案迅速需メニ應ズ
登録出願ニ關シ官報ノ備付アリ閱覽隨意
應急御入用ノ節ハ優美最新ナル仕入品數多アリ

酒類 專門印刷

石田旭山
京都市松原通高倉東入
電話 下二三八八
電話 大阪二二九九四



良印
良レツル
良印刷
京都市西區南區
所利印尾瀬
番八五番中話電

酒類、醬油、酢の諸レツタル
酒類、醬油瓶詰用附屬諸レ
ツタル、酒券、切手包、瓶詰
瓶卷上包紙

既成品專賣

美術石版印刷應費需
諸印刷物商

京都市繪師通鉄屋町東入

中村椿堂
電話 中二九五三番
電話 大阪三二一八五番

紀伊郡

伏見町

清酒醸造
堀野久次郎
伏見町京町

鳥羽正宗
釀造元

奥田清兵衛
釀造元

伏見町京橋鹽屋
電話 伏見五三〇

大松
標商錄登
酒清等優

川村熊次郎
釀造元

伏見町上南郡
電話 伏見五三三

於各博覽會
名譽大賞金牌受領
御大禮大饗御專用酒
純粹清酒

月桂冠
釀造元
(ゲツケイイカン)

大倉恒吉
本店

京都府伏見町本村木
本店 特四一〇
釀造場 一〇一
研究所 五〇一
酒造場 御影三二四
同 京都支店 中二〇〇一
同 大阪支店 中一〇一七
電話 大阪九一七

丸星鈴木營業部
電話 京橋八五一

明治屋東京支店
電話 京橋二二九六

舞鶴屋
電話 新橋一九八五

清酒醸造
大八木庄太郎
伏見町京町
川口辨之助
伏見町大阪町
竹谷誠之助
伏見町栗橋

酒類 鶴正宗

谷多喜藏
釀造元

清酒醸造
谷村芳兵衛
伏見町

銘酒 富士山
社 頭正宗
社 頭正宗
社 頭正宗

辻治良吉
電話 伏見三二九

山本辰右衛門
伏見町

前田政二郎
伏見町

藤原三之助
伏見町

江崎權一
伏見町西濱

於東京大正博覽會
桑港世界大博覽會
名譽賞牌受領

廣味淋
釀造元

四方合名會社
山城國伏見町竹中
電話 四四〇
電話 大阪一六九

京都市岩上通三條北入

四方合名會社
京都出張所
電話 上三五〇八

大阪市北區金屋町一丁目

四方合名會社
大阪支店
電話 東二四六五

播磨國灘西郡町新在家

四方灘醸造場
電話 三三三

宮内省御用
優等清酒
名譽賞牌受領
三ツカイン印



釀造元
尾州半田
中壘本店

銘酒
愛國一
優等清酒

中伊兵衛

伏見町毛利橋
電話伏見一
二
振替大阪二五五一
電話ナカ
力

銘酒
牡丹櫻正宗
富久壽鯛
明治長

藤井伊兵衛

伏見町石屋
電話本店二三六
酒造場四〇九

於大正博覽會
金牌受領



醇良
清酒

山本源兵衛

伏見町上油掛
電話四伏見二〇
振替大阪八四九七
電話〇モト

東京販賣店
北新川
中澤商店

於各博覽會、各共進會
各品評會
金銀賞牌受領

銘酒
統監
明子
君國
釀造元

有井常藏

伏見町兩替町二丁目
電話伏見五〇
電話ナカ
力

銘酒
秀德正宗
貴寶

齊藤貞一郎

伏見町京町一ノ一
營業所四二八
電話
振替大阪九一四
北川仙治郎
北川三右衛門
伏見町

標商錄登



優等
清酒

花自慢
每日正宗釀造元
菊乃勢

宮川治兵衛

伏見町京橋
電話四伏見二三
振替大阪二五〇八九
電話ミヤ

東京市日本橋區箱崎町
青樹茂兵衛
電話四浪花四〇八四
同市京橋區南新川
川島傳之助
電話四東橋一六二八

| 京都府 加佐郡 中部 | | 竹野郡 熊野郡 | | 葛野郡 | |
|------------|-----------------------------------|---------|------------------|------|-------------------|
| 醬油醸造 | 村田商會 新嘉町市場 西垣善右衛門 河守上村二保 | 清酒醸造 | 濱田彦次郎 東大浦村野原 | 清酒醸造 | 畑中武左衛門 下宇川村中濱 |
| 清酒醸造 | 太田正兵衛 河守河守 河守清左衛門 河守上村二保 | 清酒醸造 | 上林彌右衛門 西大浦大丹生 | 清酒醸造 | 永雄文右衛門 下宇川村中濱 |
| 清酒醸造 | 山田市兵衛 有路下村三河 | 清酒醸造 | 飯田熊吉 餘内村下安久 | 清酒醸造 | 花光英次郎 下宇川村中濱 |
| 清酒醸造 | 竹原幸吉 岡田上村榮嗣下 | 清酒醸造 | 宮田竹次 峯山町室 | 清酒醸造 | 道家敏雄 八木村岩本 |
| 清酒醸造 | 追田徳藏 岡田上村大保 | 清酒醸造 | 廣瀬誠逸 峯山町室 | 清酒醸造 | 木下善兵衛 神野村甲山 |
| 清酒醸造 | 池田邦藏 東雲村中山 | 清酒醸造 | 石田莊藏 峯山町浪花 | 清酒醸造 | 稻葉越夫 久美濱町 |
| 清酒醸造 | 仲野軍平 東雲村三市 | 清酒醸造 | 中村久藏 峯山町御旗 | 清酒醸造 | 西垣真一郎 久美濱町 |
| 清酒醸造 | 中西右衛門 由良村由良 | 清酒醸造 | 野木勇三郎 五箇村三箇 | 清酒醸造 | 織田幾二郎 久美濱町 |
| 清酒醸造 | 秋田石藏 由良村由良 | 清酒醸造 | 寺田石藏 五箇村三箇 | 清酒醸造 | 山本甚左衛門 久美濱町 |
| 清酒醸造 | 三森西之丞 由良村由良 | 清酒醸造 | 野村善五郎 口大野村 | 清酒醸造 | 飯室右之助 川上村如 |
| 清酒醸造 | 中井民藏 由良村由良 | 清酒醸造 | 堀嘉一郎 口大野村 | 清酒醸造 | 前田淺藏 下佐濃村水留 |
| 清酒醸造 | 嘉門彌藏 高野村高野止里 | 清酒醸造 | 大岡盛平 奥大野村 | 清酒醸造 | 佐々木清太郎 七條村四七條 |
| 清酒醸造 | 池田彌三藏 倉梯村行永 | 清酒醸造 | 白杉寅藏 岡村 | 清酒醸造 | 北村佐一 松屋村下山田 |
| 清酒醸造 | 池田行永 倉梯村行永 | 清酒醸造 | 瀧野平左衛門 河邊村 | 清酒醸造 | 川本元三郎支店 朱倉野村王生 |
| 清酒醸造 | 山下俊藏 志樂村興原 | 清酒醸造 | 水野甚之吉 河邊村 | 清酒醸造 | 山根須江吉 朱倉野村王生 |
| 清酒醸造 | 松岡嘉藏 朝來村白屋 | 清酒醸造 | 矢野朝一 新山村新町 | 清酒醸造 | 木村拾次郎支店 朱倉野村王生 |
| 清酒醸造 | 天谷忠治 新山村新町 | 清酒醸造 | 松田淺右衛門 新山村新町 | 清酒醸造 | |

| 愛知縣 名古屋市 | | 西區 | | 東區 | | 味噌醬油醸造業 | |
|----------|-----------------------|------|---|------|------------------------------|---------|-------------------|
| 清酒醸造 | 市川佐吉 鍋屋町一ノ十 | 酒造業 | 伊藤爲治 船入町四ノ三電五三三六 | 清酒醸造 | 宮内省御用達 清酢醸造 笹田酢店 | 味噌醬油醸造 | 蜂須賀周三 東野野町 |
| 清酒醸造 | 花井惣三郎 相生町四丁目電二四八六 | 清酒醸造 | 大黒屋本店 鬼ころし醸造元 | 清酒醸造 | 笹田傳左衛門 電話二七五 | 味噌醬油醸造 | 蜂須賀周三 赤塚町電四〇一六 |
| 清酒醸造 | 長谷川新七 鍋屋町一ノ二電三四四四 | 清酒醸造 | 加藤宗太郎 西區伊倉町四丁目八九一十 電話一六八二 振替東京二七二二九九 | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 味噌醬油醸造 | 蜂須賀光次郎 武平町 |
| 清酒醸造 | 加藤一 駿河町一丁目 | 清酒醸造 | 泉川醸造元 和泉仙 | 清酒醸造 | 金森仙之助 中區旅籠町八二 電話二五五七 | 味噌醬油醸造 | 蜂須賀光次郎 武平町 |
| 清酒醸造 | 谷口藤次郎 古出来町一〇四電三四三八 | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | 山田忠治郎 鍋屋町二ノ六七 | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 後藤明 下日安町電二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | 小西松太郎 七間町二ノ二電二五二四 | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 佐藤兵衛 備前町二ノ一三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | 佐田源兵衛 針屋町電二九二九 | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | 鬼頭豊吉 鍋屋町 | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |
| 清酒醸造 | | 清酒醸造 | 伊藤重兵衛 中區備前町五ノ二六 電話一四〇五 | 清酒醸造 | 眞野瀧次郎 東瓦町 電話二九三三 | 味噌醬油醸造 | 加藤かよ 小市場町電八八〇 |

愛知縣 名古屋市(醸造業)

愛知縣 名古屋(醸造業、販賣業)

| | | | | | | | |
|--|---|--|--|--|---|--|--|
| 醤油醸造 柴田嘉兵衛 古市市次 鈴木利助 鈴木芳野 杉田左衛門 東門町電一四三三 味噌醸造 鈴木芳野 味噌醸造 鈴木芳野 | 井上合資會社支店 八坂町 今枝謙三郎 五坂町 早川四郎兵衛 小島町 堀田合資會社 堀田町 堀田合資會社 堀田町 太田清太郎 荻井町 奧村市三郎 押切町電四〇三三 渡邊喜兵衛 長春町電七一九 合名會社鍵屋商店 押切町 如藤かよ 桑名町 種田勘七 上岡町電七四七 村上治兵衛 江中町 杉村鐵次郎 堀屋町 牛田鈴次郎 樋口町 山田藏三郎 押切町電四一八八 | やまに合資會社 園町 牧野作兵衛 伊倉町電四二七 吹原重太郎 印東町電一四二 齊田庄左衛門 若戸町電八三九 水谷又三郎 替地町 森本鐵三郎 堀詰町電一八八 森田清助 押切町電一四四 合資會社鈴木商店 堀詰町二丁目電二〇五七 杉本茂兵衛 堀詰町二丁目電二〇五七 | ●西 和洋酒類 江口久五郎 桶屋町五丁目電五〇三一 秋田屋西區支店 車町電一八九六 淺見保次郎 伏見町電二〇三一 淺見保次郎 伏見町電二〇三一 齋田又吉 小舟町電一四六〇 龜甲富澤株式會社支店 傳馬町六丁目電七三二 鬼頭傳兵衛 和泉町電三三六 鬼頭京次郎 和泉町電三三六 水谷林 船入町三丁目電一九三 宮崎秀三郎 桑名町電四一五 株式會社尾三商會 木挽町六丁目電七七八 森田作太郎 北野一九電三九九 森田清兵衛 大船町電一三三二 森田清助 押切町電一四四五 杉浦三之助 木挽町八丁目電七二二 伊藤三之助 門前町四丁目電四六七 伊藤鉄次郎 門前町九丁目電五一九 伊藤耕治郎 新井町電一八一四 | ●東 酒類 伊藤由太郎 坂上町一八電三八二 伊藤善三郎 七間町五丁目電三九八五 伊藤善三郎 上野町電三六九八 細川藤吉 關谷町電一四八八 太田清太郎 東袋町三丁目電一五七五 渡邊勤三郎 相生町電一〇八二 河村文吉 神樂町二丁目電一七〇 川竹常次郎 西袋町電一四九七 高木太七 東門前町三丁目電五〇七七 高橋小助 赤塚町電四二三 津田芳之助 京町電九九七八 坪井鐵太郎 東外堀町五〇五四 中村吉太郎 鍋屋町電四四八 山内増吉 針屋町電三〇九四 山田利兵衛 相生町電一七四六 山中萬次郎 久屋町電七五五 山本梅吉 相生町三丁目電五三八九 近藤伊右衛門 宮町一丁目電三九八二 | ●南 酒類 玉谷市三郎 上野町二丁目電四一四三 田中瀧藏 堀詰町電三〇四六 武山保一 和泉町一丁目電一八三五 土屋桑次郎 堀詰町電三〇七 中川儀助 西區堀詰町電二二四 成田安次郎 大船町四丁目電一三六三 村井治兵衛 江中町電九四九 矢田吉助 船入町電一四二一 山田平次郎 船入町三ノ三七電四三〇 山本九八郎 傳馬町五丁目電二八五二 | ●中 酒類 伊藤三之助 門前町四丁目電四六七 伊藤鉄次郎 門前町九丁目電五一九 伊藤耕治郎 新井町電一八一四 | ●北 酒類 伊藤三之助 門前町四丁目電四六七 伊藤鉄次郎 門前町九丁目電五一九 伊藤耕治郎 新井町電一八一四 |
|--|---|--|--|--|---|--|--|

江口芳太郎 小市電四四三三

酒類味噌酒
 漬物類卸小賣
 秋田屋
 淺野儀助
 (支店)
 東區伊勢町電一六六八
 同市西區東町電一八九六
 同南區須賀町電三六九
 安藤 新柳町電四四三
 溝口清八 古出町電四四三
 南野源六 大津町五丁目電一五六六
 新美千三 神樂町電二三五五
 日比盛 西區魚町電二〇七九
 盛田久左衛門 橋代町電四三八二
 盛田合資會社名古屋支店 朝日町電五二三
 森 彦三郎 鶴重町電四二〇八
 鈴木和二郎 富士塚町二ノ七電四九四
 鈴木利助 坂上町電二四六〇

酒類問屋
 猪飼佐七
 西區船入町
 電話四一三五三

| | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|
| 和洋酒類 伊藤宏吉 桶屋町六ノ一電二六八七 石橋萬彌 南伏見町一ノ六電四九二一 稻葉屋支店 橋町一丁目 阪野貞吉 早川三之右衛門 鐵道町二ノ電二九九五 服部勝太郎 南大津町一ノ五電四六四八 | ●西 和洋酒類 伊藤宏吉 桶屋町六ノ一電二六八七 石橋萬彌 南伏見町一ノ六電四九二一 稻葉屋支店 橋町一丁目 阪野貞吉 早川三之右衛門 鐵道町二ノ電二九九五 服部勝太郎 南大津町一ノ五電四六四八 | ●中 酒類 伊藤三之助 門前町四丁目電四六七 伊藤鉄次郎 門前町九丁目電五一九 伊藤耕治郎 新井町電一八一四 | ●東 酒類 伊藤由太郎 坂上町一八電三八二 伊藤善三郎 七間町五丁目電三九八五 伊藤善三郎 上野町電三六九八 細川藤吉 關谷町電一四八八 太田清太郎 東袋町三丁目電一五七五 渡邊勤三郎 相生町電一〇八二 河村文吉 神樂町二丁目電一七〇 川竹常次郎 西袋町電一四九七 高木太七 東門前町三丁目電五〇七七 高橋小助 赤塚町電四二三 津田芳之助 京町電九九七八 坪井鐵太郎 東外堀町五〇五四 中村吉太郎 鍋屋町電四四八 山内増吉 針屋町電三〇九四 山田利兵衛 相生町電一七四六 山中萬次郎 久屋町電七五五 山本梅吉 相生町三丁目電五三八九 近藤伊右衛門 宮町一丁目電三九八二 | ●南 酒類 玉谷市三郎 上野町二丁目電四一四三 田中瀧藏 堀詰町電三〇四六 武山保一 和泉町一丁目電一八三五 土屋桑次郎 堀詰町電三〇七 中川儀助 西區堀詰町電二二四 成田安次郎 大船町四丁目電一三六三 村井治兵衛 江中町電九四九 矢田吉助 船入町電一四二一 山田平次郎 船入町三ノ三七電四三〇 山本九八郎 傳馬町五丁目電二八五二 | ●北 酒類 伊藤三之助 門前町四丁目電四六七 伊藤鉄次郎 門前町九丁目電五一九 伊藤耕治郎 新井町電一八一四 |
|---|--|--|--|---|--|

酒類醸造販賣

日本攝酒會社

名古屋支店

中區新柳町三丁目
 電話四一五八二

| | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|
| 和洋酒類 伊藤宏吉 桶屋町六ノ一電二六八七 石橋萬彌 南伏見町一ノ六電四九二一 稻葉屋支店 橋町一丁目 阪野貞吉 早川三之右衛門 鐵道町二ノ電二九九五 服部勝太郎 南大津町一ノ五電四六四八 | ●西 和洋酒類 伊藤宏吉 桶屋町六ノ一電二六八七 石橋萬彌 南伏見町一ノ六電四九二一 稻葉屋支店 橋町一丁目 阪野貞吉 早川三之右衛門 鐵道町二ノ電二九九五 服部勝太郎 南大津町一ノ五電四六四八 | ●中 酒類 伊藤三之助 門前町四丁目電四六七 伊藤鉄次郎 門前町九丁目電五一九 伊藤耕治郎 新井町電一八一四 | ●東 酒類 伊藤由太郎 坂上町一八電三八二 伊藤善三郎 七間町五丁目電三九八五 伊藤善三郎 上野町電三六九八 細川藤吉 關谷町電一四八八 太田清太郎 東袋町三丁目電一五七五 渡邊勤三郎 相生町電一〇八二 河村文吉 神樂町二丁目電一七〇 川竹常次郎 西袋町電一四九七 高木太七 東門前町三丁目電五〇七七 高橋小助 赤塚町電四二三 津田芳之助 京町電九九七八 坪井鐵太郎 東外堀町五〇五四 中村吉太郎 鍋屋町電四四八 山内増吉 針屋町電三〇九四 山田利兵衛 相生町電一七四六 山中萬次郎 久屋町電七五五 山本梅吉 相生町三丁目電五三八九 近藤伊右衛門 宮町一丁目電三九八二 | ●南 酒類 玉谷市三郎 上野町二丁目電四一四三 田中瀧藏 堀詰町電三〇四六 武山保一 和泉町一丁目電一八三五 土屋桑次郎 堀詰町電三〇七 中川儀助 西區堀詰町電二二四 成田安次郎 大船町四丁目電一三六三 村井治兵衛 江中町電九四九 矢田吉助 船入町電一四二一 山田平次郎 船入町三ノ三七電四三〇 山本九八郎 傳馬町五丁目電二八五二 | ●北 酒類 伊藤三之助 門前町四丁目電四六七 伊藤鉄次郎 門前町九丁目電五一九 伊藤耕治郎 新井町電一八一四 |
|---|--|--|--|---|--|

酒類醸造販賣

日本攝酒會社

名古屋支店

中區新柳町三丁目
 電話四一五八二

愛知縣 名古屋(販賣業)

Table listing various businesses and products in Nagoya and Toyohashi. Includes sections for '和洋酒類', '酒問屋', '酒類醸造', and '醤油醸造業'. Specific entries include '高木友三郎', '中野虎雄', '浅井治郎', and '盛川兼治郎'.

Table listing various businesses and products in Toyohashi and Okazaki. Includes sections for '酒類醸造', '醤油醸造業', and '酒問屋'. Specific entries include '服部彌八', '花井彦次', '山田銀藏', and '岡崎市'.

銘三 酒河 武士 釀造元
標商 印 釀造元

丸石合資會社

愛知縣岡崎市
電話 四二五六
接警東京一三二二
電 〇

酒銘 長譽 釀造元
釀造場
丸石合資會社支店
兵庫縣灘西宮町



大田彌治右衛門

元 八丁味噌
祖 釀造元
岡崎市八丁
電話 二二二二
接警東京一八五九九
創業 三百有餘年前

| | | |
|--------|--------|-----------|
| 醬油釀造 | 鶴田清重 | 岡崎町菅生電三五五 |
| 醬油味噌釀造 | 近藤合名會社 | 岡崎町電一三三 |
| 醬油釀造 | 近藤藤一 | 岡崎町兩町 |
| 酒商 | 鳥居初三郎 | 六地藏町電四五二 |
| 同 | 川合甚左衛門 | 横町電四五四 |
| 同 | 吉田さ | 傳馬町電五二六 |
| 同 | 酒井幸助 | 上町電三三六 |
| 同 | 柴田増吉 | 投町電四〇七 |
| 同 | 千賀光四郎 | 連尺町電一〇七 |
| 同 | 鈴木米吉 | 傳馬町電三四五 |
| 同 | 〇チ×イ | |
| 同 | 〇ロ×ア | |
| 同 | 〇チ×ニ | |
| 同 | 〇ト×ニ | |
| 同 | 〇チ×イ | |
| 同 | 〇ロ×ア | |

愛知郡

於桑港萬國博覽會金牌受領
大嘗祭悠紀齋田御用酒
賢所御神酒御用命
優等
清酒

廣瀨合名會社

代表社員 廣瀨惣兵衛
愛知郡笠寺鄉
電話 四四三三
電 七〇
同縣豐海郡刈谷町
廣瀨合名會社
名古屋市東區神樂町二
廣瀨合名會社
名古屋販賣所
電話 四三三五

| | | |
|------|-----------|-----------|
| 清酒釀造 | 伊藤萬次郎 | 千種町中通 |
| 醬油釀造 | 堀田合資會社 | 千種町塚越 |
| 清酒釀造 | 中西民次郎 | 荒子村荒子 |
| 同 | 淺井源次郎 | 荒子村法花 |
| 醬油釀造 | 龜井覺次郎 | 千種町棚田 |
| 同 | 水谷ふさ | 千種町五反田 |
| 同 | 石黒五兵衛 | 呼樓町千種 |
| 同 | 加藤大作 | 呼樓町千種 |
| 同 | 近藤權平 | 呼樓町千種 |
| 同 | 江崎與右衛門 | 呼樓町千種 |
| 同 | 鈴木銀太郎 | 呼樓町千種 |
| 同 | 東春日井郡 | |
| 清酒釀造 | 穂積金兵衛 | 小牧町小牧 |
| 同 | 穂積鐵次郎 | 小牧町小牧 |
| 同 | 合資會社吉野屋商會 | 小牧町三ツ町電二七 |
| 同 | 友松清七 | 小牧町小牧 |
| 同 | 森山千彌 | 小牧町小牧 |
| 同 | 稲垣藏吉 | 島居松村和爾良 |
| 同 | 荒川健次郎 | 島居松村和爾良 |
| 同 | 清酒釀造 | |

| | | |
|------|-----------|------------------------|
| 清酒釀造 | 林 鐵次郎 | 鳥居松村和爾良 |
| 同 | 水野甚右衛門 | 守山町守山 |
| 同 | 佐藤東一郎 | 守山町瀬古 |
| 同 | 大島顯一 | 守山町小幡 |
| 同 | 柴田合名會社 | 品野村下品野 |
| 同 | 原科市太郎 | 高藏寺村外ノ原 |
| 同 | 松本梅吉 | 高藏寺村高藏寺 |
| 同 | 深見八五郎 | 瀨戸町 |
| 同 | 松田享一 | 篠岡村大草 |
| 同 | 三宅幸右衛門 | 旭村新居 |
| 同 | 石黒理一 | 勝川町春日井 |
| 同 | 伊藤爲治 | 東春日井郡篠木村 |
| 同 | 伊藤爲治支店 | 名古屋西區船入町四丁目 電話 四五三六 |
| 同 | 銘 篠木櫻 釀造元 | 於各博覽會各品評會 金銀銅賞牌受領 |

| | | |
|------|----------|-----------|
| 清酒釀造 | 山田清太郎 | 六郷村大曾根 |
| 同 | 水野善兵衛 | 六郷村山田 |
| 同 | 飯田久左衛門 | 六郷村山田 |
| 同 | 堀田源兵衛 | 六郷村大曾根 |
| 同 | 大西合名會社 | 清水町 |
| 同 | 伊藤文治 | 清水町 |
| 同 | 山善酒造合資會社 | 西枇杷島町下小田井 |
| 同 | 橫井定之助 | 西枇杷島町下小田井 |
| 同 | 兒島豐三郎 | 西枇杷島町下小田井 |
| 同 | 箕浦猪右衛門 | 西枇杷島町下小田井 |
| 同 | 水野將油合資會社 | 西枇杷島町下小田井 |
| 同 | 水谷源助 | 西枇杷島町下小田井 |
| 同 | 犬飼武義 | 萩野村安井 |
| 同 | 犬飼專 | 萩野村安井 |
| 同 | 大野徳兵衛 | 山田村比良 |
| 同 | 加藤勇三郎 | 山田村平田 |
| 同 | 山田常三郎 | 山田村上小田井 |
| 同 | 山田兵衛 | 山田村上小田井 |
| 同 | 廣瀨惣兵衛 | 山田村上小田井 |

| | | |
|------|--------|----------|
| 清酒釀造 | 小出伊藏 | 山田村中田井 |
| 同 | 杉澤與七 | 山田村中田井 |
| 同 | 池山馨 | 西春村法成寺 |
| 同 | 犬飼利左衛門 | 西春村九之坪 |
| 同 | 犬飼元太郎 | 西春村九之坪 |
| 同 | 本多常右衛門 | 西春村西之保 |
| 同 | 服部宇三郎 | 西春村沖 |
| 同 | 服部利吉 | 西春村沖 |
| 同 | 丸山富三郎 | 西春村沖 |
| 同 | 衫山鎌次郎 | 西春村九ノ坪 |
| 同 | 山田勇助 | 西春村池重 |
| 同 | 竹田湖六 | 清洲町清洲 |
| 同 | 後藤代次 | 清洲町清洲 |
| 同 | 柴山藤藏 | 清洲町清洲 |
| 同 | 宮崎重吉 | 清洲町清洲 |
| 同 | 深見康郎 | 新川町下河原 |
| 同 | 小塚鋪太郎 | 島川町土器野新田 |
| 同 | 星野鐵次郎 | 春日村落合 |
| 同 | 後藤謙次郎 | 春日村落合 |
| 同 | 長瀬なら | 春日村味崎 |

Table listing members of the Chubu Chamber of Commerce (中部商工會). Columns include the name of the member (e.g., 鈴木八右衛門, 丹羽政次郎), their address or branch (e.g., 丹羽郡, 桑原郡), and their affiliation (e.g., 清酒醸造, 醬油醸造). Includes sub-sections for 丹羽郡 and 中島郡.

Table listing members of the Chubu Chamber of Commerce (中部商工會). Columns include the name of the member (e.g., 中島牧太郎, 米彦合資會社), their address or branch (e.g., 中島郡, 海部郡), and their affiliation (e.g., 清酒醸造, 醬油醸造). Includes sub-sections for 海部郡 and 知多郡.

於大正博覽會
金牌受領
宮內省御用達



中壱酢店
中壱又左衛門

牛田港
電話一八

兵庫縣尼崎
中壱又左衛門支店
電話一〇六

電話四三六

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------|---|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------|--------------------------------|---------------------------|---|--|-------------------------|----------------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|--------------------------|-----------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 醬油醸造 ▲水〇ハ 小栗半右衛門 半田町電二四 | 同 ▲水〇ニ 小栗七郎 半田町電四〇 | 同 ▲水〇三 小栗三郎 半田町電三〇 | 同 ▲水〇四 小栗重吉 半田町 | 味噌溜醸造元 登 録 吉倉屋 都築万太郎 電話四九六電話ツマン | 丸豊合資會社 ▲水〇一 半田町 電話四一三 | 醬油醸造 ▲水〇ハ 神原益吉 半田町 | 同 ▲水〇ニ 神原次郎 半田町 | 同 ▲水〇三 神原孫右衛門 半田町電一五〇 | 同 ▲水〇四 神原彦四郎 半田町 | 味噌溜醸造元 商標 玉屋商店 神原圓太郎 半田町電話四四四 電話タマヤタ | 新美龜太郎 伏見屋 於各博覽會 金銀銅牌夥多受領 醬油味噌溜醸造 ▲水〇一 半田町 電話特四九 | 田中酒造合資會社 ▲水〇一 半田町 | 丸中酒造合資會社 ▲水〇二 半田町電一八 | 富士合資會社 ▲水〇三 半田町電五 | 深津源右衛門 ▲水〇四 半田町 | 神原酒造合資會社 ▲水〇五 半田町 | 神原い ▲水〇六 半田町 | 龜甲富醬油株式會社 ▲水〇七 半田町電三九 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 伊藤久作 ▲水〇一 武豐町 | 仰藤富次郎 ▲水〇二 武豐町 | 土平松兵衛 ▲水〇三 武豐町 | 土平吉三郎 ▲水〇四 武豐町 | 中川惣平 ▲水〇五 武豐町 | 中川惣左衛門 ▲水〇六 武豐町 | 中川定平 ▲水〇七 武豐町電三〇 | 中野清松 ▲水〇八 武豐町電一七 | 山崎德松 ▲水〇九 武豐町電一九 | 小出森三郎 ▲水一〇 武豐町 | 出口重次郎 ▲水一一 武豐町 | 深津藤太郎 ▲水一二 武豐町 | 青木彌六 ▲水一三 武豐町電一五 | 青木彌右衛門 ▲水一四 武豐町 | 三浦太重郎 ▲水一五 武豐町 | 清水茂平 ▲水一六 武豐町 | 伊藤久作 ▲水一七 武豐町 | 清水佐次兵衛 ▲水一八 武豐町電一三 | 清水次郎兵衛 ▲水一九 武豐町 | 清水正林平 ▲水二〇 武豐町 | 清水正政一 ▲水二一 武豐町 | 清水正惣吉 ▲水二二 武豐町 | 早川松三郎 ▲水二三 武豐町 | 加古房太郎 ▲水二四 武豐町 | 村瀬益之輔 ▲水二五 武豐町 | 野畑由太郎 ▲水二六 武豐町 | 阿波安兵衛 ▲水二七 武豐町 | 藤田平治郎 ▲水二八 武豐町 | 渡邊嘉平治 ▲水二九 武豐町 | 渡邊嘉四郎 ▲水三〇 武豐町 | 間瀬伊八 ▲水三一 武豐町 | 鈴木大八 ▲水三二 武豐町 | 内田七郎兵衛 ▲水三三 武豐町 | 橋本長六 ▲水三四 武豐町 | 橋本長二 ▲水三五 武豐町 | 林十郎 ▲水三六 武豐町 | 大岩喜七 ▲水三七 武豐町 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|---|-----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------|--------------------|--------------------|------------------------------------|------------------------|------------------------|--|-------------------------|-----------------------|--|---------------------------|--|-------------------------|--------------------------|-----------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 醬油醸造 ▲水〇レ 金井醬油合資會社 内海町内海 | 同 ▲水〇ハ 内藤傳一郎 内海町山海 | 同 ▲水〇ニ 内田重助 内海町内海 | 同 ▲水〇三 梅原半兵衛 内海町内海電三六 | 同 ▲水〇四 松下半助 内海町内海電一二 | 同 ▲水〇五 板本豐助 内海町内海電三九 | 同 ▲水〇六 板本醬油合資會社 内海町内海 | 同 ▲水〇七 龜甲大醬油合資會社 内海町内海 | 同 ▲水〇八 自佳味大醬油合資會社 内海町内海 | 同 ▲水〇九 日比榮六 内海町内海 | 同 ▲水一〇 日比又左衛門 内海町内海電一一 | 同 ▲水一一 家田半三郎 内海町内海 | 同 ▲水一二 加藤惣吉 内海町内海 | 同 ▲水一三 森本才治郎 内海町内海 | 同 ▲水一四 西倉合資會社 小鈴谷村坂井 | 同 ▲水一五 陸井次郎 小鈴谷村坂井 | 酒類醸造業 ▲水一六 岸田宗次郎 知多郡小鈴谷村大谷 電話キシ・キンタ | 味噌溜醸造元 ▲水一七 東女郎醸造元 酒類醸造業 | ▲水一八 大岩百太郎 知多郡小鈴谷村大谷 振替東京五五九 | ▲水一九 大崎助太郎 小鈴谷村上野間 | ▲水二〇 銘樂盃 釀造元 | ▲水二一 酒歡喜 釀造元 | ▲水二二 竹内賢吉 知多郡小鈴谷村大谷 電話タケケ | ▲水二三 吉房彌平 小鈴谷村大谷 | ▲水二四 澤田豐松 小鈴谷村大谷 | ▲水二五 盛田合資會社本店 知多郡小鈴谷村大谷電二二 支店 名古屋、大阪、京都 | ▲水二六 盛田仙次郎 小鈴谷村大谷 | ▲水二七 石橋新造 龜崎町龜崎 | ▲水二八 伊東合資會社 代表社員 伊東信藏 尾張國龜崎町 電話一四三二八〇 振替東京一七〇五〇 | ▲水二九 桑港世界大博覽會 金賞牌受領 | ▲水三〇 山二商店 間瀬昇太郎 京橋區北新川 電話一三 電話ヤマニ・ヤ | ▲水三一 京橋區北新川 中澤南商店 | ▲水三二 淺草區新富町七 稻垣市兵衛 | ▲水三三 神田區美土代町二ノ一 吉村政次郎 | ▲水三四 四谷區南伊賀町 岩崎傳次郎 | ▲水三五 千住中組六三 鈴木儀兵衛 |
|-----------------------------------|-----------------------------|----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|---|-----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------|--------------------|--------------------|------------------------------------|------------------------|------------------------|--|-------------------------|-----------------------|--|---------------------------|--|-------------------------|--------------------------|-----------------------------|--------------------------|-------------------------|

酒 大 勳 醸造元

酒類醸造業

太田合資會社

電話 四一五
電話 三〇七

| | | |
|----|----------|----------|
| △チ | 吉田酒造合資會社 | 龜崎町龜崎電一六 |
| △チ | 山豊酒造合資會社 | 龜崎町龜崎電一六 |
| △ト | 間瀬淳三 | 龜崎町龜崎電一六 |
| △ト | 間瀬富太郎 | 龜崎町龜崎電一六 |
| △ト | 間瀬佐次平 | 龜崎町龜崎電一五 |
| △ト | 合資會社玉屋商店 | 龜崎町乙川 |
| △ト | 間瀬作右衛門 | 龜崎町龜崎電三七 |
| △ト | 出來倉合資會社 | 龜崎町龜崎電四八 |
| △ホ | 酒井芳吉 | 龜崎町乙川 |
| △ホ | 岸田作次 | 龜崎町龜崎電 |
| △ホ | 關武三郎 | 龜崎町乙川 |
| △ホ | 岩田鶴松 | 西浦町西屋 |
| △ホ | 後藤德右衛門 | 西浦町古場 |
| △ホ | 後藤萬吉 | 西浦町古場 |
| △ホ | 澤田儀左衛門 | 西浦町古場 |
| △ホ | 澤田儀平治 | 西浦町古場 |
| △チ | 澤田儀平治 | 西浦町古場 |

標商錄登
自走 優等
清酒

酒類醸造業

澤田北倉
醸造元

澤田儀平治

知多郡西浦町

銘 櫻共信會醸造元

酒類醸造業

瀧田柳倉

瀧田文三郎

知多郡西浦町

銘 花の山醸造元

中倉

澤田儀兵衛

知多郡西浦町古場

| | | |
|----|-------|---------|
| △チ | 澤田富次郎 | 西浦町古場 |
| △チ | 平野仙次郎 | 西浦町西野 |
| △チ | 竹内佐治 | 成岩町 |
| △チ | 瀧本平吉 | 成岩町電六七 |
| △チ | 柳原文四郎 | 成岩町電九一 |
| △チ | 柳原篤一郎 | 成岩町電一四八 |
| △チ | 本美寛 | 成岩町電一四八 |
| △チ | 小栗利三郎 | 成岩町電九八 |

銘 和合一醸造元

清酒醸造業

神原伊助

知多郡成岩町
電話 一四九
電話 東二八二八
電話 三〇七

| | | |
|----|----------|--------|
| △チ | 竹内直七 | 成岩町 |
| △チ | 竹内辰次郎 | 成岩町 |
| △チ | 合資會社旭商會 | 成岩町 |
| △チ | 合資會社淺井商店 | 成岩町 |
| △チ | 神原孫九郎 | 成岩町 |
| △チ | 神原仁平 | 成岩町電九二 |
| △チ | 澤田孫市 | 成岩町 |
| △チ | 新美龜太郎 | 成岩町 |
| △チ | 原田德右衛門 | 東浦村生路 |
| △チ | 野村定助 | 東浦村結川 |
| △チ | 新美仲衛 | 東浦村結川 |
| △チ | 新美助松 | 東浦村結川 |

銘 龍田醸造元

清酒並ニ焼酎製造業

伊藤善藏

知多郡常滑町
電話 四二〇
電話 東二九六一
電話 イト・イ

| | | |
|----|----------|-------|
| △ト | 關榮助 | 常滑町 |
| △ト | 合名會社久野本倉 | 大高町 |
| △ト | 久野友一 | 大高町 |
| △ト | 久野九平治 | 大高町 |
| △ト | 山盛岩太郎 | 大高町 |
| △ト | 近藤三太郎 | 大高町 |
| △ト | 近藤三左衛門 | 大高町 |
| △ト | 木下徳治 | 大高町 |
| △ト | 日高善兵衛 | 大高町 |
| △ト | 加古忠作 | 大高町 |
| △ト | 山口素臣 | 八幡村八幡 |
| △ト | 山房太郎 | 八幡村八幡 |
| △ト | 内山房太郎 | 八幡村八幡 |

水野徳次郎

八幡村新知

水野計太郎

八幡村新知

平松庄兵衛

八幡村八幡

夏目製煉株式會社

野間村野間電三

山本合資會社

野間村小野浦

森田伊助

野間村野間電五

田中市平

富貴村東大高

都築嘉衛

富貴村東大高

小阪喜一郎

富貴村東大高

厚味友右衛門

富貴村東大高

重野治右衛門

富貴村東大高

岩本松四郎

河和町河和

山本定次郎

河和町河和

稲正勲太郎

河和町河和

門井幸三郎

大野町電二八

竹内長太郎

岡田町

三河屋合資會社

大野町電三

新美昌

阿久比村宮津

小島友右衛門

上野村名和

蟹江秀次郎

上野村荒尾

碧海郡

| | | |
|----|----------|----------|
| △ト | 佐藤半一郎 | 新川町電九 |
| △ト | 板倉福太郎 | 新川町 |
| △ト | 鳥居新一郎 | 新川町電三一 |
| △ト | 角谷善四郎 | 新川町電四 |
| △ト | 角谷安兵衛 | 新川町電四 |
| △ト | 内藤彌作 | 新川町 |
| △ト | 古居七兵衛 | 新川町電二七 |
| △ト | 清水傳次郎 | 新川町 |
| △ト | 杉浦國太郎 | 新川町 |
| △ト | 稻葉彌吉 | 刈谷町刈谷電一三 |
| △ト | 廣瀬合名會社出店 | 刈谷町刈谷電四 |
| △ト | 板倉健治 | 刈谷町刈谷 |
| △ト | 太田平右衛門 | 刈谷町 |
| △ト | 渡邊保三郎 | 刈谷町 |
| △ト | 天木利三郎 | 刈谷町刈谷 |
| △ト | 佐久島庄助 | 刈谷町 |
| △ト | 竹内源次郎 | 高濱町高濱電二八 |
| △ト | 石川龍治郎 | 高濱町高濱 |

味 九重櫻醸造元

石川八郎治

碧海郡大濱町
電話 大濱八
電話 イシ八・イ
電話 東四三二九

| | | |
|----|-------|---------|
| △ト | 神谷初太郎 | 高濱町高濱 |
| △ト | 永田茂市 | 高濱町高濱 |
| △ト | 竹内倉次郎 | 知立町知立 |
| △ト | 清水佐中 | 知立町知立 |
| △ト | 間潮仲吉 | 知立町知立電九 |
| △ト | 平岩七之助 | 旭村平七電一七 |
| △ト | 鈴木新七 | 旭村平七 |

Table listing names and locations in the 額田郡 (額田郡) section, including names like 鈴木桂次郎, 中島富吉, and 石原常作.

Table listing names and locations in the 幡豆郡 (幡豆郡) section, including names like 杉浦平六, 中野新右衛門, and 尾崎福太郎.

Table listing names and locations in the 古久根勇藏 (古久根勇藏) section, including names like 古久根勇治郎, 齊藤志一郎, and 永井治郎.

Main table listing names and locations across various districts: 東加茂郡, 西加茂郡, 北設樂郡, 南設樂郡, 寶飯郡, and 額田郡. Includes names like 石原三右衛門, 鈴木繁治郎, 鈴木兵五郎, 鈴木和次郎, 鈴木嘉三郎, 鈴木嘉平, 鈴木嘉太郎, 鈴木嘉三郎, 鈴木嘉四郎, 鈴木嘉五郎, 鈴木嘉六郎, 鈴木嘉七郎, 鈴木嘉八郎, 鈴木嘉九郎, 鈴木嘉十郎, 鈴木嘉十一郎, 鈴木嘉十二郎, 鈴木嘉十三郎, 鈴木嘉十四郎, 鈴木嘉十五郎, 鈴木嘉十六郎, 鈴木嘉十七郎, 鈴木嘉十八郎, 鈴木嘉十九郎, 鈴木嘉二十郎.

於各博覽會共進會
金銀賞牌受領

醬油釀造

白木屋

野村重兵衛

渥美郡田原町
電話 四一〇
振替大阪九九三三
電話ノムラノ
田原町字松下
野村醬油第二工場
電話 二一

溜醬油釀造業

山内商會

山内庄藏
渥美郡田原町
電話 四一〇
振替大阪二六八八
電話ヤマウチ・ヤマ

瀧邊増次郎

登 録 商 標
印 醬 油

山内合名會社

渥美郡田原町
電話 四一六
振替大阪二六六五
電話 カネ

十一屋合資會社

福井又次郎
柴田己助
柴田下駒藏
大田桂作
中島重三郎
石川喜左衛門
市川儀作

大竹 高師村磯部子

田村 高師村磯部

杉浦 卯一

渡邊 龜太郎

齊藤 治市

渥美醬油合資會社

柴田 鹿太郎

向坂 嘉平

浦川 重右衛門

山田 壽平

本鈴 木文作

板野 助一

牧口 儀八

杉山 山造會社

坂口 國太郎

鈴木 新兵衛

鈴木 國太郎

鈴木 波作

鈴木 勝次

Table listing names and locations for the 8-name district (八名郡), including entries like 紅林 榮次郎, 田村 啓次郎, 田村 哲四郎, 内藤 志賀次, 山本 三三七, 山本 久三郎, 安田 數平, 後藤 まさ, 朝倉 吉左衛門, 大谷 仙之助, 川口 盈太, 九一 商會, 鈴木 兵二郎, 平野 助十郎, 後藤 庄三郎, 中西 頼吉, 山本 源八.

三重縣

津市

Table listing names and locations for the city of Tsu (津市), including entries like 若林 藤吉, 高井 作右衛門, 辻 金兵衛, 青山 久四郎, 森本 仙右衛門, 伊藤 千之助, 橋本 清助, 小川 磯八, 田中 良七, 高井 作右衛門, 辻 金兵衛, 山本 太兵衛.

Table listing names and locations for the city of Yokkaichi (四日市市), including entries like 丸山 文七, 藤澤 茂右衛門, 後藤 仁兵衛, 阿部 喜兵衛, 水谷 幸吉, 森本 仙右衛門, 中條 九一, 岡本 千代治, 瀧本 宗平, 中村 與次右衛門, 山本 太兵衛, 山中 恒三郎, 丸山 藤七, 藤崎 新藏.

Table listing names and locations for the city of Utsunoyama (宇治山田市), including entries like 九鬼 文助, 行方 庄助, 梅原 定吉, 黒川 新作, 山本 清兵衛, 山之内 甚三郎, 藤田 貞男, 駒田 藤市, 森吉 造, 市川 未松, 宇治山田市吹上町, 西山 元助, 今崎 重藏, 橋本 藤五郎, 河村 清兵衛, 笠松 小右衛門, 浦田 九左衛門, 野村 五郎七.

Table listing names and locations for the 8-name district (八名郡), including entries like 山崎 道治, 松村 治郎兵衛, 松本 豊吉, 阿竹 齋次郎, 荒木 六平, 淺沼 とも, 川治 郎兵衛, 石岡 忠吉, 井坂 長七, 西村 藤兵衛, 岡田 吉之輔, 岡島 庄吉, 奥野 惣助, 小川 三左衛門, 中井 政次郎, 中西 千代松, 中田 久和, 中村 善三郎, 上田 米太郎, 山中 清九郎.

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------------|-------|--------|-------|--------|
| 酒商 | 油田太郎 | 岩田辰藏 | 森本久吉 | 茂利常吉 | 伊東富太郎 | 伊藤清六 | 大塚茂兵衛 | 桑原利作 | 森喜兵衛 | 伊藤彦太郎 | 星野定治郎 | 岡田久馬 | 合資會社桑名醬油製造所 | 小藤仁平 | 佐藤信之助 | 石川宗吉 | 細川彌右衛門 |
| 醬油醸造 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 堀田吉松 | 近藤修次郎 | 片岡繁藏 | 渡邊角次郎 | 桑原安次郎 | 江上純吉 | 伊藤與平 | 小田増次郎 | 吉川好武 | 水谷宗六 | 伊藤良一 | 伊藤勘太郎 | 和波清太郎 | 伊藤平太郎 | 服部忠治 | 瀨久米村赤尾 | 小藤慶次郎 | 石井四郎 |
| 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 |
| 坂口千代松 | 石垣茂吉 | 石垣清三郎 | 岩花重一 | 川瀨義雄 | 和波久右衛門 | 伊藤吉兵衛 | 伊藤吉次郎 | 伊藤權右衛門 | 早川半三郎 | 渡邊紋左衛門 | 平田佐一郎 | 小野幸祐 | 天野熊市 | 佐藤和三郎 | 平田齋治郎 | 石川理三郎 | 石川信吉 |
| 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|--------|------|------|------|-------|--------|--------|------|--------|-------|-------|-------|
| 伊藤幸右衛門 | 林善三郎 | 田中丈平 | 伊藤小三郎 | 坂井慶助 | 稻垣嘉太郎 | 伊藤二郎 | 柱山駒藏 | 柳川辰右衛門 | 品川音松 | 廣田寅松 | 鈴木音藏 | 鈴木辰次郎 | 長谷川鯛次郎 | 伊藤小左衛門 | 伊藤傳七 | 川島傳六 | 川島熊太郎 | 川島左衛門 | 笹野長吉 |
| 醬油醸造 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 笹野長治郎 | 廣下長四郎 | 石田彌助 | 今井定之丞 | 今井定之丞 | 河野音松 | 村山嘉吉 | 齋木榮之助 | 小林助右衛門 | 齋木久七 | 進上梅松 | 進上梅松 | 渡邊禮太郎 | 内田宏道 | 藤谷豐次郎 | 平田專吉 | 渡邊己與太郎 | 内田清作 | 寺本源太郎 | 森谷半兵衛 |
| 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 | 醬油醸造 |

三重縣 三重郡 桶燒酎釀造組合 (イロハ順)

| | | | | | | | | | |
|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 服部榮藏 | 服部多十郎 | 橋本金藏 | 橋本清六 | 加田伊藏 | 加田武平 | 加田武七郎 | 竹野與左衛門 | 竹野商店 | 竹野兵之助 |
| 辻與次郎 | 永田多藏 | 永田代次郎 | 野崎藤助 | 野崎與三吉 | 宮崎由太郎 | 宮崎庄市郎 | 森下政吉 | 森下兵十郎 | |



宮崎由太郎

於第五回全國酒類品評會
賞牌受領

醬油釀造
 坂倉伊平
 服部太三郎
 立木彌太郎
 森源八
 飯田源兵衛
 稻垣孫三郎
 安達常右衛門
 高橋淺右衛門
 大矢知金七郎
 大矢知柳太郎
 大矢知三郎
 大矢知廣永新田
 森林藏

清酒釀造
 野呂藤太郎
 岡田久馬
 岡本善衛
 廣田清三郎
 清水辰藏
 加藤捨次郎
 小松彌七
 堀善左衛門
 堀新兵衛
 矢田六右衛門
 伊藤良吉
 藤波政白
 松岡仁吉
 增朝銀八
 奧山藤吉
 西谷與一
 堀喜三郎
 岡本半造

清酒釀造
 草川善太郎
 柴橋英吉
 田中音吉
 境理平
 藤川為吉
 鈴木重平
 坂直次郎
 杉森嘉兵衛
 田中庄太夫
 古澤信輔
 永井橋之祐
 平井幸市
 川村房次郎
 加藤傳十郎
 北石精一郎
 尾崎藤之進
 中林市平
 小林國松
 上野友三郎
 守口守太郎

醬油釀造
 麻生藤三治
 佐藤長吉
 田中周三郎
 藤谷信次郎
 高橋佐市
 高橋佐藏
 駒田定五郎
 高橋本村
 保田彌三郎
 赤塚與吉
 青本松之助
 川端馬次郎
 森田孝次郎
 今井俊一
 今井一
 稻守鹿藏
 戶澤長太郎
 下津利兵衛
 增田五兵衛
 伊藤勘兵衛

清酒釀造
 丹羽權四郎
 小川榮吉
 倉田幾太郎
 倉田市之進
 花崎傳兵衛
 城山源八
 荒木清兵衛
 森田祐三郎
 服部庄右衛門
 松田重三郎
 岸尾平兵衛
 杉野伊右衛門
 野田六左衛門
 野田六左衛門
 杉本清吉
 中濱德三
 橋本松兵衛
 橋本乙松
 北川萬左衛門
 市川三之助

醬油釀造
 市川八次郎
 大田鐵藏
 加藤甚五郎
 北川新左衛門
 杉野太藏
 太田龜治郎
 松岡善吉
 松岡光次郎
 太田喜久松
 濱中彌兵衛
 伊坂又右衛門
 伊藤常次郎
 伊藤善作
 濱中彌三郎
 藤原彌左衛門
 菱川德太郎
 中野竹次郎
 山崎喜兵衛
 横田淳二郎
 松林久四郎

清酒釀造
 清水平右衛門
 馬瀬健藏
 樋口源之丞
 別所周造
 松島彌三郎
 內田小十郎
 田中常三郎
 吉川象平
 越知岩吉
 白井吉右衛門
 志郡
 今村勘左衛門
 八太正太夫
 今村儀藏
 山八合名會社
 米本銀藏
 米本庄三郎

清酒釀造
 中森久吉
 福岡宗吉
 榎得兵衛
 山久信太郎
 今西實藏
 土肥とよ
 辻出萬七
 長崎榮次郎
 近藤丹平
 中田鶴次郎
 稻森茂市郎
 山内正次郎
 海野
 海野
 早川辰太郎
 道明庄十郎
 太田齋一郎
 田中末松
 奥村庄七
 阪井田良三郎

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|------------------------------|--------------------------------|---------------------------|
| 酒造 △二 須田市三郎 ハッ山村八野 | 酒造 △二 清水大藏 林幾之助 | 酒造 △二 坪井幸三郎 井田村須賀 | 酒造 △二 中村佐太郎 中原村須賀 | 酒造 △二 北田與平 戸木村 | 酒造 △二 辻岡傳次 戸木村 | 酒造 △二 中島守 大井村大仰 | 酒造 △二 西川久左衛門 松阪町 | 酒造 △二 佐波竹次郎 松阪町 | 酒造 △二 奥山佐吉 松阪町 | 酒造 △二 多賀徳兵衛 松阪町 | 酒造 △二 竹内慶助 松阪町 | 酒造 △二 世古惣十郎 松阪町 | 酒造 △二 中村幸之助 神戶町 | 酒造 △二 齊田準之助 神戶町 | 酒造 △二 堀木齊右衛門 大河内村桂瀬 | | |
| 酒造 △二 中川繁吉 機屋町魚見 | 酒造 △二 下倉一郎 射和村 | 酒造 △二 伊勢寺村伊勢寺 伊勢寺村 | 酒造 △二 谷村淺吉 相可村西池上 | 酒造 △二 藤田普 相可村西池上 | 酒造 △二 西山利平次 大淀村山 | 酒造 △二 土屋源一郎 大淀村大淀 | 酒造 △二 土屋源十郎 大淀村大淀 | 酒造 △二 辻井權兵衛 大淀村大淀 | 酒造 △二 中山清三郎 大淀村山 | 酒造 △二 橋爪庄藏 大淀村大淀 | 酒造 △二 土屋由兵衛 大淀村大淀 | 酒造 △二 西村源之助 大淀村大淀 | 酒造 △二 鈴木直吉 大淀村大淀 | 酒造 △二 北村嘉一 大淀村大淀 | 酒造 △二 油田金太郎 大淀村大淀 | 酒造 △二 色太醬油合資會社 五ヶ谷村色太 | |
| 酒造 △二 北村新次 五ヶ谷村車川 | 酒造 △二 西村四六 丹生村 | 酒造 △二 丹生酒造合資會社 丹生村 | 酒造 △二 丹生醬油合資會社 丹生村 | 酒造 △二 山中醬油合資會社 丹生村 | 酒造 △二 岡田幸吉 津田村 | 酒造 △二 高柳由藏 津田村 | 酒造 △二 河合武八 津田村 | 酒造 △二 森本利平 津田村 | 酒造 △二 元坂新作 津田村 | 酒造 △二 下倉一郎 津田村 | 酒造 △二 新良猪之八 津田村 | 酒造 △二 幸治三右衛門 津田村 | 酒造 △二 角谷清次郎 津田村 | 酒造 △二 角谷清左衛門 津田村 | 酒造 △二 西村光枝 津田村 | 酒造 △二 岩田良助 津田村 | 酒造 △二 古野政右衛門 津田村 |
| 酒造 △二 鈴木甚三郎 神戶町 | 酒造 △二 西川駒三郎 大湊町 | 酒造 △二 瀧本貞吉 上野町 | 酒造 △二 筒井喜一郎 上野町 | 酒造 △二 海野三郎 上野町 | 酒造 △二 山戸謙平 上野町 | 酒造 △二 福田彦七 上野町 | 酒造 △二 淵田千太郎 上野町 | 酒造 △二 菅野喜三郎 上野町 | 酒造 △二 英清右衛門 上野町 | 酒造 △二 橋本甚五郎 上野町 | 酒造 △二 奥潮平十郎 上野町 | 酒造 △二 中垣内與一郎 上野町 | 酒造 △二 川浪清市 上野町 | 酒造 △二 前野康一 上野町 | 酒造 △二 窪田保兵衛 上野町 | 酒造 △二 山口小吉 上野町 | 酒造 △二 松生友次郎 上野町 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|----------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 酒造 △二 福森熊吉 上野町 | 酒造 △二 黄瀬辰造 上野町 | 酒造 △二 菊輪茂十郎 上野町 | 酒造 △二 宮崎千太郎 上野町 | 酒造 △二 山路清三郎 上野町 | 酒造 △二 町野穉吉 上野町 | 酒造 △二 森喜啓一郎 上野町 | 酒造 △二 西口奈良藏 上野町 | 酒造 △二 岡町平七 上野町 | 酒造 △二 川合亥之助 上野町 | 酒造 △二 藤崎俊郎 上野町 | 酒造 △二 辻本安吉 上野町 | 酒造 △二 高森鐵次郎 上野町 | 酒造 △二 西川久太 上野町 | 酒造 △二 濱田百太郎 上野町 | 酒造 △二 富山禮三郎 上野町 | 酒造 △二 前田善右衛門 上野町 | 酒造 △二 藤島桑治郎 上野町 | 酒造 △二 山崎好吉 上野町 | 酒造 △二 橋本見之助 上野町 |
| 酒造 △二 森川傳七 小田村 | 酒造 △二 井岡正之助 丸柱村 | 酒造 △二 稻森新三郎 友生村 | 酒造 △二 森田吉右衛門 友生村 | 酒造 △二 増田熊治郎 友生村 | 酒造 △二 磯矢恒藏 友生村 | 酒造 △二 服部周吉 玉瀧村 | 酒造 △二 西岡利藏 花垣村 | 酒造 △二 大澤鹿次郎 花垣村 | 酒造 △二 淺井勇太 花垣村 | 酒造 △二 森井龜松 花垣村 | 酒造 △二 森中徳次郎 花垣村 | 酒造 △二 村田猪之助 猪田村 | 酒造 △二 宮本嘉衛 猪田村 | 酒造 △二 大西政之助 猪田村 | 酒造 △二 辰巳榮三郎 猪田村 | 酒造 △二 中岡榮治郎 猪田村 | 酒造 △二 角田半藏 猪田村 | 酒造 △二 名張町下横町 猪田村 | |
| 酒造 △二 梅田傳二 名張町 | 酒造 △二 松田徳兵衛 名張町 | 酒造 △二 前田平七 名張町 | 酒造 △二 喜多村角太郎 名張町 | 酒造 △二 北村榮助 名張町 | 酒造 △二 保田彌助 名張町 | 酒造 △二 岡崎奈良藏 名張町 | 酒造 △二 小川七兵衛 名張町 | 酒造 △二 岩知秀松 名張町 | 酒造 △二 武田專太郎 名張町 | 酒造 △二 重藤久藏 名張町 | 酒造 △二 森岡孫二郎 名張町 | 酒造 △二 小川正 名張町 | 酒造 △二 川原田伊太郎 名張町 | 酒造 △二 藤室平右衛門 名張町 | 酒造 △二 和尾孫七 名張町 | 酒造 △二 中尾孫七 名張町 | 酒造 △二 宮脇惣兵衛 名張町 | 酒造 △二 中山村保造 名張町 | 酒造 △二 杉本杉松 名張町 |
| 酒造 △二 澤佐右衛門 其曲村 | 酒造 △二 若山九良右衛門 種生村 | 酒造 △二 山本漢 上津村 | 酒造 △二 福持善之助 錦生村 | 酒造 △二 福井始太郎 比白村 | 酒造 △二 角佐五右衛門 鳥羽村 | 酒造 △二 橋爪貞次郎 船越村 | 酒造 △二 林作右衛門 甲賀村 | 酒造 △二 内山鐵之助 尾鷲町 | 酒造 △二 土井藤右衛門 尾鷲町 | 酒造 △二 明慶金次郎 尾鷲町 | 酒造 △二 引本醬油合資會社 引本町 | 酒造 △二 南牟婁郡 引本町 | 酒造 △二 田川源吉 木本町 | 酒造 △二 谷口正作 木本町 | 酒造 △二 南牟婁郡 木本町 | 酒造 △二 南牟婁郡 木本町 | 酒造 △二 南牟婁郡 木本町 | 酒造 △二 南牟婁郡 木本町 | 酒造 △二 南牟婁郡 木本町 |

油醬上最 溜撰精



愛知縣知多郡小鈴谷

醸造元 盛田合資會社本店

〔長〕電話小鈴谷一三番
振替東京一六六七六番

名古屋支店

名古屋市朝日町三丁目

〔長〕電話五三三番、三八六番

大阪支店

大阪市西區北堀江町二丁目

〔長〕電話西三九〇三番

京都支店

京都市木屋町松原下ル

〔長〕電話下一一九八番

附
錄

商
賣
繁
昌
策

日本商學士 塚本 鑛吉 著

純良味淋
甘
強

登
錄
商
標

釀造元

尾張國海部郡醬町

山田平左衛門

特電五番電(ハヤ)

振替口産大阪一八三九番

商賣繁昌策目次

| | |
|--|----|
| 第一章 緒論 | 一 |
| 第二章 商店經營術 | 七 |
| 第一節 經營と設備 | 七 |
| ▼開店と位置の選擇▼商店と地理的關係▼商店外部の構造▼美觀と實用の陳列▼店內の設備と賣場 | |
| 第二節 商用書簡文 | 一〇 |
| ▼書體文體樣式內容▼記名宛名傍書其他▼用紙封筒複寫紙信等▼勸誘狀と讀せる呼吸▼追窮狀と讀ませる呼吸▼手紙發送前の注意 | |
| 第三節 商略と賣出 | 一四 |
| ▼注意すべき割引賣出▼賣出の理由と其名稱▼大當り賣出の實例 | |
| 第四節 切手と交換 | 一五 |
| ▼奇麗よりも權威▼酒醬油商の切手▼便利なる切手交換所 | |
| 第三章 顧客應接術 | 一六 |
| 第一節 お客様の種類 | 一七 |
| ▼研究上の標準客▼憐むべきお客とは▼愛すべきお客とは▼恐るべきお客とは▼理想的小客とは | |
| 第二節 應接と注意 | 二〇 |
| ▼先づ第一に誠意▼説明には充分なる知識▼永久の得意を作れ▼素見客を利用せよ | |
| 第三節 應接と暗示 | 二〇 |
| ▼先づ信用を得よ▼注意を集中せしめよ▼機先を制せよ | |

目次

第四章 裝飾廣告術

| | |
|--|----|
| 第一節 スローガン | 二三 |
| ▼スローガンと惹句▼スローガンの注意▼巧みなるスローガン | |
| 第二節 廣告の文句 | 二三 |
| ▼惹句の驚くべき力▼惹句と種々の語調▼至難な廣告文起草 | |
| 第三節 揭示的廣告 | 二五 |
| ▼酒醬油のポスター▼客の趣味と時機 | |
| 第四節 引札と型録 | 二六 |
| ▼引札有効利用法▼引札で當てた實例▼型録の表装と内容 | |
| 第五節 飾窓裝飾法 | 二七 |
| ▼飾窓の構造と地位▼裝飾に就ての注意 | |
| 第五章 店員操縦術 | 二六 |
| 第一節 採用と注意 | 二九 |
| ▼同商賣無經驗の者▼自筆履歴書の必要▼履歴書はドウ書くか▼應對試験と目見得▼情實採用の得失 | |
| 第二節 店員の監督 | 三〇 |
| ▼店員自らが模範▼掛取にやる場合▼外廻りをさせる場合▼帳簿と現金との分離▼時間と消耗品の浪費▼不正となり易い倉番 | |
| 第三節 店員の待遇 | 三三 |
| ▼同情を以て臨む▼過失のあつた場合▼惡事を行つた場合▼健康と休養日の増加▼昇進及獎勵法 | |
| 第四節 店員の教育 | 三四 |
| ▼商賣學と及第者▼商品に就ての知識▼夜學の餘暇▼實物教授 | |
| 第五節 店員の保護 | 三六 |
| ▼分店制と種々な特長▼支店との優劣比較▼社會から見た分店制 | |

第六章 掛賣の擴張策

附貸倒豫防法

第一節 問屋と掛賣

▼取引の永続と活潑▼拂つてさへ呉れれば

第二節 小賣商と掛賣

▼一は愛嬌一は便宜▼便利な月賦販賣▼資金は固定する▼貸倒れも覚悟せよ

第三節 信用の調査

▼欧米商店の掛賣係▼即の客と小賣の客▼悪辣なる消費者の毒計▼詐欺が目的の銀行▼一ツ穴の將銀行

第四節 掛賣係の職責

▼經濟状態との接觸▼取引開始に際して▼顧客の營業状態▼同業者を倒した事の有無▼消費者の生活状態▼掛賣の限度と回數期間▼信用調査の方法▼平素の準備が必要

第五節 信用調査機關

▼特殊な新興信所▼欧米の信用交換所▼我國にも必要

第六節 現金賣の奨励

▼正札割引同盟▼現金割引組合▼掛賣禁止同盟

第七章 掛代金の取立術

第一節 お客の種類

▼拂へる様にして拂はず▼督促を嚴にして拂はず▼根氣よくして拂はず

第二節 取立の準備

▼滞貨を防ぐこと▼整理が常に行届く事▼請求書の出し方▼請求書の作成方▼小賣商の請求書

第三節 間接の取立

▼手紙に書く文句▼催促手紙の書き方▼書面は縛て封緘▼氣を永くする必要▼送金は何が便利か

第四節 直接の取立

▼氣味の好い風采態度▼社交的才能が肝▼贈賄は考へしもの▼迂闊に馳走になるな▼無辣な問屋踏倒策▼百折不撓の根氣

第五節 掛取と催眠

▼催眠術の氣合▼立ち後れの氣味▼此人に信用されたら

第六節 爲替手段で請求

▼銀行の選擇を誤るな▼爲替手形發行の注意▼不拂者の制裁▼荷爲替付の場合▼分別送荷の便宜

第七節 貸倒の豫防法

▼債務を忘れずな▼少しの猶豫が貸倒▼見切りも亦肝要

第八章 貸倒の復活術

附商人の心得べき法律

第一節 貸倒の状態

▼一時的の貸倒れ▼永久的の貸倒れ▼請求権を失ふ場合

第二節 復活の呼吸

▼巧妙な時效中断法▼他人の取立の依頼▼債權取立業者の注意

第三節 法律的觀念

▼商品受取方拒絶の場合▼契約解除の場合▼注成品と違ふ場合

第四節 利子と賠償

▼買掛代金の利子▼遲滞に依る責任▼賠償額を定むる標準

第五節 先取り特權

▼一般の先取り特權▼日用品供給の場合▼先取り特權の順位▼先取り特權の效力

第九章 手形の活用法

第一節 活用の實例

▼約束手形の場合▼期間經過後の約束手形▼小切手の場合

第二節 雛形と説明

▼各種手形の雛形▼雛形に就ての説明

第三節 手形と心得

▼手形とは何ぞや▼債權者に依る區別▼手形上の權利に就て▼手形行為と要領▼不當利得債權請求▼手形債權の消滅時効

第四節 爲替手形

▼手形の振出と裏書▼手形の引受と支拂▼爲替手形債權請求▼手形の保護と参加▼爲替手形と拒絶證書

第五節 約束手形と小切手

▼約手を取る際の注意▼小切手と其注意

願、届、申請手續と日用便覽

登録商標と出願手續

▼商標と商品の運命▼酒醬油に適した商標▼出願前の準備▼出願の手續と願書▼願書式▼出願してから的心得▼聯合商標とは何ぞ▼聯合商標登録願▼願書登録査定があつたら▼存続期間更新登録願

諸願届書式と手續

▼願書方の注意▼戸籍に關する届出▼登録申請書類▼訴訟及非訟事件書類▼其他の書類

戸籍其他關係の諸書式

▼出生届▼養子縁組届▼養子離縁届▼婚姻届▼離婚届▼再婚行使届▼後見開始及就職届▼親族會招集申請書▼後見人任務終了届▼死亡届▼家督相續届▼分家届▼名改稱届▼轉籍届

寄留諸届書式と身元證明

▼住所寄留届▼居所寄留届▼退居届▼身許證明願

徴兵に關する諸書式

▼徴兵通届届▼寄留地に於ける身體検査願▼寄留地に於ける身體検査願出に付御届

訴訟書類書式

▼支拂命令申請▼同異議申立期間短縮の申請▼支拂命令に對する異議の申立▼執行命令申請▼買掛代金訴訟の訴▼爲替訴訟の訴狀▼答辯書▼反訴狀▼人證の申立

金圓借用に關する書式

▼金圓借用證書▼連帶借用證書▼金圓月賦證書▼講金借用證書▼金圓借用證書(連帶保證人)▼地所抵當金圓借用證書▼動産物買入金圓貸借契約證書▼不動産質權設定契約書▼債權讓渡證書

契約に關する雜書式

▼借家證書▼敷金證書▼借地證書▼建物賣渡證書▼造作物賣渡證書▼引請證書▼身許引受證書

所得税に關する申告書及訴願

▼所得申告▼所得金額審査請求書▼所得金額の決定に對する訴願▼所得金額の決定に對する訴狀(行政訴訟)▼所得金額更正請求書▼所得納税地申告書▼所得税管理人申告書

營業税に關する届書式

▼營業名及課税標準届▼廢業届▼營業繼續届▼營業者、住所、氏名變

更又は店舗其他の營業場移轉時、店舗増設時、營業稅課稅標準審查請求書、營業稅課稅標準の決定に對する訴願、同行政訴訟の訴狀、課稅標準減少申告書、營業稅納稅管理入届

酒造稅に關する書式

酒類製造免許申請書、酒類製造場地所建物圖面並に酒造用容器、器具、器械目録提出書、酒造用容器、器具、器械修理申告書、同上目録異動申告書、酒類製造主居所又は氏名異動申告書、酒類製造見込數、着手時期、製造方法、仕込數申告書、同上變更申告書、酒類製造方法變更承認申請書、酒類製造業相續申告書、酒類製造場移轉許可申請書、酒類製造免許取消申告書、酒類製造業相續申告書、酒類製造に借用申告書、酒母又は膠原料用酒類廢棄亡失腐敗申告書、酒類製造石稅免除申請書、酒類製造石稅保證物提供書、同上保證物分割提供許可申請書、同上保證物免除申請書、同上納稅保證人認可申請書、同上納稅保證書、酒類製造場區別認可申請書、酒母、膠、酒類移入申告書

醬油稅に關する書式

醬油製造免許申請書、醬油製造場敷地、建物圖面並に製造用容器目録提出書、醬油製造用容器修理申告書、同上目録異動申告書、醬油製造人居所又は氏名異動申告書、醬油製造見込仕込石數、見込査定石數及製造方法申告書、同上變更申告書、醬油製造業相續申告書、醬油製造場移轉許可申請書、醬油製造免許取消申請書、石數檢定済醬油製造場外移出申告書、造石數査定未済、醬油漏洩又は蒸溜申告書、醬油造石稅免除申請書、醬油石數及請味石數申告書

造石稅法及諸稅法摘要

酒造稅法... 一三三
酒母及麴取締法... 一三六
酒造稅法施行規則... 一三九
飲食物防腐劑取締規則(抄錄)... 一四〇
內務省令第二號並ニ第二十九號... 一四〇
醬油稅則... 一四〇
家用醬油稅法... 一四一
醬油稅法執行規則... 一四二

家用醬油稅法施行規則... 一四三
諸稅法の摘要... 一四四
印紙稅法、利息制限法、民事訴訟に關する印紙額

實用表

酒類の酒精含有量... 一四五
醬油相場計算早見表... 一五六
味噌相場計算早見表... 一五八
麥酒罐詰計算早見表... 一五九
利子早見表... 一六〇
米價換算法... 一六一
租稅納期一覽表... 一六二
各國度量衡比較表... 一六三
各國貨幣比較表... 一六四
年數早見表... 一六五
小手荷物運賃... 一六六
通常小荷物運賃表... 一六七
行人商及呼賣商人の携帶する商品及車類の運賃... 一六八
郵便便覽
郵便法一覽... 一六九
內國郵便爲替... 一七〇
郵便貯金... 一七一
振替貯金... 一七二
內國電信附日支電報... 一七三
外國郵便... 一七四

商賣繁昌策目次終

商賣繁昌策

日本商學士 塚本鑛吉 著

第一章 緒論

第一節 時勢に遅れざる心掛

如何にせば商賣をして繁昌ならしむる事が出来るか。是れ商人死活の叫喚にして、吾々が机上に劃策する迄もなく、當業者諸子は、常に此の問題の爲に寢食を忘れ、神經を痛め其的研究的態度は、頗る眞面目に、而して深刻であるけれど、俗に謂ふ『凝つては思案に能はざる』事あり、暫らく自分の商賣を離れて、利害關係の域外から眺める時は、能く虚心平氣に隅から隅まで、看渡せるから其の立場は批評的にして、却つて當業者の氣附ざる微點に迄も亘つて、觀察し、研究し、批評する事が出来るのである。例へば酒類醬油業者諸君の内、に於ても、常に新しき試みを爲して絶えず時勢に後れざらむと努めらるゝに拘らず、第三者の位置から之れを見る時は、猶ほ其の新考案新機軸は遺憾にも舊來の型に窺まつて、所謂

永い業界の仕來りに囚はれ、以て折角の努力が、人心を新たにするの刺戟と、日進月歩の時勢に對する馳騁力とを缺き、不斷の刺戟に馴れ、且つ進歩せるお客の腦髓は、少しも之れに動かされぬが如き、是れであつて、本書は、當業者諸君をして自分の商賣を離れ、全く他人の立場から之れを公平に觀察せしむる必要を感じ、即ち時勢に遅れざる識見と心掛とを説かうとするのである。斷つて置くが、本書に説く所、成るべく當業者にのみ向くやう、材料も其意を以て蒐集し、編述もしたのであるけれど、大體は矢張一般商賣の繁昌的要件を網羅してあるので、或は實際に當つて必要のない點もあるかも知れぬ。當て箱らぬ所もあるであらう。是等は宜しく讀む人の取捨に任せやう。

第二節 商賣繁昌の二大要素

『巧みに仕入れた商品は、半ば販賣したるに同じ』とは言ふものゝ、單に之れだけでは、今日の商賣は繁昌するものとは

思はれない、其店が如何に巧に裝飾され且つ廉價な商品をして満されつゝあるにしても、世間に之れを認めさせるだけの手段を盡さねば、全く寶の持腐れたるを免れない。獨逸の飲料商某が、同業者と激烈に競争した結果、漸やく皇室の御用を達することとなつた、知人が其の成功を祝ふと、「ナーニ、利益つたら三文もない。唯廣告になる丈けが儲けだ」と笑つて居たが、果して此の飲料商は、新聞雑誌の廣告にも、型録にも、引札にも、裝飾窓の掲示牌にも、電車汽車汽船内及び劇場内等の掲示廣告にも、總て「弊店がお客様方に差上げる飲料は長くも我が獨逸皇帝陛下の御召しになる品と同一であります」と云ふ惹句が大々的に掲げられた。サア、此點である。例へば櫻正宗や菊正宗が、大饗宴の御用命を蒙つたとして、其の味や匂ひやが別に從來より好くなつた譯でもないが、而も世間一般の人はそれが數倍になつたかの如く感ずるから妙である。是等は販賣商略として一寸した一例だが、能く味へば大なる教訓が含まれて居るではないか。即ち進んで自家の商品を世間に吹聴する努力と、人心の機微を捉へて巧みに之れを利用する機智とは、共に是れ商賣繁昌の二大要素と言ふべきである。

第三節 資本運轉の活法

何商賣を爲すにせよ、其商賣の榮枯盛衰は一に繫つて資本

の運轉が巧妙であると拙劣であるとの一點に歸するのであるから、此運轉方法を攻究するのは最も必要問題と云はねばならぬ、假令へば百圓の資本で以て百圓丈けの商賣を營むとすれば、這是商賣人でなくても何人でも出来ることであつて、それは決して商業者と云ふ名稱を下すべきものではない、元來商人は自己所有の資本に幾十倍幾百倍するだけの仕事をする手腕がなくては、之を眞個の商賣人と云ふことは出来ない。二十世紀の此活社界に於て優勝劣敗、弱肉強食の世生存競争の激甚なる槍舞臺に立つて志を遂げ名を成さうと云ふには、信用、努力、膽略、勇氣、果斷、機敏、忍耐等の諸徳を備へ、自由自在に其命脈なる資本の運轉を爲すことに心掛ねばならぬ。

資本運轉の法とは一言にして盡せば「財貨を活用せよ」と云ふのである、即ち財貨を二重三重幾重にも運轉して停滯せしめざるやうに活動させるのである。

時の古今を問はず、洋の東西を論せず、立派に成功したる人々の經歷と其事業の経路とを考察して見ると、總て財貨運轉と云ふことが素因を爲して居るのである、彼の瑞軒が安永年間の大火に江戸が全土殆んど烏有に歸せんを見るや、機を見るに敏なる彼は、僅少の資本を懐中にして、晝夜兼行美濃の山中に駈け込んで、全山の材木を一手に買占めた、が彼れは全く其買入れた千萬分の一も現金は持つて居なかつ

たのであるけれども、唯巧みに財貨を活用したる故に全山の莫大なる材木を買ひ占めたのであるが僅少の手附金で以て此大きな仕事を爲したのを見れば、懐中零碎の資本を幾千萬倍に活動させたか、其手腕の敏活が想ひ遣らるゝてはないか、又紀州の山に乗り込んで蜜柑を買占めた紀文の遣り法も同じ筆法であつて要するに商賣の秘術は全く此一點に存するのである。

由來近江商人と云へば昔から商賣に掛ては特殊の技倆を備へて居ると云はれたものであるが、如何にも江州人は斯道に對しては抜け目が無いやうである、試みに近江商人が其資本を運轉する一二の實例を擧げて見やう。

い 郷里の近江から關東に品物を仕入に來る時は其仕入れ資本を以て郷里の産物を買ひ入れ、之を途中の需用地に弗々賣り拂つて現金に換え、而して其利益を以て往復の旅費や運送費や其他の雜費を支辨して、少しも資本を眠らせ休ませざるやう注意して常に數倍の活動きを爲させるのである。

ろ 或る近江商人が東京に出て、商賣を爲やうと考へて郷里の友人に相談をして資本金千圓を借り出した、乃てそれを以て借家の雜作を爲したり、仕入れをしたりしやうと思つたが、扱熟々考へて見れば他人の家屋を借入れ雜作敷金等に二三百圓も費せば商品の仕入額は正

味七百圓内外である、其上拾四五圓乃至二十圓の家賃を拂ふとすれば實に勿體ない死金を遣ふことになつて馬鹿の骨頂である、それよりも寧ろ千圓の内五百圓で家屋を一軒買求むれば敷金も要らなければ家賃も出ない、そこで其家屋を抵當に入れて三百圓を借り、残りの五百圓と合計八百圓で商品を仕入れ、又其商品を抵當として五百圓だけ借り入れ、それを問屋に運んで此度は一千圓の品物を仕入れて都べて一千八百圓の商品を店頭陳列することが出来た、而して在京の同郷人某に相談して一千圓を借り入れて之れを最初の資本主に返還して其信用を買ひ、更に相談して二千圓を借り入れ、その金を以て五百圓は商品抵當にて借りた人に返し、五百圓は前の仕入不足額として問屋に拂ひ込み、殘金千圓で又々商品を仕入れた、斯様にして舊を返し新を借り轉帳運用して毎月の雜用及び借金の利息等は前に家賃として立てたる豫算の額内で之を支辨しそして純益金は總べて商品仕入れに向け一意専心奮闘したる結果は僅か一年足らずに壹萬圓以上の資本を運轉するやうになつた。

以上は單に或る一面より觀れば山師的のやうに見えるけれども、そこが所謂商人の膽略である機智である、畢竟するに商人は他に損害を與えず、自らの爲めにすると同時に世の爲

め人の爲にすると云ふ精神を以て働けば、西哲スマイルスが云つた金言の如く「天は自ら助くる者を助く」で成功必ず疑ひないのである、然し是等は充分注意して、自己の経験と、確信と絶大なる決心を以て掛かゝらないと「生兵法は大疵の因」と云ふ事があるから、自分の手腕や、信用に餘り自惚れ過ぎて、爲めに飛むだ大失敗することがあるから、斯う云ふ方法もある位に止めて、是等を心得て置いたがよい。

第四節 お客の心理と催眠術

吾々人間は必ずしも理性的動物でなくして、正しく暗示的動物であると云ふのが、最近歐米心理學者の所説である、全く吾々の行動は、一々理性の判断に訴へてするは稀で、多くは他の暗示に左右されて居る。殊に商店で買物をするお客、取り分け婦人客などは、十人が殆んど十人、自分の理性的判断を以ては商品の眞價を鑑識することも出来ず、そのみか初から自分で思つたまゝの商品を撰んで行く人は少なく、大抵は知人の勧告とか、廣告とか、其の店の空気とか商品の陳列工合とか、店員の應接振りとかに操られて買うまいと思つたものを買はせられたり、買はうと思つたものを中止させられたり、買はうか怎しようかと思ひ迷つて居る心を、決定させられたりするので、事實、所謂「軽度の催眠」即ち暗示に掛つたものである、要するに、此の暗示に掛るべきものと

云ふが、人間の本性即ちお客の通有性だから、之れを解して能く利用した者が、商賣巧者、勝利者である。然るに、若し「商品が好くて價か安ければ、お客は招かずとも来る」など考へて居る商人があるならば、逆も其の商賣は繁昌すべき見込がない、心理作用と云へば、著者は屢々目撃するところであるが、横濱某酒店の女房の如きは、どのお客に向つても自分は帳場に座つて居て、店員が酒なり味噌なりを量つて居る際、愛嬌を湛へて一寸お客に會釋し、今度はお客に聞える様に「お負けして上げよ」と命ずると店員は快活に「ハイ」と返事するのであるが、客に取つては、其「お負けして上げよ」の一聲が如何にも愉快に響くらしく、舌が全く呼吸ものである、其店員が實際に安く賣る賣らないは別問題として、一般の客を自分の味方に引入れる處は儘に心理作用を充分會得したものと謂つてよろしい。

第五節 商問は打破された

商問とは即ち老舗のことで、多年の苦心經營に依り築き上げられた「暖簾」は實に貴重な財産であつて、到底も新規開店の同業者が望んで得られるものでない。けれども、其の位

置、其の財産は要するに日に新たにするの努力を怠らぬ間の生命で、其の努力が弛んだら、忽ち動搖き出すのである、尤も昔は名の通つた老舗となると、他の同業者の競争に超越して、澄し込んで居られたが、今日の如く交通は發達し、人心は油斷なく、殊に新進有爲の同業者が、ありとあらゆる手段を講じ、隙さへあつたら他の得意を奪はうとして居る競争の如き商界に於ては正に商問は打破されたものと言つて宜い、然るに「自分の店は常得意がある。商賣は安泰なものだ」と云ふ老舗氣質を以て、油斷して居ようものなら、ドン／＼其の傾分は蠶食されて了ふ。現に三越でも白木屋でも、新規開店の同業者以上に時勢に應じた努力をするから、彌々盛大に赴くので、若し丁髷式其の儘の考へを以て、「手前は老舗で御座い」と落着いて居たら、或は疾の昔に潰れて了つたかも知れない。

第六節 對外商策と對内商策

對外商策はお客に對する有らゆる手段であるが、對内商策とは主として店員の操縦方や、會計の整理法やである。眞に商賣の繁昌を期せんとするには、經營者即ち店主のみが如何に最善最良の方法を盡しても、其の手足たり、機關たる店員が店主の意志、其の店の方針と一致せず、所謂「奉公人根性」を出して怠けて居たら、到底も望みはない。如何にせば忠

實な店員を得て、熱心に働かすことが出来るかは、如何にせば多くのお客を得べきかの先決問題と言ふてよい。而して此の問題を解決するには、古來商家の金言たる「使ふ者には使はれる」で、店主は利益の幾分を割いて、忠實の代價に充て且つ衷心の同情を以て、其の熱心を買はねばならない。元來、時間其の他に規律のない日本の商習慣として店員生活は全く無味單調、精神的にも肉體的にも少しの興奮的要素がない従つて精力を欠き、熱心を欠き、陰鬱となり、冷淡となり、遂に魂の抜けた操り人形のやうになつて了ふ。

第七節 掛賣と會計の整理

商賣が一切現金で行はるれば、會計の整理等は簿記術に通じた店員さへあれば、それで充分であるが、今日月給生活者の爲めは勿論、他のお客に對しても、商人が勘定は月末に一緒に戴くと云のは、お客に對するお世辭愛嬌なるのみならず一つはお客の都合を計り、便宜を講じたものと言ふて可い。即ち商品を掛賣する事は、今日同業者の増加に連れて、競争の激甚を加へんとする際、一種の販賣商策と稱すべく、殊に

我が酒類及味噌醤油等を供給する商賈に於て、取引は過半掛賣であると言ふて差支えない。尤も現金で買入を爲せば、第一資金の固定を免れ、集金の手数を省き取引前に當つて取引先の信用素行等調査の必要もなく、且掛賣制度の必然的結果として現はる、幾分の貸倒れ、是等の不利益、面倒、危険を免るゝ事が出来るから其の利益丈けを掛賣で供給するよりも廉價で商ふやうにすれば、供給者需要者共に大分の利益ではあるが、併し今日の事情は實際に於て掛賣を餘儀なくさせられて居る、即ち掛賣に關する特別の仕事が會計掛の重大任務となつて來る次第である。

第八節 貸倒れと死活問題

一二回の督促に依り、支拂はれざる賣掛代金を、其の儘回収不可能、即ち貸倒れと見做すが如く、損益を度外に置いて會計を整理するのならば、それこそ甚だ容易な仕事であるが、それでは如何に商品が盛んに賣捌かれ、且つ何程澤山な財産があつたとて、到底堪るものではない、寧ろ商賈が餘計あればあるほど、財産があればあるほど、それだけ損が大き、其の商店は只苦痛を増すのみである、即ち貸倒れの出来るか出来ざるかは商店死活の分岐點で、既に掛賣を必要とする以上商店の會計を司る者は力を極めて貸倒れを豫防せねばならない、回収困難の掛代金があつては、到底會計は整理され得

べからざるのみならず、遂に商店全體の存在を危くするものである。故に或は店主自ら當るなり、或は手腕ある店員に任するなりして、専門の掛賣係を設け、之れに一切掛賣に就ての仕事を掌らしむるも可なるべく、而して此の掛賣係は、取引先の信用程度を調査し、集金取立を巧みにし、己むを得ず一時貸倒れとなつた債權を復活するを任務とするが故に、或は必要に依り歐米の例に則つて信用交換所（本文に詳述）を設置するもよく、同業組合の興信所を利用するもよく、兎に角専門の職務となれば、自然掛賣係の行任座臥は、鞆の目鷹の目式にお客の信用とか素行とかに氣の附くもの、お客の信用を明かにしたる後行はれたる取引には、先づ間違ひの少いものと見て可からう、要するに完全に掛賣の成績を收めようとするには一方に集金取立を巧みにすると共に、他方お客の信用や身元の調査を手輕に且つ完全に行ふ機關が必要になつて來る。

第九節 貸倒れの復活と本書

總て商店の事業は營利を目的とするもので、決して慈善事業ではないから、折角苦辛して商品を賣捌いても、其の代金が遂に回収出来ざれば、全く骨折損の疲勞儲けて、寧ろ最初から商賈など始めぬ方が得策と言はねばならない。從來、同業者の多くが、帳面に棒を引いて了つて、鬻斗を附けて奉納

した積りて居る貸倒れも、決して之れを活す事の不可能でない場合が幾らもある。既に斷念した掛代金が回収出来れば、それだけ無いものとして、商品を廉くすることも出来、廣告や裝飾や其の他に餘計費用を掛ける事が出来るから、従つて其の店にはお客が餘計來る。即ち商賈は繁昌することに成る然るに是れまで「商店繁榮策」とか「商策」とか種々名稱の類似した書籍は、澤山出版されて居るが、未だ息を引取つた死人を蘇生さする如き、貸倒れの復活を説いて、是れ懸て商賈繁昌の必須條件なる所以を斷言したものがない。本書は殊に掛賣が過半を占むる酒醬油業者の顧問たるの立場からして重きを此の貸倒れの復活に置いて編述したるもの、是れ他書と聊か其の面目を異にする所以にして若し夫れ本書の述ぶる所に依り、一人のお得意を殖し、壹圓の貸倒れを復活し得ば著者の望みは足ると言ふてよく、更に進んで十人百人、百圓千圓の利益を得るが如くんば、全く望外の幸福にして、兼て無上の光榮である。

第二章 商店經營術

爰に所謂商店なるもの、意義は、製造元、問屋、小賣商に論なく、苟くも商賈を營む場所は、凡て之れを網羅したもので、普通に考へられつゝある商店よりも廣義に解釋して貰はねばならない、蓋し以下各章に於て述べんとする所の目的が

決して單に小賣商とか、問屋とかに片寄つたものでなく、一般商人としての參考に供せんとするにあるからである。抑も商人として商店を經營するに當り、其の方法の宜きを得ると否とは、全く其の商賈をして繁昌せしむるか、衰退せしむるかの分水嶺であつて、商人の死活存亡は、繫つて此問題の解決如何に在ると言ふて差支ない。即ち一日に競争の激甚を加へ來らんとする商戰場裡に於て、常に他店を壓倒して優勝者の位置に立たんとするには、須く先づ其の經營術に熟達せねばならない。乞ふ。漸次説述する所に依り、各自實地の工夫をせられよ。

第一節 經營と設備

經營術を説くの順序として、先づ商店の設備より初むるを便宜とする、斷つて置くが、茲に述ぶるのは主として消費者直接の商賈、即ち小賣店に就て、醸造元や問屋等に對しては必要のある毎に時々説明を試みるに止めたのであるから、其の心算で讀んで貰ひ度い。

第一項 開店と位置の選擇

問屋にあつては、大抵其の營業場所の一定したもので、例へば酒店の新川、新堀、醬油商の小網町、木綿問屋の田所町と云ふ風に、從來の取引關係上、そこ以外の地に於て營業する事を不便とする場合が多いのであるが、小賣商になると

決してそう云ふ關係はない。尤も東京に於て古着商の柳原、日蔭町と云ふやうな特別なものがあるが、日用品の供給を目的とする商賣には、場所に依る影響と云ふものは、無論あるにはあるが、比較的尠いと言ふてよい。併し乍ら日本橋京橋の目抜き場所と、本所深川下谷の如き場末とを一緒に考へる事は出来ない。「町並の好過ぎて賣れぬ納豆哉」で、新に小賣商店を開かんとするものは、自分の資本と賣らんとする商品とに依り營業場所即ち商店の位置を定めねばならない。例へば小賣酒屋を創めるにしても、郊外の新開地と都會の場末とは、お客の種類も違へば、人氣も違ふし、従つて賣れ行く商品の種類も異なる。即ち場末では安くて量の多いもの、或は利きのよい焼酎泡盛濁酒が向き、新開地では稍々上品なものが適する如き是れである。

次に店の向きであるが、南向又は東向きの店は、日當りがよくて氣持がよい、そして店に何となく、活氣が漲ぎつて冬も暖かだ、而かも午後人出のある時分には、日蔭になるから店先も充分に開放することが出来る。だが西向きだの、北向きの店となると午後西陽の強いのが、店一杯に射し込むで、酒や醬油は腐敗し易い、又歩減りが非常に多い、其他の不利益や、損害が非常に莫大なものである。だから成べく之を避けたいがよい、もう一つ注意して置く事は、街の丁字路になつて居る所の突當りの店は、昔から繁昌しないと云ひ傳へて居る

出易く、買物し易い様に店構へを工夫しなければならぬ、彼の店は怎ふも這入り悪いと云ふ店を往々見受けるが、これは少しの注意を怠つたが爲めに、日常多大の損害をして居るのである。

這入り易くするには、第一に陳列窓を出来るだけ大きく拵へるに限る、陳列窓が無かつたり、又は小さかつたりして店の中から往來がよく見える様では随分と這入り悪いものだ、まして立止まつて陳列窓を見て居る客を、中からじろく見られる様な店構へては、客を追拂ふ様なものである。夫れから這入り悪い店として、特に注意しなければならぬのは、入口が階段になつて居ること、これは何となく見識振つて居る様にも見え、又客が這入るのに非常に臆がる、次に店番の居ないのや、入口に硝子戸のあるのもいけない、兎に角這入り易いと云ふ事を眼目にする以上出入する際客に面倒臭いと思はせる様では不可ない。夫れから用もない店員が店先と澤山居て、一度に多くの視線を客に投げつけるやうでは、これも又客に甚だ不快の念を懐かせる、是れ等は何れも禁物であるから、充分注意すべきである。

元來日本の商店は、間口全體を出入口にしてあつて、見た所頗る秩序ないのみならず、何となく這入り好くないのである。殊にお客を店頭、否殆んど戶外に立せて置いて、商ひをする如きは最も拙策であつて、お客の身に取つては買物は店内に

が、其理由は、今茲て説明する餘白がない。要するに南向きか東向きの角店なれば、お誂向きて、人の注意を惹き易く、且つ往來も頻繁だから誠に申分が無い。

然し往來の頻繁な地と云つても、客足の止まる地と、そうでない地とがあるから、其往來する客が怎麼客種であるか、何故態度に往來が賑かであるかを、充分に吟味しなければいけない。官吏職工等の定まつた時刻に往來する道筋は、其割に商賣に影響しないものである、其譯は、朝は急いで官署職場に行き、晩景も亦足を早めて歸るから物を買ふなどの心が比較的起らないからである。

第二項 商店と地理的關係

今茲て述べむとするのは地理的關係 例へば同じく郊外の新開地へ開店するにしても、其の周圍に於ける住民の數、又は交通機關や地形やの關係を考へて、其の土地の將來の運命を卜知するが如き、即ち土地高燥なる澁谷方面は、水場なる千住方面よりも、更に急速な進歩をなしつつあるが如きは、最も好適例であつて、同じく東京の新開地と言ふても、決して一樣でない要するに繁華な場所へ開店するなり、或は場末、新開地へ初めるなりするにしても、此の地理的關係又は地の利的關係を第一に研究して掛る必要がある。

第三項 商店外部の構造

多數の客を引付け様とするには、怎ふしても、這入り易く這入つてからしたいのが事實である、お客を店内に入れて商ひをするやうにすれば、お客の便利は此の上もないのである。常にお客の心理状態を研究しつゝある歐米の商人は、決して戶外で賣買をする露店式の店を作らない。猶ほ外國人の目に異様に映るは、酒屋の店頭で賣る兜酒であつて、お客に戶外で飲食させるのだから、先づ野蠻と見られても致方がないのである、決して氣取る譯ではないが、同じく兜酒を賣るにしても外國のビヤ、スタンドやバーの如く、通行の人に知らぬ所て賣つたならば、單に車夫や馬方階級のみをお客としなくても、更に種の好いお客を殖すことは容易だらうと思ふ。

第四項 美觀と實用の陳列窓

一方に廣くも四尺巾位の入口と、他方に同じ出口とがあつて、お客はだだ廣い間口の店へ飛込むよりも、斯う云ふ進退に聊かの凝滞もない組織に出來て居る所を、這入り易く且つ愉快を感ずるのである。九尺間口位の小店は別として、少しく大規模な商店ならば、是非共特別な客の出入口を設けるがよい。而して此の出入口を設けるに就て必要なのは陳列窓であつて、是れは店の外觀を美しくして、通行人を引付け、普く自店の商品を廣告すると共に、時として店内の光線取り窓ともなり、且つ之れが爲めにお客の最も便利とする出入口を作る事が出来るのだから全く重寶なものと言はねばなら

ない。

第五項 店内の設備と賣場

店は外觀も必要だが、より以上に店内の設備を整頓せねばならない、殊に賣場は其の店の中心をなすもの故、店から言へば最も大切な場所、以て其の商店の運命を左右すべく、且つ店員をして情氣を生ぜしめ、不正を働かしむるも、主として此の賣場の不完全に原因すると言ふて可い商店に於ける設備は全く此の賣場が主體であつて、他の總ての設備は皆從屬的であると言ふてよい。而して理想的の賣場と稱するのは第一に光線の工合の申分ない所であらねばならない。若し店の位置や構造の工合で、怎しても薄暗いのを免れぬ場所であつたなら、陳列窓の背景を取除き、或は二階の一部を犠牲にしても、是非とも此の賣場だけは明るくして置かねばならない。猶ほ天井の高さや色などにも、注意する必要がある。結局、遊びに来る客でなく、最初から買物に来るお客は、他に美しい陳列窓や、娯樂的設備などの有無に拘らず、其の店の賣場の設備が完備して、最も便利に愉快に買物の出来るのを望むものである。今其大體に就ての注意を擧げて見る。

■商品の配置をよくせよ

商品を配列するには、密接して取り並べ、空隙の無い様に、客に品物が幾重積みかさなつて居るか、分らない様しなければならぬ。然し物にもよるけれど、其並べ方でも、

幾分の變化、例へば横にしたら、今度は斜めにするとか、縦にするとか、幾分美術的にしないと、商品に見栄えがしない而して代價の安いものや、眼に付き易いもの、或は又需要の多い品は、なるべく客の眼に映り易く、畢竟客の來易く、買ひ易い様にしなければいけない。

■時々商品の位置を轉換せよ

同じ品物を長い間同所に置くと店の不景氣を示すばかりでなく、其品物は瑕疵でもありはしないかと思はれ易いばかりでなく、上積みの商品は自然褪色したり、疵物になり易いから、時々品物の位置を換へたり、上積と下積と入れ換へたりして、客の目を一新させ、商品が能く新陳代謝して、店の繁昌なることを自然に暗示させるのである。

■店を清潔にすること

商品は勿論のこと、店の内外は、毎に掃除して、塵埃の無い様に注意しなければならぬ。店先や、入り口等に藁切れ紙屑等の散亂して居るを、神経家の客などは、トットと他の店へ行つてしまふ。甚だ些細な事の様だが、是等は特に注意したがよい。

第二節 商用書簡文

直接人と人が向合ふての場合は、言葉や手付きや身振りなどで、充分用が辯ぜられるけれど、遠くへ離れた人に對し

ては、是非其手紙に依らねばならない。而して商費用に供する書簡は、大別して二種類とすることが出来る。即ち事務を辨ずるものと、商品の販賣を目的とするものとであつて、共に其の書き方の巧拙に依り、商賣の盛衰を卜する事の出来るほど、大切な關係を有するものだから、苟くも商賣の繁昌を期する上に於ては、必ず此の商用書簡文の研究を怠せにしてはならない。

第一項 書體、文體、様式、内容

原來書は人の精神を表すものだから、一字一劃と雖も忽せには出来ない。商業書簡文は正確の外に、迅速をも要するのだから、楷書は正確だが迅速を缺き、草書は迅速だが正確を缺く場合、即ち相手方をして誤讀せしむるやうの事があつて共に完全と云ふ譯にゆかないが、中で最も適當で、ペンで書いても、毛筆で書いても能く映り、比較的正確で迅速なのは行書體である。又、文體は最も口語體に近い候文が可い。之れを認めるに當つては、元より商人たるの謙讓の態度と、阿諛に陥らぬ世辭とが必要である。而して昔の候文のやうに無暗に「候」を用ひ、猶ほ漢文的の轉讀語、即ち可被成下候の如きは、成るべく廢すがよい。要するに商用文は、飽迄事柄が明瞭でなければならぬから、字體は勿論、文句は極く分り易く認め、書損や、挿字などを嚴禁し、且つ屢々用ゐられ

等の接續詞の用法を注意せねばならない。それから、其の様式に就て一言せんに、成るべく讀む人に輕快を感ぜしむるやうに注意しなければならぬ。一文中、事件の數種に互る場合は、一件毎に別行に認め、其の件名の次に本文を書く。即ち「御照會の御大典正宗の件」行を別にして、「右は目下弊店の御得意様中に於て多大なる高評を博し居候」と云ふやうに認めるのである。

第二項 記名、宛名、傍書、其他

書簡箋に印刷してあるものは別として、記名は、其の信書に對する責任者を明かにするもの故、住所、商店又は會社に於ける自己の位置等を明記し、宛名は、殊に字體を明瞭にし、用向さと、先方の職務上の位置、關係等に依り、敬語を異にする必要がある。即ち團體なら「御中」、團體中の一部責任者なら「殿」又は「様」とやうに區別する。傍書とは、「親展」「至急」の如きを謂ふのであるが、商用文にあつては、親展などは特別の用ある外書かぬ事、是れが爲に商機を失せる例少からず、又「至急」の如きも濫用せぬやう注意を要する。それから、追白、二伸等も商用文では成るべく用ゐぬ事、日附は、信書整理の必要以外、別に權利義務の發生、消滅の標準ともなり、後日の證據となるもの故、日附印を使用するなら兎も角、左もなくば必ず用紙には、面倒でも、手數でも、年月日を整然と細かに記さねばならない。番號は、日附と共に

整理上必要なものであつて、大抵の商店では、事件、宛名、地方等に構はず、或期間連続した番號に依るが便宜のやうである、別紙、例へば送り状、注文書、信用状の如きを同封する際、必ず用紙の末尾に其の個数を附し置き、以て後日の紛争を未然に防ぐがよい。

第三項 用紙、封筒、複寫、返信等

昔は、商用文でも凡て巻紙を用いたが、今日では大抵印刷した書簡箋を使ふやうになつた。甚だ結構なことであるが、中には廣告が主になつて居て、種々と諄々しい言を列べ立てたのや、滑稽に近いものもある。要は只、商號、住所、店名、電話番号、電信略號、振替口座などを刷り出した位に止め必要あらば一隅に店の寫眞位を印刷してもよい。それから、年月日と番號は是非必要であるが、「メモ」などに氣取つたのは面白くない、封筒も成るべく糊付きの好いのを選び、用紙は純白で、裏面の印刷も餘り諄からぬが好い。複寫は、書信發送に際し、他日の參考に保管する必要上、複寫器、炭酸紙、等に依り輕便に複寫し置くがよい。返信は、最も迅速を要する。是れ商人の義務のみならず、實に取引上の信用に大影響あるもの故、書信係は先づ以て上役又は責任者の意見を確め、決して勝手な處置をしてはならず、又責任者は來信一覽直ちに返事の要領を朱書にして、係へ廻す位の心掛が肝要である、保管、信書は商法の規定に依り十年間保管

せねばならない。即ち先づ保管すべきものと否らざるものとを區別し、之れを件別、地方別、人名別等にして、袋式に則り整理し、一定の期間保存するが便利である。

第四項 勸誘状と讀ませる呼吸

勸誘状は、普通の商用文ではないから、餘り輕薄でないお世辭も述べ、多少の費用を掛けても體裁を高尙にし、兎に角、之れを受取つた人に或る興味又は注意を惹起せしめ、讀んで愉快を感じ、愉快を感じて購買慾を起させるやうに、巧妙に認めねばならない。却々容易な業ではないが、之れは引札と違ひ郵税を要し、信書と同様目的の人の手に届くには届くが、右様の條件を具備せねば、届いた丈けて讀んで呉れぬから、引札よりも費用損となる譯、怎しても廣告文を起草すると同じやうの手段を盡さねばならない。一體先方では勸誘状が届いたとて、讀む義務もなければ必要もない。其のまゝ、肩籠へ投込むも全く勝手である。殊に多忙の人に對した場合は斯う云ふ運命に遭遇する機会が多い。そこを體裁や、文章やて知らず、識らず釣込んで讀ませやうと云ふには、凡てに熱心を盡し、叮嚀を盡し、巧妙を盡さねば駄目である。要するに先づ體裁の高尙で、兎に角人をして讀ませるまでに漕ぎ附けたとせば、後は文章の力で終りまで讀ませ、勸誘状と云ふ氣障な感を起させずに、知らず識らず勸誘されると云ふ工合にし、決して「是非お買求めを」などの文句は、之れを追

窮狀にこそ書くべけれ、勸誘状には書くべきでない。

第五項 追窮状と讀せる呼吸

追窮状は、一度照會して來た人を捉へ、遂にお客とする迄に出す手紙の事で、一體、商品に對し照會して來るやうの人は、多少共に買ふ氣のある人であるが、只通り一偏の挨拶をした丈けては、以て其の購買心を決定させる譯には行かない乃で、手を代へ品を變へて、種々に先方の購買慾を唆り、怎しても買はずに置かぬと云ふ、熱心と努力とを以て認め、先づ、一面の挨拶で何とか回答があれば兎も角、左もなければ、二回目は一層詳しく、而して左様に躊躇するに及ばぬ旨を、極く輕く、寧ろそれとなく仄めかす調子で書き、それでも尙ほ返事がなければ、己に半ば見合したものと見てよい、其の場合は其の決心を翻へさせる様な工合に認め、それでも梨の礫であつたら、以下は自分の想像を標準とし、猶ほ先方から返事の届くべき日数をも考へ、彌々來そうもないと見たら、次ぎから次ぎと、手心を用ひて書いて出す、書く文句も能く注意して、餘り五月蠅らず、輕佻浮華でなく、嫌味を持たずに、極く淡泊で、而も熱心を失はぬやうにせねばならぬ。

第六項 手紙發送前の注意

一、一度目を通した後に封をせよ
手紙を認めたつたら、必ず一度目を通して、誤字や脱字に

注意し、若し訂正數箇所に涉つて見苦しかつたら更に書き直すがよい。

二、返事が遅れた場合

返事は速かに出さねばならない事は前にも述べた通りであるが、若し止を得ず、時日を経過して發送する場合に方つては、先づ其手紙を再讀して、各項目毎に順次回答を附記した方がよい、さもないと順序が違つて居た爲めに先方では判斷に苦しむだり、肝要の事項を書落したりして、それが爲めに圖らぬ手數や損失を招く事がある。

三、手紙の目方に注意せよ

郵便で發送する場合、目方に少しでも疑問と思ふたる時は僅かの手數を惜まず、早速秤量をなし相當の切手を貼付しなければならぬ、郵税の不足倍額を先方へ支拂はさせるやうな事があつては當に迷惑を掛るばかりでなく、大に感情を害する事があるから、深く注意すべきことである。

四、手紙を認める時の心持に注意せよ

茲に最も注意を要することは、手紙を認める際の心理状態である、決して喜怒哀樂の情に驅られて精神が興奮して居る時は認むべきものでないと云ふことを忘れてはならぬ、精神の興奮したる時に認めたる手紙は直ちに其心理状態が文字や語句に現はれて、例へば腹立ち紛れに書いた手紙は無禮な言句が自然發し易く、又何か嬉しい事がある場合には洒落や滑

積なる文句が出て来るからである。斯様な事があると一度送つた手紙は再び還り来らざる故には是は謹しむべきことである。

第三節 商略と賣出

商人と商略、是れ須臾も離すべからざるもので、商略を離れて商賣なく、商人の働き即ち商略である。仕入をするも販賣をするも、支店を設けるも廣告をするも、渾て是れ商略ならざるはない。而して是れ皆同業者との競争の度に比例して、益々光輝を放ち来るものだが、茲に最も商人が鮮かな商畧を示すは他より挑まれた商戦に對する手段で、多くは割引賣出等の姿を以て現はれて来る。

第一項 注意すべき割引賣出

例へば他の同業者が、此方の得意を奪はうとする目的から一樽三圓の醬油を二圓七十錢（一割引）で賣出し、此方は二圓六十四錢（一割二分引）で提供する事としたならば、お客の慾念を満足する事は出来るに相違ないが、果して此の競争に堪へ得るや否、又、先方は如何なる魂膽で掛つたか、即ち最も周到なる注意と、綿密なる計算と、機敏なる探査とを遂げ、後で「彼が能く、恣意割引を斷行したと思つたら、道理、斯様な細工のしてある商品だもの」と云ふやうな馬鹿を見ぬやう、充分なる研究と成算とを立て、から掛らねばならない。迂濶に應戰して「勘定合ふて錢足らず」の運命に逢

ふた人が少くないし、又、割引賣出があるからとて、押掛けの慾一方のお客も、永久の得意として、餘り有難いものとは言はれない。賣出しの得失や時機や方法やに就ては、別に數十頁を費さねばならず、本書は其の餘裕を有たぬから、茲には極く簡畧に述ぶるに止める。

第二項 賣出の理由と其名稱

信用を重んずる店では、決してお客を胡麻化さない。近頃市中に能く「閉店歸國に付日茶々々大安賣」など、云ふ大看板の立て、あるを見受ける。それが事實なら止むを得ぬが多きは一時の客釣り手段に用ゐられるのだから情ない。お客を馬鹿扱ひする店の策を考へない。借て、今回自分の店て賣出しをやるは、何の爲めであるかと云ふ理由を正直に而も堂々と公表するのは、最も必要な條件であつて、其の次に之れに附ける名稱であるが、是れが亦非常にお客の注意を呼ぶに大切なもの、流石に商業國たる丈け米國の商人は、常に巧妙な方法で、巧妙な名稱を考へて居る。日本でも其の真似をして、シーソーセールだの、バーゲンデーだの、コンビネーション、セールだのと、西洋菓子見たやうな拗れた名稱を附けて居るが、之れをするには、前以て、お客を能く教育してからでなければならぬ。矢張純粹な國語の分り易いに如かず、例へばコンビネーションセールなど、言はずして、「組合せ大賣出し」と言ふ如きは是れてある。

第三項 大當り賣出の實例

内外商業家の腦漿を絞つた賣出の實例中、特に大當りに當つて、而して酒醬油商に最も當て符る如な方法を列舉しよう。イ時間賣出。例へば午前九時三十分から同三十五分の五分間酒（或は洋酒）の二割引、十時五十分から同五十五分まで、醬油（又は味噌）の幾割引と如にし、一日の裡に順々に此の方法で割引をやる。是は客足を引いて他の買物をさせる目的から米國で行はれるもの。ロ返金賣出。即ち二月八月の如な開散時、四週間ほどを賣出期間とし、先づお客の買物（現金で）する毎に、其の金額と日附を記した買物證と、外に投票用紙を一枚づつ渡し、一々お客に其の思つた日を投票させ、若し八月廿日が最高點であつたら、其の日を「返金日」と定めて、苟くも八月廿日の買物證を所持するものには、總て買物金額を返却すると云ふので、是れ亦米國で當つた例。ハ空堀買上賣出。或洋酒店で思ひ付いた奇抜な遣り方で、賣出し期間中にさへ持つて来れば、恣意古い堀でも十五錢宛で買ふと云ふのである。併し何か一つ買物をせねば之れが役に立たぬ、と云ふのは、現金で渡さずに、例へば一圓のウキスキー一堀を買ふに、空堀一本を持つて来ると八十五錢で賣る。それかと云ふて、三本空堀を持つて来て、四十五錢の割に引取るかと云ふにそうはしない。一つの買物に一本と定つて居るので、若し三本悉く十五錢宛に役立てようとするには、一圓

のウキスキーの外に、二十錢の鐘詰、五十錢のソリスなども買はねばならぬのである。此の外猶ほ（ニ）沈黙賣出。（ホ）紀念賣出。（ヘ）雨天賣出。（ト）慈善賣出。（チ）均一賣出。等種々あるが茲には省畧する。

第四節 切手と交換

酒醬油等の商品切手は、お客の方も、買ふに當つて、彼是と品物の選擇をする勞もなし、又、之れを贈物にすべく、携帶持参するにも頗る便利で、且つ贈られたものも、必要に応じて、現品を求め得られるから、甚だ重寶だし、商人の方も商品切手は皆現金で、而して商品を取付けられる迄の期間は全く無利子で其の金が使へるのだから、怎麼言ひ事はないのである。現に市内の酒問屋升本家では、既に拾數年以前から本支店共通切手を發賣したるに、最初の中は一ヶ月年僅々三四百圓に過ぎなかつたが、今日では一ヶ月二千圓以上ださうである、然るに中に不心得の商人になると、此の有難い切手のお客を虐待するのがある。間違つた話ではないか。

第一項 綺麗よりも權威

商品切手は、立派な有價證券と見てよい。容易に偽造や、變造が出来ては困る。先づ銀行の小切手のやうな體裁が適當で餘り濃飾したのや、凝り過ぎたのは、只奇麗と云ふ事は出来ても、尊敬の念が起らない。猶ほ注意すべきは、切手面記

截の事項も、單に必要な丈けに止め、決して廣告めいた事や引換の手續などを記したのはいくつか、殊に金額の外に分量を示したり、有効期限を表はしたりするは、甚だ思慮の足らぬ仕方と言はねばならない。

第二項 酒醬油商の切手

引換上の便利なら是非共、共通切手と連續切手とが今少しく流行して欲しい。然るに酒醬油類にあつては、此の理想が最も實現し易い、尤も現に共通切手は、已に行はれて居る所もあるが、本支店の間とか極く狭い間柄だけしか通らぬのだから、未だ便利とは言はれない。又、例へば茲に十圓の切手を贈られたとし、其の人は一升一圓の酒が欲しい場合、切手に依つて酒屋から一升酒を取つた時、丁度勸業債券の利札のやうに五十錢宛、或は一圓宛、切り取るやうな風にして置いたら、體裁もよし、至極便利であり、殊に酒類商に於て行はれ易く、且つ最も適當な方法であらうと思ふ。

第三項 便利なる切手交換所

切手交換所とは、字の如く商品切手の交換を爲し、賣買をする所で、便利な、而して將來充分發展すべき營業である。即ち上戸が菓子切手を貰つた。所が、些しも欲しくない。此の場合持つて行けば、交換所は相當の割引をして、引取つて呉れる。又、菓子の切手はあるが、先方が上戸だから、酒の切手を贈り度いと思ふ時、或は拾圓の切手を五つに分割して

贈り度い場合、交換所は、水引、紙、印紙代等の實費と、多少の手数料とを收めて、大きい切手の分割や、甲切手と乙切手との交換などもし、猶ほ或酒(醬油)店の切手が欲しいと思ふ場合、交換所へ行けば、元々何割か割引して買取つた切手があるから、直接其の店から、買ふよりも、多少安く買へると云ふ便宜もある、併し今日實際は、割引の率が少しく高過ぎるので、最と發展すべき事業が發展せずに居る。割引を澤山して買つて置けば、従つて賣る時に安く賣れるから、或はお客様の便宜だと言ふかも知らぬが、交換所は、買つて呉れる人よりも、賣つて呉れる人が大切である、例へばイ偏の鯉節山本の茶の切手が二割五分引と云ふ如き、賣る方では一寸考へる。中に商品に依りては一旦商品を取つて、之れを賣却した方が割がよいものもある。之れでは折角の便利機關も、充分利用することが出来ない。何とか改良したいものである。

第三章 顧客應接術

店飾りをして注目を惹き、廣告をして商品を知らせるも、共に間接に商賣をする事にはなれど、直接商品を買付けるのは、全く其の商品を取扱つて居る所の店員の手腕である。而して此の店員の手腕とは、お客を外らさぬ巧みな應接に外ならない。然らば如何にせば、能くお客を外らさず、最も多く商品販賣の成績を挙げ得べきか、それも、扱ひ悪い神經質

のお客、又、賣れ口の遠い商品などを、最も巧みに應接し、且つ賣扱す事が出来るか。實に是れ商賣繁昌策中の一重大問題と言はねばならない。以下之れに就て、少しく述べて見やう。

第一節 お客様の種類

十人十色で、其の顔の各々異なるが如く、其の性質が皆違つて居る、従つて一々應接に心を變へねばならない。誠に商賣たる難い哉の嘆聲も洩し度くなるが、併しそこに却つて研究上、實際上幾多の興味があるではないか。

第一項 研究上の標準客

先づ種々のお客の中で、最も應接上注意を要すべきは、彼の神經質の人間であつて、一度怒らせたり、嫌氣をさせたりすれば、永久其の店のお得意とする事の出来ないのみか、其の人は、其の店の事を世間に悪しざまに吹聴して歩く、店に取つては非常な、即ち二重三重の損害であるが、若し反對に其の人の氣に入り、又は信用を受ければ、飽迄も店の利益を保護して呉れる上得意となつて了ふ。では、ドウ云ふ人が神經質かと云ふに、一寸店へ初めて来た人を見て、判然それと目星の附くものでない。先づ、研究の便宜上、若い婦人客を以て標準にするがよからう。若い婦人客は随分何かを氣にし、且つ氣を配るもので、入口の戸の音、通路の水溜り、「入

つしや」との聲、店員の顔付き、其の衣服の塵、手の先、歩き方、商品に附いて居る塵埃、返事の遅い、言葉尻りの不明瞭なの、お世辭の好過ぎるの、威張つたやうな態度などを一々氣にする。即ち好個の神經質の標本と言ふて可い、猶ほ此の外に

第二項 憐むべきお客とは

何かと云ふに、即ち多いお客の中には、極く正直な、又極めて小心な性質なのがあつて、店員が『好い品物』だと言へば、譯もなく感心し、『是れはお爲めになりませぬ』と云へばア、そうかと断念める、謂はゞ店員から威壓を蒙つて其の言ふがまゝになるのである。是等は其の應接も洵に簡單なやうであつて、實は煩雜なのである、と云ふのは、其の感心や断念めやが、心底から出たのでなくて、一寸とした軽い心的作用故、絶えず店を迂路々々して、モツと深く感心し、ヨリ能く諦めようと悶えて居る。此の場合店員は先方の弱いのを奇貨として無理押付け等してはならない。氣永く親切に助言を與へて、遂に心から感心して買物をさせるやうにすべきである。

第三項 愛すべきお客とは

神經質なの、已惚れ強い、煽てに乗るのお客である。此種のお客は、店員の手腕次第、應接次第で、ドウにでもなる。最も利用し易い種類に屬し、お客は、亦店員を見る事全

く自分と對等であるから、若し間違つて之れを利用し損ふが最後、元來、其の性質の率直であり、神經的である所から、直ぐ喧嘩腰で喰つて掛らぬとも限らない、故に之れを利用するに當つても、大いに注意して、縱令、お客が自分達を對等に見て居ると云ふたとて、唯お客自身丈の、而も胸中に於ての考へに過ぎず、決して形に現しての事でないことを了解し、必ず其のお客に狎れたやうな態度は慎むべきである。即ち敬して居るに如くはない。従つて居るに如くはない。猶ほ茲に

第四項 恐るべきお客とは

何かと云ふに。即ち店員を殆んど人間視しないお客と、輕卒に物を信用して直ぐ何事にも好意を持つのとである。前者は、應接振りが氣に入らぬからとて、買ひ掛けた物を中止することもない代り、如何に愛嬌よく應接に努めて見た所で、満足らしい貌一つしない、實に張合ひのない事夥しく、買物をするに恰も預けて置いたものを、持つて行くかの如き態度である。故に餘りペコ／＼頭を下げるも控え、空世辭も抜きにして、店員は店員らしく、只丁寧な態度を失はぬやうにして應接して居ればそれでよい。併し乍ら此の種のお客は努力の如何に依り、將來店の爲めに案外頼母しいお得意となるのが、先づ通例であるから、大切にせねばならない。

第五項 理想のお客とは

せて呉れ」と云ふ淡白なの、「是れては逆も問題にならぬ」と急に廢めて了ふ小心なの等、人々の性質の異なるより、實に其の解釋は種々様々となる。蓋し生きた人間を相手にする應接の六ヶしい點で、従つて之れに使用すべき言葉や、挨拶の如きも、却々周到の注意が要る次第である。

第一項 先づ第一に誠意

百偏のお世辭も、千度の叩頭も、底に誠意が籠つて居なければ、却つて空々しく滑稽となるのみか、往々お客に嫌氣をさへせる虞れがある。例へば初めてのお客に「毎度有難う」も、習慣なればこそ別に不思議でなければ、理屈を言へば不條理だし、「おかみさん」と言ふべきを「奥さん」など、言ひ、「奥さん」なるべきを「御新造さん」や「おかみさん」と呼ぶもよくない。主人だから、奥様だから、下女だから、小供だからとて、其の挨拶語で現す敬意の度を二三にするも考へものである、要するに上つ／＼のする空世辭や、心にもない愛嬌は、其の愛想笑ひにも、下げた頭のドコかにも、輕率な態度が現はれて、何となく氣障な感じがする。忘れてならぬのはお客に對する誠意であつて、之れあるに於て初めて、其の世辭や愛嬌が生彩を帯びて來るのである。

第二項 説明には充分な智識

商品に就て上手に説明をするには、ドウしても胡魔化しては駄目である。全く其の産地は勿論、學術と普通の名稱、用

即ち敬すべきお客で、所謂ザツク、ハ、ハ、ハの性質を持つて居る。店員を店員らしく觀察して、店へ來れば直ぐ相談相手とし、相當の助言も求めれば、又氣付いた缺點は、之れをドシ／＼指摘する。是れ畢竟其の店を愛し、店員を愛するから従つて此の種のお客に對しては、見え透くやうな世辭、空笑ひなど一切無駄、それよりも、思つて居る事を腹藏なく打明けるに限る。少し位言ひ過ぎたとて、大した咎めを受けらるやうの事はない、兎に角、「是れだけの金で、是れ／＼の買物がしたい」と、何も彼も打明けて來るお客だから、全く取扱ひ好いので、猶ほ前述の種々の性質あるお客をして、此の理想のお客に化せしめるは相當の骨折りに違ひないが、最も必要なことであつて、而も決して絶望すべきではない。

第二節 應接と注意

お客に對する應接上、單に一つの言葉なれど、例へばワツトソンのオールドウキスキーを買はうと思ふ人に、和製の劣等品を見せて、「此の邊なら、大變御恰好で」などと、やつたとして、「成程」と感心する正直なもの、「フン、馬鹿にするな」と怒る神經質なもの、又「好い加減な間に合せを言ふ」と最初から、高を括る寛大なものもある。然るに之れと反對に、望めるよりも優等な品を示され、「ドウしても自分の人柄が好いからだ」と己惚れるの、「少し好過ぎるから、モツと下のを見

法、要素、さては酒なら燗の仕方から、手置きの方法などの微點までも、所謂痒い所に手の届く様に詳しく知つて居て、それを巧みに、決して知つてると云ふ如き態度を見せず、又議論に互らさず、若しお客が灘の産を東北の産だと誤解して、店員の説明に反對する事はあつても、長い物には巻かれて、必ず自説を飽主張するは能くない。後でお客の感情を害せぬ様な機會を發見して、徐ろに辯解すると云ふ如く、商ひの呼吸は凡て如才ない點に存する。要するに、商品を賣るに其の説明の標準とすべきは、「如何にして賣残り、又は賣遠い品未だ廣告のしない商品を賣るべきか」である。

第三項 永久の得意を作れ

商賣の原則としては、高い品をヨリ多く賣る事、お客の豫算を超過させる事にあるが、事實は決してそう單純でなく、折角餘計賣付けた努力が、或は一時的の成功で、永遠に失敗して居る例も少くない、即ち單に商品を多く賣付けるのみが商賣上手と言ひ得ない場合も多い。例へば「彼處の店へ行く」と遠餘計な買物をさせられるから」とて、二の足を踏むやうになつたら、既に失敗である、實用品を供給する酒醬油商には、多く起らぬ問題ながら、お客の精通しない。且つ贅澤品に屬する洋酒類には、或は時々起る現象ではあるまいか。殊に呉服商などにあつては、特に注意すべき重大事件とされて居る。要するに、眞に應接上手と言ふは、お客の性格を考へ

且つ其の都合をも察し、總て親切を專一にするが、懸て永久の得意を作る所以である。

第四項 素見客を利用せよ

素見客と云ふても、眞に買ふ氣で來ても、氣に入つた品のない爲め買はぬ者、他日の參考に見て置く者、見た上で買はうと考へてる者、唯何となく店に入る者、面白半分に見る者等、種々あつて決して一様でない、枯木も山の賑ひで、縱令、今日十錢の買物をせぬからとて、他日一圓の買物をするかも知れない。買ふのも買はぬのも、總てお客の都合に在る事で店に來た人は、一樣に皆大切なお客と言はねばならない。殊に買はずに歸るお客の心は、人情で、何となく肩身の狭いやうに考へる。之れをそう考へさせず、最も愉快に素見さしてやるが、文明流の商賣の仕方、且つ將來の得策となるのである。假りに今、素見客が歸らうとする場合、店員が挨拶をするものとしたら、決して言葉に意味があつてはならない。快よく店を出してやる工夫を考へ、而して『又何卒御來店を願ひます』を、最も婉曲に述べて、此の際引札など渡して歸すがよい、決して無理強ひをしたり、嫌な顔などしてはならない。婦人の素見客などは殊に注意すべきである。

第三節 應接と暗示

最近心理学の發達と共に、教育上感化上其の他に催眠術の

應用が、盛んになつて來た、而して歐米の商店では、今や眞面目に之れを顧客應接上に應用する工夫を研究するやうになつた。一體、此の暗示なる語は、催眠術を施す者が、施される者に與ふる感念の謂ひで、催眠術を施された者は、施した者の心のまゝとなつて了つて、妙齡の婦人でも、『貴嬢は犬になつたと云ふ暗示を與へられると、四ッ這ひになつて吠える冷たい火箸を握らせられて、『それは焼け火箸だ』と云へば、見る間に掌が爛れて了ふ。『立て』と言へば立ち、『座れ』と言へば座る。全く命令のまゝとなる。假りに店員が、お客に催眠術を施し得るものとせば、此の位都合のよい話はないが、今日のお客は、そんな間抜けは一人も居ない。

第一項 先づ信用を得よ

所が、實際に於て右の催眠術は、店員がお客に對して、施し得るものではないけれども、極めて低度の催眠術、即ち暗示丈けを與ふる事は決して六ヶしくない。抑も巧みにお客に暗示を與へて、催眠状態に誘ふ事は、自分の言ふ事を信ぜしめ少しも反抗心、疑惑心がなくなるから、商賣上非常な好都合で、店員の手腕が此の域迄進んで來れば、最早や成功と言ふて可い。

信用さへあれば、『良い酒』と言ふても疑はれず、『廉價油』と言ふても反抗心を起さない。暗示を與へんとするには先づ店員なり、其の店なりは、お客から信用を得ねばならぬ

優等清酒

親
日

五
本




元 造 釀
町 崎 島 縣 知 愛
郎 太 昇 瀨 間
二 山 号 齋
(ヤ)ハ又(ニマヤ) 畧 電 番 三 一 圓 話 電

大日本銘酒

標商 權有 標商 錄登



愛知縣知多郡小鈴谷

醸造元 盛田合資會社本店

電話小鈴谷一三番
東京一六六七六番

名古屋支店 名古屋市朝日町三丁目
電話五三三番三六番

大阪支店 大阪市西區北堀江町二丁目
電話西三九〇三番

東京支店 東京市本區町松原下ル
電話下二九八番

い、此の信用を基礎として、臨機應變の巧妙な應接振りを發揮し、お客をして「如何にも」との念を起させるが好い。併し、お客は決して催眠的に眠つて居るのでなく、覺めて居て理性や感情が働いて居るのだから、「只お買ひなさい」と言つても買ふものでなく、「未だ良い品もあらう」、「此の外廉いのもあらう」と迷つて居る。若し本當に催眠術に罹つて居るお客なら、「本品が一番好いのです」、「本品より廉いのはありません」と決定的に言切るもよからうが、茲ではそんなへまをやつてはならない。必ず「此の頃は皆様が大好き」と言つてお求めになります」とか、「誰様方でも徳用向だと仰せられます」とやうに、圓滑に突込んで行かねばならない。

第二項 注意を集中せしめよ

例へば或店で洋酒一瓶を求めんとするに際し、「他店のと比べて御覽なさいまし」と言ふ如きは、折角お客が自分の店の商店に對し、注意を集中して居るのを、態々散らさせるやうなもので、此の際お客は「それでは他店の方がよいのではなにか」など、突差に考へて了ふのが常である、最も拙劣な挨拶と云はねばならない。暗示を與へんとするには、先づ其の商品に就て、お客に注意を集中させねばならないが、右の挨拶では打ち壊しである。此の場合にはドウしても他に有力な證明法、例へば「本品は皆様非常な御評判で、昨今では地方からも大分注文があります、逆も市内丈で間に合ひませ

ぬ」とか、「イヤ先刻も外のお客様からお買ひを頂きました」とか、最も確かな人間を引合に出すがよい。お客が初めて「成程左様かも知らぬ」と、疑念、反抗心を晴すやうにするは、是れが最も効果あるとして可い。

第三項 機先を制せよ

既に起つた疑念を解き、反抗心を抑ふる事も、暗示を與ふる上に必要ではあれど、同時に之れを未然に防ぐのも、更に肝要である。例へば機先を制してお客の決定を確める如き、即ちお客が見捨て、他店に行きそうなる氣配を見たら、「彼店に御出店になつて御覽なさいまし、中々良い品も澤山あります」と出られて、お客は「そうか」と出て行く氣にはなれない。案外な挨拶に毒氣を抜かれて、却つて他店行きを見合せる。又、價切りそうだと見たらば、「貴方様のやうに能くお解りの方には、最初から本當の價段を申上げた方がよろしく、お價切りになるお客様は、直ぐ解りますから」など、先廻りをした了ふ。併し意味などを含ませてはならない。それから、お客に商品を見せての挨拶に、「此の邊では如何でせう」位では薄弱である。是非「孰れに致しませう」と、兎に角、お客が買ふ事だけは、決定して居ると言はぬ許りにやれば、決して迷ひを生ずるのが少い。従つて暗示も容易に與へられるけれども、無理に買はせるやうの語調があつてはよくない。「白酒ばかりでは、何うせベルモットやラズベリなども

御入用で御座いませう」と出られて、遂初手は白酒ばかりの積りが、他の品まで買はせられて了ふ、而も少しの不快感を感じない。是等を巧みな暗示と言ふて可い。

要するに應接上暗示を興ふるは、最も有効なことであつてそれには既に起つた疑念を解き、反抗心を抑へ、且つ常に機先を制し、他に注意の散らぬやうにし、時々必要に応じて適當の證明などせねばならぬ。

第四章 裝飾廣告術

廣告は、産業競争の進化で、其の進化から胚胎したもののが廣告術であるが、所謂、廣告術なるもの、意義には、碎いて言ふと、裝飾窓の裝飾の仕方、新聞雜誌掲示、ビラ其の他の廣告機關に對する、廣告文句と意匠などは勿論、時機を捉ふる事、場所や機關を選定する事を含み、畢竟、如何にせば能く廣告能率をして増進せしむべきか、怎したら費用少くして効果の多くあるやうになるかを、主眼として研究すべき一つの技術であると言ふて可い。

所で、廣告は淺く廣うすべきか、狭く深くすべきかと云ふに、好いのは無論、深く且つ廣くにあるのだが、廣告は只は出來ない。一方には非常な費用が要るし、又、商品の性質に依つては、必ずしも之れを必要とせず、深淺廣狭の孰れか一方を探るの優る場合もある。例へば酒醬油の如き日用品にあつては、

つては、淺く廣くを適當とし、贅澤品で且つ競争の激しいものは、怎しても深く狭くしなければならぬ。又、同じく新聞雜誌でも効果のあるのと、ないのとがあり、料金のみ高くても、讀者の種類に依り、其の廣告せんとする商品の向かぬのがあるから、實際に當り各自に工夫を凝らす必要がある。

第一節 スローガン

スローガンは、元來サクソン語から來たもので、鯨波とか吶喊とか云ふ意味で、或る目的に向つて追窮し、之れに全力を注ぐやうな場合に用ゐられる獎勵辭と言ふべく、今日早稲田や慶應やて、野球の應援歌としてスローガンを最も能く應用して居る。即ち繰り返して繰り返して、緩より急に、急より切に、段々と調子を強め、最後の瞬間に其の目的を達せずには置かねと云ふ概を示す。之れを廣告文に應用するのは、讀む人をして其の廣告文を永く記憶せしむるに、最も有力なものである。

第一項 スローガンと惹句

廣告文は、型に嵌つた美文を歓迎しない。スローガンも單に平易で、句調好く、人に反覆に誦せしめ得るのを主眼とし俗悪は勿論よくないが、面倒な語源などの穿鑿は二の次として、普通に惹句(警句とも標題とも譯すべきだが假りに此の譯字を充つ)を選むと同じ考へて、之れを選むがよい。併

し。惹句は只讀者の目を惹き、感興を起し易きを貴ぶから、最も刺戟的な文句を必要とするが、スローガンは反覆誦唱される間に、自然に其の働さを現すのだから、最初から直ぐ人の目を惹かずとも、將た感興を起さずともよい。刺戟的な文句よりも、感化的なのがよい、奇警な文句よりも、調子の好いのが優つて居る。而もスローガンは、是非其の店名なり品名なりを現す必要がある。是れ惹句と似て非なる點と云ふべきである。要するに、文字で綴つた商標とも見られるスローガンは、簡單に、明瞭に、適切に、讀んで句調好く、忌味のなると云ふのてなければならぬ。

第二項 スローガンの注意

幾ら廣告にスローガンが新奇で、効果が多いとて、之れを濫用するは考へ物である、此の特長として、何偏も同じ文句を繰返す裡に、自然人の記憶を確かにして行くのだから、辭句や句調は、小供に物を教える様なのが好い。而して知識階級の人よりも、感情階級、即ち婦女子や子供などに對し、利き目があるのだから、其の心算で應用し、且つ反覆する回数が多いほど、果進的に効果が現はれて來るもの故、苟くも機會のある毎に何にでも應用するがよい。即ち一度好い文句を得たらば、單に字體の大小に依り、目先を變へる位にして、永くそれを廣告に使ふがよい。若し繼續的にやるやうなら、寧ろ毎度變化のある惹句の方が利益である。

第三項 巧みなスローガン

スローガンと云ふ言葉こそ新しけれ、我が國でも大分古くから應用されて居た。例へば「池田は劍菱七ツ梅」と云ふのは、酒屋の廣告に應用されたスローガンの最も古いもので、文化文政頃盛んに人口に膾炙されたものである、併し、當時は廣告の機關として、元より新聞雜誌も窓飾りもポスターもなかつた頃故、直接流行歌として誦はしたものである。序だから此の俗語全體を紹介する。即ち所謂「尻取り」と稱するもので、「池田は劍菱七ツ梅」梅松櫻は菅原で、蕪で東ねた投げ島田、島田金谷は川の合」とやうに誦つたものである、今日ではコンナ長たらしい文句を廣告にする事も出來まいが當時にあつては全く適切な、而して最も成功した方法と言ふべきである。今日では、「山なれば富士白酒なれば豊島屋」だの「顔もホンノリ櫻正宗」だの、「酒は上野野野は下谷」上野廣小路の某酒店の例)などが、酒類商として應用したスローガンの巧妙なものであらう。

第二節 廣告の文句

直接お客に對しての應接には、相手の目付き、貌付き、口付き、などを見聞して、自由に勧誘したり、忠告したりすることも出来るから、難しいと言ふても始末がよい、所が、廣告となると、漠として捉へ所がないだけ、厄介な點がある。

多くの讀者をして、餘計注目せしめ、延いて購買心を起さしめるやうにするには、實に大なる努力が要る、苦心が要る。而して最も努力を要すべきは、何よりも廣告の文句である。廣告の死活は文句の巧拙である。

第一項 惹句の驚くべき力

ヘッドライン又はキャッチフレーズは、惹句警句及び標題等と譯すべき事は前述したが、普通に「見出し」と言ふ事、之れは廣告の本文と相俟つて、其の骨子生命となるべきもの他の意匠や活字の配列や場面等は、必ずしも目的ではなくて附である。手段である。若し他の從屬的條件のみ完備して、幸ひ讀者の目を惹き付けても、見出しの力が、内容を説明し得るものでなかつたならば、讀者の日は外方へ逸れて了ふ。茲が難しい點で、之れを作るには、丁度記事の見出しのやうに、一見して其の内容を説明して居らねばならず、即ち廣告全體の縮圖で、意匠や本文とも能く聯絡を保ち、平凡に失せず、奇抜に過ぎず、能く真面目の裡に滑稽趣味などを含み、一目能く人の心を奪ふ底の所謂花も實もある名文句でなければならぬ。

第二項 惹句と種々の語調

先づ命令と歎願の語調、即ち「酒は〇〇を御求めあれ」と、「醬油は〇〇の御求めを乞ふ」との二様式がある。緒論にも述べた通り、人間は理性の動物でなくて、暗示的に動くもの

第三項 至難な廣告文起草

意匠や惹句やが、如何に巧妙でも、直接購買心を喚ぶ力はない。それは内容、即ち廣告文に至つて、初めて購買を促し得るのである。蓋し廣告文起草の至難な點である。乃で、廣告文は、權威あり、信條あり、活氣ありて、徒らに揉み手的

追従、米搗磨的叩頭などで、廣告文が纏ると思ふは大間違ひ恠なる卑屈な態度は、進歩した商人に禁物なると共に、廣告文も是れでは物にならない。米國廣告學校で初學者に教ゆる注意書に曰く、「廣告文は、絶対に眞實を語らねばならぬ。事實其の儘を提供し得ぬ様な文字は慎むべきである。威力で脅したり、誇張で瞞したり、滑稽で茶化したり、するやうの眞似は極めて宜くない。只ありの儘をさへ告白すれば可い、公衆をして其の廣告文を信用せしむる事は、非常に肝要で、而も其の文句は、飽迄も平易に、「讀者のあらゆる階級に了解せしむべきである」と、併し、砂を噛むやうな無味な文句では、幾ら正直な告白でも、人が第一注意して讀みぬから、其の目的を達する事が出来ない。於茲乎、興味を惹く爲めに、多少の潤色も施し、好奇心も利用し、理屈を避けた立證も取り、讀んで面白く、成程と感心し、買ふ氣を起させるのが、廣告文の上乗である。

第三節 揭示的廣告

歐米で所謂ポスターは、吾々が能く見る浴場、床場、劇場、寄席、バー、料理店、汽車汽船内及び其の待合室、旅館等、主として室内に於ける「下げビラ」、電柱、鐵道沿線、屋上、山上、店頭、裝飾窓、電車等に於ける揭示的廣告を稱するので、要件としては人通りの激しい、最も目に附く場所、

人の落着いて能く見られる場所などを選び、意匠は奇抜で而も平易なのを求め、一目能く廣告全體の意味の分るやうに心掛を要する。緻密な繪畫や、諄い文句は絶対によくない。人目を惹く滑稽趣味もよい。意匠は兎に角目立つ力さへあればよく、後は文句の力で仕事をする。

第一項 酒醬油のポスター

醬油は家庭的の商品故、電車内、電柱、浴場、女髪結床等で範圍も廣くないが、酒になると家庭向き以外、旅行にも遊山にも使用されるものだから、あらゆる場所を利用する事が出来る。而して今日までに作られて居る酒のポスターには中々優等なものがある、又、實際に於て意匠も好いのが得られる。中に好いと記憶して居るのは、漆喰細工の圓形の掛額で、ワイシャツ一枚に、盃を手にして、陶然たる老酒客の半身像である。これは櫻正宗であるが、意味がなくて好かつた。又有り觸れの嫌ひはあるが、人氣力士と酒樽とを配した意匠もよい。藝妓や雛妓の美形を以て、人目を惹くやうにしたのは、其の絢爛たる彩色と人物の表情などで、兎に角注目惹くけれども、雄大などの感はない、男性的でないのは有難くない。

第二項 客の趣味と時機

決して單にポスターにのみ限つた譯ではないが、廣告の

意匠や文句には、巧みに客の趣味を利用し、且つ其の時々の時機を捉ふるの用意を欠いてはならない。酒の廣告を巧みに書かうと云ふには、怎しても上戸でなければ旨く行かない自分が酒に興味を有つて居れば、自然酒呑み全般に共通する趣味も分るし、其の心理的狀態も分つて居るから、應接するにも熱心と實力とが籠り、廣告にも酒呑みを動す考案が浮ぶ。それから、御大典とか、外國貴賓の來朝だとか、或る特別な時々の出来事を捉へて、巧みに廣告に利用するも必要である。又言ふまでもなく、特別の商品の特別に賣れる時機を旨く利用せねばならない。即ち三月前の白酒、正月前の味淋其の他細かく觀察すれば幾らもある。要するに客の趣味を利用し、時機を逸さぬ用意は、廣告上の一大活機と言ふてよ。

第四節 引札と型録

飲食店小賣酒屋などにあつては、引札は廣告として一番利目がある。所が、今日普通に行はれて居る體裁、配り方、活用の程度、即ち新聞の端でも引つ切つたやうな引札、之れを無責任な人夫などが、門口から無暗に投げ込み、辻に立つて誰彼の差別なく手渡す配り方では、受取つた者は恐らく見向きもせず、其の儘捨て、了ふか、涕でも擦かど落である。更に考案せねばならない。

型録は所謂營業案内、商品目録とも譯すべきもので、或る商人間では、此のカタログさへあれば、別に引札の必要はないとやうに考へて居るらしいが、決してそうでない。例へば和洋酒飲食料、品、清凉飲料、水、醬油、味噌等の總營業案内を、最初にお客に送つて置き、後から時期を見ては、其の内特種の商品即ち白酒とか味淋とか丈けを選み、之れを引札にして再送したとせば如何であらう、其の効果は必ずや著大なるのみならず、實に最初に送つたカタログは、後の引札に依つて初めて活かされたと言ふて可い。要するに、カタログが新聞ならば、引札は其の號外と見て可く、兩々相俟つて其の用を完するるのである。

第一項 引札有効利用法

如何に勞力と金錢とを費さぬ引札だからとて、人に見て貰ふべき目的で調製し、配布したものが、鼻紙や紙屑籠の運命に逢ふたのでは、全く骨折損で、最初から之れをやらぬ方が増してある。それは怎したら斯う云ふ無駄がないか、先づ活字で「各位」とか「上様」とかを廢し、全文書簡體にして、宛名は一々之れを書し、立派に信書として通るやうにすべく、而して文字は、主人自ら版下を書いて木版なり、或は石版なりに印刷し、稱ほ字體は美事に、文章は垢抜けして居れば、之れを手にしたものは必ず先づ讀み、次いで再讀三讀し、或は買ふ氣のなかつたものも、「一つ買つて見ようか」な

どの欲望を起させる。次ぎは配布方であるが、宛名式のものには郵便に托するを便とする。又撒布式のものにあつても、踏跟人夫などは考へ物で、思ひ切つて立派なフロック出立の紳士とか、盛裝の美婦人とかを利用せば、屹度人の注目を惹かすと思ふ。

第二項 引札で當てた實例

是れは其の意匠で成功したのであるが、即ち引札全體を極彩色のバック畫にし、片隅に小さく酒類醬油の廣告をしたもの。之れを配られた家の子供は、大勢一枚の引札を奪ひ合ふ騒ぎに、遂ひ大人が釣込まれて見ると、酒屋の廣告と云ふやうな、餘程思ひ切つた奇抜な行き方であつた。次ぎは敬語で活かした例、即ち某商店では從來引札に「各位」とか、「上様」など、縁遠い語を使用して居るのを改めて、「あなた」だの、「あなた方」だのと、特別な親しみ強い語を用いた結果、反動が餘程多かつたとの事。此の外種々成功した實例も澤山あるが、要するに、今日は何事も競争の世の中故、一枚の引札を配るにも、眞面目に研究して如何にせば、効果を擧ぐべきかを、實際に當つて工夫せねばならない。

第三項 型録の表装と内容

覺醒した商人は、近來、競つて此の型録を利用するやうになり、従つて其の體裁なども、殆んど間然する處ないやうになつた。けれども、孰れも内部の案内的記事が、少々親切を

缺いて居る嫌ひがある。一體、型録の表装は窓飾りて、内容は店内の設備である。先づ店頭の外で大いに景氣を見せ、店内に導いて更に設備の完全に感心せしむる遣方であらねばならない。而して意匠は餘り凝り過ぎたのよりも、俗受けのするのがよい。尙、内容の案内記事の編輯に就ても、苟くもお客の注文に當つて参考となるべき事柄は、細大洩さず網羅し、例へば送金方の注意、品切れの場合の注意の如き、判り切つた事までも載せ、記事は齒切れの好い、如才のない書き方で、讀者をして快感を與へ得るものでなければならぬ。

第五節 窓裝飾法

前の商店經營術中に述べたが、將來商店の構造は、總て歐米式即ち特別な客の出入口を設け、兎に角一度は店内に入つて、買物をするやうになるは明かして、其の結果競うて飾窓を設ける事となる。實際、お客の感興や注目を惹き、出入に便せしむるには最も有効な方法で、而も飾窓は一種偉大な廣告力を備へ、其の構造と裝飾とに巧妙を極めたならば、商賣の機關として非常な働きをする。

第一項 裝飾窓の構造と地位

裝飾窓は、其の構造も位置も共に道路からの見付きを第一に、店内光線の工合、其の廣狹の關係などに依り、自ら其の

構造も位置も定るものだが、要するに、其の家屋との釣合ひを考へて、高さや大きさや深さやなども加減し、又出入口の廣狹等に依り、窓の個數に依りても、亦自然制限される。尙其の位置は道路との關係即ち角店と普通の店、而して角店の角を潰した場合等に依り、種々工夫を運さねばならぬが、窓の前に一列位人が立つても、別に道路妨害にならず、又、其の形狀なども、體裁好く、見付き好く、自然お客を店内に誘致するやうなのが理想的である。それから、窓の奥行の淺いのを深く見せるには、鏡若しくは背景に依つて活かすとか大きさ、高さなども、裝飾材料に依り、或る程度まで伸縮自在であるから、自由に活用するとか、兎に角實地に當つて工夫すべき事柄が多い。

第二項 裝飾に就ての注意

裝飾と大關係ある種々の設備中、最も注意すべきは窓硝子で、勿論一枚硝子の精良なのがよく、苟くも摺り傷、斑點、氣泡、木框があつては、透して見る裝飾窓の硝子故、能く注意を要し、且つ下らぬ文字など書き立つる愚を爲さず、止むを得ずば金文字で店名位を現し、以て大いに美觀を助け、尙ほ、夜間の光線は瓦斯よりも電燈の正しきを取り、凹面鏡などを使用して、照り返しなどを濫りにやらぬやうにし、裝飾窓の生命とも謂ふべき背景の意匠は、専門家の技術を俟ち裝飾用器具の如きも、其の使用に當つては、斯術の進歩せる

今日、電氣應用で商品を回轉せしめ、前後腹背を自由に見せるなどの仕掛けもあり、少しく考へれば、如何様にも巧妙に裝飾することが出来るけれど、要は餘り珍奇に過ぎて、見る人の目が背景や仕掛けやに奪はれ、肝要な商品に注意が向かぬやうでは何にもならない。又商店に依り主として商品をして裝飾する場合は、是非商品の傍に定價を附して置く必要がある。尙商品の説明札は、其の文句も、字體も、様式も前に廣告文の所に述べたやうな注意を要する。其の他天井や裝飾鏡や日除けや、等も夫々注意を要するが、問題は結局「如何にせば美觀を増すべきか」にある。

第五章 店員操縦術

店員は、例へば機械の如きもの、而して店主は之れを運轉する所の技師である。熟練な技師は、同じ機械を運轉するにしても、燃料を冗費せず、機械を損せず、而も其の工程は成績優良なるを常とする。店主が店員を使用するも其の通り、多くの店員をして、心から悦服し、業務に熱心、忠實ならしむるには、怎しても一つの技術が要る。是れ本章を特に設けた所以であつて、云ふまでもなく、店員操縦の宜きを得ると否とは、自己商賣の榮枯盛衰に關するや多大で、若し店員に所謂奉公人根性なく、熱誠事に當るならば、第一買物する客も快く、店にも何となく活氣あり、且つ陰陽がなければ、時

間や消耗品を無駄に空費されることなく、目に見えぬ利益は幾らあるか分らない。此の利益を以て商品を安く賣り、廣告裝飾其の他にそれだけ多くの費用を掛ければ、益々商賣繁昌の基ではないか。

第一節 採用と注意

能く運轉して損せず、多大の成績を擧ぐる機械は、之れを所有する工場は幸福であるが、是れは購入するに際して、完全無缺の出来の良いのを得たからである。店員も亦眞に店主の手足となり、商賣の機械となりて、能く働かしめ得べきものは、其の性質からして既に完全なものでなければならぬ。即ち養成したなら屹度モノになるべき見込みのあるものを得るのが肝要である。而して其の性質の完全か否かを選擇するは、之れが採用の際に限るのであつて、此の際に若し其の選擇を誤るやうの事があつたら、或は將來取返しの際に附かぬことが出来るかも知れない。今採用に際しての注意を擧げると、

第一項 同商賣無經驗者

店員として採用すべき適當の時期は、義務教育を終へた許りで、未だ其の商賣に經驗のない者、即ち酒屋なら未だ曾つて酒屋の商賣を知らない少年がよい。之れを充分仕込めば、必ず店員としての適材を得るに違ひない。之れを店員子飼法と稱し我邦では昔から此の方法に依つて居たのだが、米國の

實業界でも近頃では、之れを店員養成法の唯一秘訣とされるやうになつた。

第二項 自筆履歴書の必要

是れは子飼にすべき年小僧の場合よりも、寧ろ手代とか得意廻りとか、中途で雇入れる中僧の場合に、多く用うべき方法であるが、履歴書は、必ず自筆を以て書いたものでなければいけない。人の性情は、書に現れるもので、其筆蹟に依りて、筆者の性質、即ち敏捷か、遲鈍か、粗暴か、緻密か、未だ本人を見ぬうちから、略々見當の附くもの、殊に文章の綴り方で、學問や思想の程度も分り、文句の配置に依りて、其の人の頭腦の組織的か怎だか推測される。

第三項 履歴書は怎う書くか

未知未見の人の事だから、果して自店の店員たるべき資格があるか怎かは、未だ判らない。只客々見當を附ける爲めに本人自筆の履歴書を徴するのであるが、之れに書くべき事柄は最も詳しいものほど好い。年齢、原籍、現住所、家族の數、家業、今の身分、手當の希望額、此の商賣に従事しようと思立つた動機（自分の家の商賣と同じだから、自分が好きだから、知人が此の商賣で出世したからとか云ふ如き）、極く幼少の時の經歷、又若し從來本人が他の同業者の店、或は同業ならぬ他の店に居て、暇を取つて来る場合には、其原因、先づ右の如き項目を設けて、一々明瞭に記入せしめねばならぬ

50
第四項 應對試驗と目見え

履歴書は第一の試験で、應對試驗は第二の試験である。即ち第一試験を通過した者に對し、店主から面會日を通知してやるのだが、其の日に來ぬやうなのは、先づ無資格者と見做して可い。面會應對をするには店か應接間で爲し、最も自分の氣の落着いて居る時を選むがよい、感情等に支配されて見誤りをする愛ひがないからである。而して餘り突差に採用して了ふのはよくない。若し好さそうなと思つたら、臨時雇員即ちお目見得なる名義の下に、商賣に従事させ其の間に態度や容貌や、兎に角一片の應對付けて觀察する事の出來なかつた真相、即ち役に立つやうな人間は、中々猫を被る事が上手で、假令、目下其の店に採用される資格のない境遇に居るものでも、馬脚を包んで居て一寸分らないのもあるから、徐々に之等の事情を調査し、且つ實際の技能、殊に將々の爲めになるべき人物か怎だかをも、研究せんとする方法であるが誠に店主にも店員にも都合の好い制度と言はねばならない。何となれば眞に誠意を以て従事せんとする店員の爲には、玉石を混淆される愛ひを免れるからである。

第五項 情實採用の得失

是れ封建制度の遺習とも見る事が出来る。即ち親戚や知己又は夫等の人の紹介した者などを、先廻しに採用し、殊に

永動した店員の子孫などは殆んど義務的に採用して、相當の地位を與へて遣ると云ふのが、我が商業界に於ける大店向きの習慣になつて居るやうだが、其の特長とすべきは、善意に解釋すると、親戚たり知己たり恩主たるの關係上、他の店員に範を示すやうにせねばならぬと云ふ、自覺を起させることである、又缺點とすべきは、情實の纏綿せる結果、當人の能力も見ず、且つ使役監督するにも、情實が附いて廻り、少々不都合があつても、充分制裁を加へることが出來ないと云ふにある。是れは實際の事情を參酌して決するより外仕方がない。

要するに店員を採用するに當つては、直ぐ間に合はずとも成るべく無垢な少年を撰擇し、之れを養成して店主同様の技能や商賣の仕振り、等を、會得するやうに、少くとも五六年面倒を見る積りで掛らねばならない。中年者、殊に一二軒他店を渡つて來た者に、實際上怎も成績が面白くなく、拐帶、使込み等も重もに此の連中に多いのであるから、若し事情が許すなら、純然たる子飼法を取るがよい。止むを得ない場合は、前項の注意をなして採用することを忘れてはならない。

第二節 店員の監督

店員と云へば大抵は皆血氣の若い者である。誘惑があれば潮れもしよう。年頃ともなれば店主の目を偷んで惡所に通ふ

事もあらう。兎に角、是れ等の未だ完全に思想の固らぬ、青少年を役する店主は、嚴重に之れを取締る必要と、義務とがある、決して信用し得るからとて放任して置いてはならぬ。

第一項 店主自らが模範

世の青少年は凡て自分達の尊敬する人、長上の人の一舉一動に模倣する傾きがあるものだから、店員の指導者たり、教育者たる其の店主は、嚴格の上にも嚴格、善良の上にも善良でなければならぬ。若し反對に素行が常に修らぬやうであつたら、其の店の店員は凡て不品行なヤクザ者ばかりとなつて了ふ。「勇將の下に弱卒なし」とは正に此等を云ふのである。

第二項 掛取にやる場合

大抵な商店では掛取りをする。殊に日用品たる酒、醬油、味噌の如きは、普通帳に依つてお得意と取引する。即ち十四日とか晦日とか、盆とか暮とかには、此の掛を取りに行かねばならない。此の場合は大抵店主自ら行くのでなくて、店員を集めさせるのが普通であるけれど、非常に多額な金高などの場合には、餘程考へねばならない。例の血氣盛りの青少年故、持ち付けの大金でも手にすれば、不圖氣が變ると云ふやうな實例は、裁判所の法廷に行くに幾らも聞かれる。罪は一時的出來心故、輕いやうに思ふは素人考へて、刑法では之れ

を業務横領罪と稱し、一ヶ年以上の重罪とされて居るのである。處刑された、持逃げ店員の罪は憎むべく、元より自業自得と云ひ得ようが、店主が監督不行届きの責は、到底免れな

第三項 外廻りをさせる場合

都會の附近には電話があり、又郵便もあつて、お客から申込まれると、店員に商品を持せてやると云ふ風が、近頃の流行になつて居る。此の場合にも餘程監督を嚴重にしないと、性質の好くない店員は、お客から代金を受取つても「未だ商品は預けてあつて、代金は受取りませぬ」などと、虚言をつき、一時其の金を融通し、更に次のお客が、買物するのを待つて其の穴埋をするのであるが、更に圖々しいのになると、お客に見せに行く體を装つて、他へ質入れするのさへある。是れも詐偽とか横領とか文書偽造とか云ふ罪名の下に、監獄にやられるべき行爲である。而も店主に取りては、斯う云ふ店員がある爲めに、單に物質上の損害のみならず、店の暖簾にも觸ると云ふ、二重の損失を負はされるのである。此の場合には商品を持つて行く店員と、代金を受取る店員とを別々にするがよいと思ふ。

第四項 帳簿と現金との分離

帳尻が割れてお拂箱になるのは、簿記方と出納りとを兼て

居るからあれを削り、これを殖し、此方を除き、彼方を加へる等、筆の先で自由に瞞着せる結果に外ならない。大商店は別だが、小店では普通之れを兼務にしてある、是非とも改良して各別々に擔當させるやうにするがよい。此の不正帳尻は法律では文書偽造と云ふて輕からぬ犯罪とされて居る。序だから最う一つ警告して置き度いのは、投機市場に近寄りしめぬことと人は元より利慾の強いもの、左のみ無分別でもない人が、運試しと云ふ冒險から一寸手を出し當れば缺點も出さずには濟まうが、一朝外れたら最後、取り返さうとして、遂に店の金に手を附けたりし、全く取返しに附かぬ事を仕出來す。店では斯う云ふ話もさせぬやうにするがよい。

第五項 時間と消耗品の浪費

時は金である。最も經濟的に利用し、亦店員をしても陰陽なく、即ち時間を無駄に費させまいと思へば先づ營業時間其の他を齊然と正確に規律正しくせねばならない。それから不心得の店員になると、店主の目を竊んで時間を空費するのみでなく。又實に消耗品の浪費をやることも多くある。近い例がお客の爲めに設けてある暖爐でも、お客の來ない時にメトルを加減するとか、或は瓦斯燈ならば、睡眠する際には早く消すとかすれば、店の經濟は却々妙からぬ影響を受けるものであるが、態々手数を掛けて寒い思ひをしたり、暗い思ひをするよりも、店主から注意のあるまで、其の儘にして置い

た方が徳だ。と云ふやうな、最も奉公人根性を發揮したのがある、是等の弊風を一掃するには、店員監督の宜きを得ねばならぬは無論であるが、尙ほ一方に獎勵法を設け、且つ能く教育訓練して「浪費は全く造物主の損失」なる理由を、心から覺らせるやうにするがよい。

第六項 不正になり易い倉番

酒店でも醬油商でも、凡そ倉番なるものは、最も不正を働か易い地位にあるのだから、之れが選任に當つては勿論、就任後と雖も能く監督注意が肝要である。其の普通の不正手段は例へば、不足の荷を承知で倉入りして帳面を瞞着し、又は賣手と共謀して、賣却した品が猶ほ在庫するかの如く装ふ如きで中には、横着者も少くないから、成るべくなら、此の衝には店主自ら當るがよいけれど、それも出來難いならば、時々棚卸しをするか、或は又常に内値を放つて其の不正手段を未然に防ぐ方法を講ずるがよい。

第三節 店員の待遇

機械をして能く運轉せしめんとせば、相當の入手と保護と修繕等の必要がある如く、店員をして機械に忠實に、我が商賣の爲めに役立たしめんとするには、相當の待遇をせねばならない。年中粗衣粗食に甘じ、孜々營々として商賣に精する所以は、其の店に能く恩威が並び行はれるからである。

第一項 同情を以て臨む

「雪の日やあれも人の子樽拾ひ」と云ふ句は、俳諧師が昔の酒店の店員に對する同情であるが、之れは今日の店主が常に店員に臨む座右銘とせねばならない、店員は店主の補助者であつて、決して奴隷ではない、少しでも遊ばして置くは無駄故、使へる丈け使ふと云ふ様な考へは、恐の最も甚しいもの其の身を粉にして働くは店員自らの意思からして、決して他から強いたものであつてはならない。一體、店員になるのは、少數の商賣見習者を除く外は、比較的貧困の爲め餘義なくされた者が多い、是等孰れは無味乾燥の生活に人と爲つたもの、若し臨むに春の如き愛情を以てしたならば、眞に家族の如く懐き、身を以て主家に奉ずるに違ひない。

第二項 過失のあつた場合

過失にも大小あれど、概して之れに對する處置は、嚴ならんよりも寧ろ寛なるが好い。昔、加藤嘉明は、秘藏の皿の一枚を小姓が壊し、切腹か手討ちかと命を待つて居る時、「形あるものは遂に亡ぶ。斯る無用物のあればこそ、人を難義さすれ」として、残つた皿を悉く壊して了ひ、別に其の過失を咎めなかつた、此の寛大な處置に感激した小姓は、後日戰場に於て主人の馬前に、天晴れな戦死を遂げたと云ふ話がある。店主たり支配人たり、凡て人の上に立つ者は、此の名將の如き大度量があつて欲しい、若し自分の怒氣に任せて、盛んに罵

罵し、徒らに辱かしむるを以て、後日の警めなど、考へたならば、誠に大的違ひ、其の結果は徒らに復讐心、恐怖心等を抱かしむる外、別に何等の得る所もない。併し只寛大ばかりでも、過失を重ねたり、増長したり、他の店員の取締りも附かなくなるから、畢竟責むべき時には責めらるゝ者をして、何故に責めらるゝか成程責められても一言ないとのやうに、能く理を説いて、心から過失を悔い、以後注意させるやうにせねばならない。

第三項 惡事を行つた場合

帳尻瞞着の文書偽造行使や、掛先使込みの業務横領や、立派な刑法上の犯罪を發見した場合は、元より其の者の情状にも因るが店主なり支配人なりは、親の子に對する如き同情を以て、其の非を責め、若し之れが公沙汰になる時は、一生の致命傷になる理由を説き聞かせ、泣いて馬謖を斬る態度を以て内濟解雇し、又其の筋の聞き込む所となつて、檢舉された場合にも、嘆願して貰下げ位してやれば、人間は感情の動物、店員として報恩しないまでも、必ず其の店の陰徳となる元より刑法上の罪人となしても、損害を取り返すことは出來ないのだから、人一人救済するの得策たるに如かない。

第四項 健康と休養日の増加

何事に従事するのでも、興味を以てさせねば、効果の擧るものではない。店員をして能く働かせようと思へば、先づ働